

共通教育科目 履修案内

*Subjects, Registration
in Liberal Arts and Sciences*

この履修案内は令和2(2020)年度入学者用です。卒業まで必要ですので、絶対に紛失しないでください。

令和2(2020)年度

金沢大学国際基幹教育院

*Kanazawa University
Institute of Liberal Arts and Science*

目 次

角間キャンパスマップ	1
令和2（2020）年度共通教育科目学年暦	2
I 履修案内	
金沢大学の基本理念と教育目標	6
1 共通教育科目とは	7
2 学年・学期	7
3 授業時限	7
4 単位	7
5 授業時間割	8
6 休講・補講	8
7 授業の欠席	8
8 既往症ならびに治療中の病気	8
9 履修に関する注意	9
10 Web版シラバスの利用方法	12
11 履修登録の手続・方法	15
12 各科目の履修・単位修得方法	20
13 学類別の卒業要件（共通教育科目）	61
14 基幹教育特設プログラム	83
15 教育職員免許状	85
16 社会教育主事および学校図書館司書教諭資格	87
17 成績評価（単位認定）	87
18 入学前の既修得単位の認定	89
19 授業改善のための学生アンケート	89
20 「いしかわシティカレッジ」の授業科目の履修	89
21 放送大学の授業科目の履修	91
22 アカンサスポータル	94
23 金沢大学共通教育科目に関する規程	94
24 金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）の解説	98
25 GS科目の説明	100
II 時間帯表	106
III 学生生活	
1 学生生活に関する相談	114
2 キャンパス交通ルール	114
3 総合教育棟の利用	115
4 所属変更・休学・復学・退学	116
5 パソコンとネットワーク	116
6 その他	117
IV 建物配置図	
1 総合教育棟 平面図	120
付. 総合教育1号館, 2号館在室者一覧（五十音順）	126
付. 時間割表	128

角間

金沢大学

キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY KAKUMA CAMPUS MAP

大学会館

- 1階- 生協
- *相談センター (PC・講座・共済)
- 郵便局
- 2階- 生協食堂
- 銀行ATM
- 3階- コピーコーナー (有料)

自然科学本館 (G2階)

- 理工系事務部学生課
- 教務係・学生係：理工学域の全学類
- 医薬保健系事務部
- 薬学学務係：薬学類、創薬科学類
- *専門教育科目に関すること
- *休学・復学・退学・留学
- *転学類・転コース

総合メディア基盤センター

- *電子メール
- *ネットワークID *金沢大学ID
- *総合メディア多目的教室
- *アカンサスポータル
- *出席管理システム

本部棟

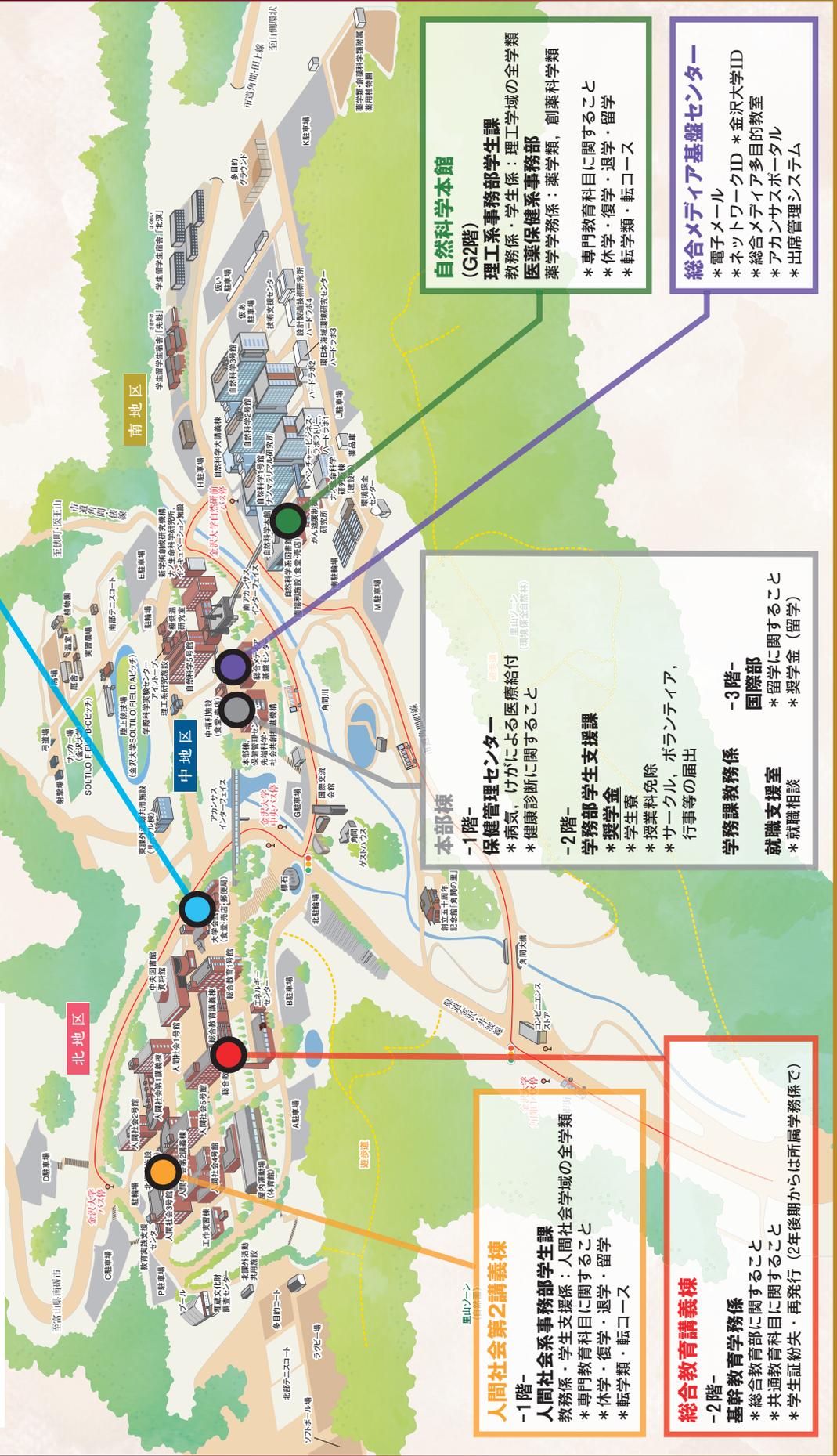
- 1階- 保健管理センター
 - *病気、けがによる医療給付
 - *健康診断に関すること
- 2階- 学務部学生支援課
 - *奨学金
 - *学生寮
 - *授業料免除
 - *サークル、ボランティア、行事等の届出
- 3階- 国際部
 - *留学に関すること
 - *奨学金 (留学)
- 就職支援室
 - *就職相談

人間社会第2講義棟

- 1階- 人間社会系事務部学生課
- 教務係・学生支援係：人間社会学域の全学類
- *専門教育科目に関すること
- *休学・復学・退学・留学
- *転学類・転コース

総合教育講義棟

- 2階- 基幹教育学務係
 - *総合教育学部に関すること
 - *共通教育科目に関すること
 - *学生証紛失・再発行 (2年後期からは所属学務係で)



令和2(2020)年度 共通教育科目学年暦

(令和2(2020)年度入学者用)

第1クォーター・第2クォーター

曜	日	月	火	水	木	金	土
4月	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
6月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
7月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
8月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
9月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
授業		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	回
試験		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	回

- 履修ガイダンス 3月30日(月)
- 学類等オリエンテーション 4月1日(水)・4月2日(木)
- 入学者定期健康診断 3月31日(火)～4月2日(木)
- 入学宣誓式 4月3日(金)

【第1クォーター】

- 履修登録期間 3月30日(月)7:00～4月3日(金)15:00
- 履修登録補正期間 4月5日(日)12:30～12日(日)23:59
- 授業開始 4月6日(月)
- 履修登録確定 4月14日(火)
- 曜日振替日(水曜扱いの講義日) 5月7日(木)
- 金沢大学開学記念日 5月31日(日)
- Q1 補講週間 5月15日～5月28日の6限(2週間)
- 試験期間 5月29日(金)～6月4日(木)
- 授業終了 6月4日(木)

【第2クォーター】

- 履修登録期間 5月18日(月)7:00～24日(日)23:59
- 履修登録補正期間① 5月27日(水)12:30～5月31日(日)23:59
- ② 6月16日(火)12:30～6月17日(水)23:59
- 授業開始 6月11日(木)
- 履修登録確定 6月19日(金)
- Q2 補講週間 7月16日～7月31日の6限(2週間)
- 試験期間 8月3日(月)～8月7日(金)
- 授業終了 8月7日(金)
- 成績疑義受付期間 別途掲示

注1. は原則として授業を行わない日 は試験日 インターバル

2. インターバルは休講日であるが、補講や集中講義を行うことがある。
3. 学年暦に関する詳細及び諸通知については、すべて掲示で知らせます。
4. 登校、下校、授業の合間には、必ず掲示板を見るように習慣づけてください。見落としは大きな不利益を招きます。

学生の呼び出しは、エントランスホールの掲示板またはアカンサスポータルで行います。

※授業回数、試験回数は各クォーターにおける開講数を示します。

第3クォーター・第4クォーター

曜	日	月	火	水	木	金	土
10月	27	28	29	30	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2	3	4	5
12月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
2月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	1	2	3	4	5	6
3月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
授業		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	回
試験		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	回

【第3クォーター】

履修登録期間 9月15日(火) 7:00～22日(火)23:59
 履修登録補正期間 9月25日(金)12:30～10月8日(木)23:59
 授業開始 10月1日(木)
 履修登録確定 10月10日(土)
 曜日振替日(月曜扱いの講義日) 11月5日(木)
 金大祭 10月31日(土)・11月1日(日)
 Q3 補講週間 11月9日・11月11日～11月24日の6限(2週間)
 試験期間 11月25日(水)～12月1日(火)
 授業終了 12月1日(火)

【第4クォーター】

履修登録期間 11月10日(火) 7:00～15日(日)23:59
 履修登録補正期間①11月18日(水)12:30～11月24日(火)23:59
 ②12月13日(日)12:30～12月15日(火)23:59
 授業開始 12月8日(火)
 履修登録確定 12月17日(木)
 曜日振替日(月曜扱いの講義日) 12月8日(火)
 曜日振替日(金曜扱いの講義日) 1月13日(水)
 共通テスト準備(休講) 1月15日(金)
 Q4 補講週間 1月21日～2月3日の6限(2週間)
 試験期間 2月4日(木)～2月10日(水)
 授業終了 2月10日(水)
 TOEIC-IP (令和2(2020)年度入学者は原則全員受験)
 2月15日(月)・2月16日(火)
 成績疑義受付期間 別途掲示

注1. は原則として授業を行わない日 は試験日 インターバル

- 2 インターバルは休講日であるが、補講や集中講義を行うことがある。
- 3 学年暦に関する詳細及び諸通知については、すべて掲示で知らせます。
- 4 登校、下校、授業の合間には、必ず掲示板を見るように習慣づけてください。見落としは大きな不利益を招きます。

学生の呼び出しは、エントランスホールの掲示板またはアカンサスポータルで行います。

※授業回数、試験回数は各クォーターにおける開講数を示します。

I 履修案内

- ☆ 履修に関する事柄は、掲示等で知らせます。
必ず、総合教育講義棟の掲示板上で確認してください。
- ☆ 専門教育科目については、各学域・学類が発行している履修案内・手引き・ハンドブック等により、確認してください。

金沢大学の基本理念と教育目標

金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、「**地域と世界に開かれた教育重視の研究大学**」の位置付けをもって改革に取り組み、北陸さらには東アジアにおける「**知の拠点**」として、グローバル化の進む世界に向けて情報を発信することとし、その拠って立つ理念と目標を**金沢大学憲章**として制定しています。

この金沢大学憲章では、教育について次の2点を謳っています。

- 金沢大学は、各種教育機関との接続、社会人のリカレント教育、海外からの留学、生涯学習等に配慮して、多様な資質と能力を持った意欲的な学生を受け入れ、**教養と専門とを結合した学部教育**と、学際性や専門性の高い大学院教育を実施する。
- 金沢大学は、**学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする**。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、**専門知識と課題探求能力**、さらには**国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する**。

こうした本学の理念・目標の実現へ向けての大きな改革の一つとして、平成18（2006）年度に従来の教養教育を、導入教育や基盤教育などの幅広い教育内容を含む「**共通教育**」ということばに切り替え、教養的科目から「**共通教育科目**」に名称変更しました。

平成28（2016）年4月から始まった第3期中期目標には、「主体性を涵養する教育により、学士課程においては、専門分野における確かな基礎学力と総合的視野を身に付け、国際性と地域への視点を兼ね備えた人材を育成するとともに、大学院課程においては、高度な専門的知識・技能と学際性を兼ね備え、国際的視野を有する研究者及び専門職業人等、グローバル化する社会を積極的にリードする人材を育成する。」と明記されました。この目標を実現するために、**国際基幹教育院**が創設され、世界で活躍する「**金沢大学ブランド**」人材の育成のための本学独自の教育方針である「**金沢大学<グローバル>スタンダード（Kanazawa University “Global” Standard ; 以下「KUGS」という。）**」が制定されました。

学士課程におけるKUGSは次の5項目よりなっています（詳細な解説は98ページを参照）。

1. 自己の立ち位置を知る：

鋭い倫理感と科学的知見をもって、人類の歴史学的時間と地政学的空間の中に立つ自己の位置、自己の使命を主体的に把握する能力

2. 自己を知り、自己を鍛える：

自己を知り、その限界に挑戦し、知的冒険と心身の鍛錬を通して常に自己の人間力を磨き高めていく能力

3. 考え・価値観を表現する：

論理的構成力や言語表現力を駆使して概念やアイデアを明確に表現し、かつ自己の感性や価値観を的確に他者に伝える能力

4. 世界とつながる：

他者への深い共感に基づいて異文化と共生し、各人にとっての自国と郷土の文化への自覚と誇りをもって、世界と積極的につながっていく能力

5. 未来の課題に取り組む：

科学技術の動向、自然環境変動、持続可能性などの多角的視座から地球と人類、国際社会と日本の未来を総合的に予測し、未来の課題に取り組んでいく能力

今後は、このKUGSを基軸とした、学士課程教育の基盤をなす授業科目であるGlobal Standard科目（GS科目）およびGlobal Standard言語科目（GS言語科目）を中心とする体系的なカリキュラムを実施します。

1. 共通教育科目とは

大学の教育は、基本的に教養教育（専門を超えた幅広い知識や知的技術・批判力・総合的視野などを身につける）と専門教育（専攻領域の知識・方法を身につける）に大きく区分されています。金沢大学では、このうちの教養教育のカリキュラムを大幅に見直し、科目名称も「教養的科目」から「共通教育科目」としています。

「共通教育科目」は主として低学年に、「専門教育科目」は高学年に、いわゆる「くさび型」に配置されています。また、「共通教育科目」は「導入科目」「GS科目」「GS言語科目」「基礎科目」「初習言語科目」「自由履修科目」の6つの科目区分に分類されています（右図参照）。共通教育科目に関する規程については94ページを参照してください。

学年	授業科目の配置
4年	専門教育科目 学域GS科目 学域GS言語科目 専門基礎科目 専門科目 （教職科目）
3年	
2年	
1年	
	共通教育科目 導入科目 GS科目 GS言語科目 基礎科目 初習言語科目 自由履修科目

2. 学年・学期

大学の1年（年度）は、4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わります。この期間を4つに分けたものがクォーターで、令和2（2020）年度の第1クォーターは4月1日～6月10日、第2クォーターは6月11日～9月30日、第3クォーターは10月1日～12月7日、第4クォーターは12月8日～3月31日です。また1年を2つに分けたものが学期で、令和2（2020）年度の前期は4月1日～9月30日、後期は10月1日～翌年3月31日です。

また、第1クォーターはQ1、第2クォーターはQ2、第3クォーターはQ3、第4クォーターはQ4と省略されることがあります。

3. 授業時限

(1) 授業は、月曜日から金曜日まで開講され、土曜日、日曜日、祝日は（補講及び集中講義を除き）開講しません。

(2) 授業は実験を除き、1時限単位で行われ、1時限は90分で1コマと呼びます。

(3) 1日の授業は6時限制で、各時限の始業・終業の時刻は、右のとおりです。

時 限	授業時間帯
1 時 限	8 : 45 ~ 10 : 15
2 時 限	10 : 30 ~ 12 : 00
3 時 限	13 : 00 ~ 14 : 30
4 時 限	14 : 45 ~ 16 : 15
5 時 限	16 : 30 ~ 18 : 00
6 時 限	18 : 15 ~ 19 : 45

4. 単位

授業はすべて単位制であり、**授業科目の履修と所定の授業外学修をすれば**、試験・レポート等の成績評価を経て、単位が認定されます。

(1) 単位の計算方法は次のとおりです。

- ① 講義および演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とします。
- ② 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの時間をもって1単位とします。

授業科目の単位数

導入科目	大学・社会生活論	1単位
	初学者ゼミ I	1単位
	データサイエンス基礎 (情報処理基礎)	1単位
	地域概論	1単位
GS科目	4D 異文化体験を除く科目	1単位又は0.5単位
	4D 異文化体験	1～8単位
GS言語科目		1単位
基礎科目		1単位又は2単位
初習言語科目		1単位
自由履修科目		1単位又は2単位

5. 授業時間割

今年度の共通教育科目の授業時間割表は、国際基幹教育院のWebサイト (<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp>) 上で公開しています。(トップ⇒新入生・在校生の方へ⇒学年暦／授業時間割表)

また、毎年3月上旬に、Web版シラバス (<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) も公開されますので、2年次以降もそれで確認してください。

6. 休講・補講

本学の公式行事等や、担当教員の都合により授業ができなくなった場合は、「休講」として掲示します。また、休講となった授業の補充として「補講」を行う場合も同様です。

なお、台風・大雪などの非常時の場合、休講措置がとられることがあります。その場合には、金沢大学Webサイトおよびアカンサスポータルに掲載されます。台風、大雪などで警報が出たときには、ぜひこれらの手段で情報を集めるようにしてください。

7. 授業の欠席

学生にとって、**授業への出席は義務**です。本来、全授業時間に出席していなければなりません。やむを得ず欠席しなければならない場合がどうしても存在します。そのために、単位修得に最低限必要な出席日数が決められています。

単位を修得するには、原則として、当該科目の授業時間数の3分の2以上の出席が必要です。特に保健体育関連科目の実技と演習は、出席すべき時間数の5分の4以上の出席が必要です。

書面で欠席を届け出たり、課外活動や冠婚葬祭等で出席扱いを願い出たりする制度はありません。課外活動や冠婚葬祭等は上記の「やむを得ない」場合に組み込まれているからです。

ただし、教育職員免許状取得で介護等体験のため授業に出席できない場合は、所属学類の学務係に申し出て、指示に従ってください。

また、インフルエンザ等感染症に罹患した場合は、所属学類等の学務係に連絡してください。

なお、遅刻も厳禁です。授業ごとに異なりますが、一定時間を超えた遅刻は出席として認められないことがあります。

8. 既往症ならびに治療中の病気

これまで患ったことのある病気や、現在治療中の病気、授業中に救急対応の求められることが発生する可能性があるもの(例：てんかん、気管支喘息、心臓発作等)については、あらかじめ授業担当教員に話をしておいてください。

9. 履修に関する注意

- (1) 共通教育科目と専門教育科目
- (2) 修得すべき共通教育科目と単位数
- (3) 自由履修枠
- (4) 履修に関するいろいろな制限
 - ① 履修登録単位数（履修が許可される単位数）の制限
 - ② 対象者による制限 全学生／限定／優先
 - ③ 収容数等による制限 抽選／スクリーニングテスト
 - ④ 重複履修の禁止 同一曜日・時限／同一授業科目名／合格済み科目
 - ⑤ 保健体育（GS2F・3F）関連科目の履修制限
- (5) 集中講義
- (6) 開放科目
- (7) その他

この項目は、各自の時間割作成にあたって、特に大切です。「12. 各科目の履修・単位修得方法」「13. 学類別の卒業要件」とともに、十分注意して読んでください。

(1) 共通教育科目と専門教育科目

本学では、共通教育科目と専門教育科目が並行して開講されます。原則として2年前期まで（医学類は1年後期まで）は主として総合教育講義棟および保健体育関連施設で開講されます。

共通教育科目は、全学年を通じて開講されますが、学年が進むにつれて専門教育科目と重なる時間帯が増えてきます。

したがって、共通教育科目の履修は、履修上の規則および共通教育科目の時間帯表（106ページ）を十分理解した上で、しっかりした履修方針と年次計画を立てることが必要です。

共通教育科目の履修方法は、この『履修案内』で説明されていますが、専門教育科目の履修方法は、各学類の履修の手引きなどによって説明されています。両方をよく読んでください。

また、授業科目ごとの注意は「Web版シラバス」（以下「シラバス」という。12ページを参照）で確認してください。

(2) 修得すべき共通教育科目と単位数

共通教育科目に関する規程及び各学域規程により、それぞれの学類の学生が修得すべき共通教育科目の内訳が決められています。卒業のためには、内訳に示された各科目区分の単位修得の要件（単位数・指定科目など）を満たし、さらに修得した全共通教育科目の単位数の合計が「共通教育科目合計」以上であることが必要です。

詳細は「13. 学類別の卒業要件（共通教育科目）」の各学類の説明で確認してください。

(3) 自由履修枠

数物科学類、物質化学類では、共通教育科目と専門教育科目のそれぞれの所定単位数を充たしても、卒業要件の総単位数には足りません。この不足分の単位数を「自由履修枠」と呼び、共通教育科目・専門教育科目のどちらからでも充たすことができます。自らの興味関心や能力に合わせて選択してください。

また、**共通教育科目および専門教育科目の所定の単位数以上を修得すれば、その単位は自動的にこの枠に充足されます**ので、この枠に関連して特別な履修上の手続きをする必要はありません。

(4) 履修に関するいろいろな制限

① 履修登録単位数（履修登録が許可される単位数）の制限

- ・履修登録単位数は、各クォーターにつき共通教育科目・専門教育科目合わせて、1年次は12単位（医学類は共通教育科目のみ対象）とされています。
- ・次の科目は、共通教育科目の履修登録単位数の上限単位の対象外になります。
集中講義／いしかわシティカレッジにおいて開講する科目／放送大学において開講する科目／総合教育部（理系）の学生のみ一部の基礎科目（統計数学A・B、物理学実験、化学実験、地学I A・I B）

② 対象者による制限

- ・対象者による制限を設けている授業科目があります。対象者指定科目は、シラバス等に明記してあります。主な指定方法は以下のとおりです。
 1. **全学生**…対象者を特に指定せず、全学類・全学生を対象とする。
 2. **限定**…指定された学類・学年や性別等の該当者以外は、原則不可。（再履修の場合などは指定学年以外でも許可されることがあります。）
 3. **優先**…指定された学類・学年や性別等を優先する。
 - * 限定と優先が合わせて指定されることもあります。
 - * Web上で履修登録できた場合でも、対象外の場合取り消されることがあります。
 - * 事前に履修者の選考等が行われる科目もあります。詳細は掲示等でお知らせします。

③ 収容数等による制限

- ・ほとんどの科目には、教育効果や教室の収容力等を配慮して、受講者の**適正人数**が設定されています。受講希望者がそれを超過した場合、抽選やスクリーニングテスト等により**受講者数調整**が行われることがあります。
 1. **抽選**…ランダムに抽選して履修許可者を決定する。（学年等で優先されることがあります）
 2. **スクリーニングテスト**…ミニテスト等課題を課し、その結果により履修許可者を決定する。

④ 重複履修の禁止

- ・以下のような履修は禁止されています。もし試験を受けても、履修許可された科目以外は単位認定されません。
 1. **同一曜日・時限**に開講される異なった授業科目の履修
 2. **授業科目名が同じ科目**の履修（一部のGS科目、EAP（Retake）、英語セミナー、初習言語B・Cは除く）
 - * 授業科目名にA・BやI・II等がついている場合は別の科目扱いですので、この禁止条項に該当しません。
 - * GS科目の例外については、29ページを参照してください。
 3. **合格済み科目**の再履修（科目名が異なる「過去の同一科目」を含む。過去の同一科目はシラバスの「履修条件」等で確認できます。）

⑤ 保健体育（GS科目2F・3F）関連科目の履修制限

- ・保健体育科目関連の集中講義を除く**実技型授業**の履修は、各クォーター内に2つまでです。さらに、実技授業の履修は同一曜日に1つまでです（29ページ参照）。
また、GS科目2F・3Fの修得できる単位数はそれぞれ2単位以下に制限されています。

(5) 集中講義

通常の授業期間外に、短期間に集中して行う授業科目を「**集中講義**」と呼びます。履修手続については、国際基幹教育院のWebサイト上で公開しています。(5. 授業時間割表と同じ)

なお、集中講義は履修登録単位数の上限単位に含まれません。

(6) 開放科目

学類の専門教育科目で共通教育科目としても登録できる授業科目を「**開放科目**」と呼びます。**時間割番号が、共通教育科目用と専門教育科目用の二通り存在しますので、どちらか一方の番号を選択し、履修登録してください。**(授業科目名が二種類存在することもあります。)

どちらかの科目で単位を修得したあとで、もう一つの科目として履修することは、「重複履修の禁止」の3に該当し、履修は許可されません。また、履修登録後・単位修得後の共通教育科目または専門教育科目への登録変更もできません。履修登録の際には、将来的な授業計画までよく考えながら、どちらの科目として登録するか選択してください。

令和2(2020)年度の開放科目の一覧を下記に付します。授業時間・履修制限・時間割番号・開講場所などの詳細は、共通教育科目または専門教育科目のシラバスや時間割表を参照してください。また、授業開始日・試験日および終了日は学類によって異なるので、該当学類の学年暦にしたがって履修してください。

GS科目／自由履修科目

授業科目名(科目区分)	単位数	担当教員名	開講学期・曜日・時限	学 類	専門教育科目名
現代社会における保険の制度と役割 (自由履修科目)	2	村上 裕	後期・水曜・4限	法学類	特講(保険論)
3F スポーツ科学／身体運動心理学Ⅰ (GS科目)	1	村山 孝之	Q1・火曜・2限	地域創造学類	スポーツ心理学Ⅰ
3F スポーツ科学／身体運動心理学Ⅱ (GS科目)	1	村山 孝之	Q2・火曜・2限	地域創造学類	スポーツ心理学Ⅱ
地域創造学特別講義C(自由履修科目)	1	田邊 浩	Q3・火曜・3限	地域創造学類	地域創造学特別講義C
地域創造学特別講義D(自由履修科目)	1	田邊 浩	Q4・火曜・3限	地域創造学類	地域創造学特別講義D
ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 (自由履修科目)	1	粕谷 雄一	Q3・火曜・5限	国際学類	ヨーロッパ・アフリカ概説1
ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2 (自由履修科目)	1	粕谷 雄一	Q4・火曜・5限	国際学類	ヨーロッパ・アフリカ概説2
環境動態学概説Ⅰ(自由履修科目)	1	塚脇 真二	Q3・水曜・1限	国際学類	地球環境論1 E
環境動態学概説Ⅱ(自由履修科目)	1	塚脇 真二	Q4・水曜・1限	国際学類	地球環境論2 E
異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション (自由履修科目)	1	深川 美帆	Q3・金曜・4限	国際学類	国際学特別研究(異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション)

(7) その他

授業中は、以下の行為を禁止します。

- 授業の撮影・録画・録音(担当教員の指示もしくは許可を得た場合を除く。)
- 他の履修者に迷惑を掛ける言動

10. Web版シラバスの利用方法

(1) シラバスについて

シラバスには、授業目標、授業内容、授業計画、評価の方法、オフィスアワー等重要な項目が記載されています。授業を選択する際には、シラバスをよく読んでおく必要があります。

(2) シラバスの見方

金沢大学Webサイトトップページ⇒授業案内（Webシラバス）を開きます。

「開講学域・研究科」のプルダウンから「共通教育」を選択します。

(3) 検索方法

① 科目区分から検索するには、「開講学類・専攻」をクリックし選択します。

「開講学類・専攻」のプルダウンから科目区分を選択し、検索ボタンをクリックします。

② 曜日・時限を選択して検索する。

The screenshot shows the 'Syllabus' search page. The '開講学期' (Semester) dropdown is set to '2017年度'. The '曜日' (Day) dropdown is set to '-----' and the '時限' (Period) dropdown is set to '-----'. The '検索' (Search) button is highlighted with a red box. Arrows from the text on the right point to these three dropdown menus.

「開講学期」「曜日」「時限」のプルダウンから開講学期、曜日、時限を選択し、検索ボタンをクリックします。

③ 科目名, 教員名, キーワードから検索する。

The screenshot shows the 'Syllabus' search page. The '検索' (Search) button is highlighted with a red box. The other search criteria (Subject Name, Instructor Name, Keyword) are empty.

科目名, 教員名, キーワードから検索することもできます。

※学域, 曜日・時限, 科目名, 教員名, キーワードの条件を組み合わせ検索することもできます。

検索画面に戻る

検索条件

開講年度			
2017			
開講学域・研究科		開講学類・専攻	
共通教育			
曜日	時間	時間割コード(前方一致)	
科目名検索	教員名検索	キーワード検索	全文検索
大学・社会生活論			

表示件数 30件毎

No	時間割コード	日	英	開講学域・研究科 授業科目名	担当教員	開講期	曜日・時間
1	79500.01	日	英	共通教育 導入科目 大学・社会生活論[Lecture on Life in Campus and Society]	田中 徳之[TANAKA, Toshiyuki], 若田 礼 [IWATA, Ray], 若津 航[TWATSU, Ko], 山本 洋 [YAMAMOTO, Hiroshi], 小笠原 知子[OGASAWARA, Tomoko], 鈴木 克彦[SUZUKI, Katsunori]	Q1	月2
2	79500.02	日	英	共通教育 導入科目 大学・社会生活論[Lecture on Life in Campus and Society]	合田 薫子[GODA, Atsuko], 足立 由美 [ADACHI, Yumi], 小林 健介 [KOBAYASHI, Kenji]	Q1	月2

見たい科目の言語（日本語・英語）をクリックします。（日本語のみ、英語のものもあります。）

Syllabus

リンク用ページ 印刷用PDF

科目名(英/日)	大学・社会生活論[Lecture on Life in Campus and Society]		
担当教員(ローマ字表記)	田中 徳之[TANAKA, Toshiyuki], 若田 礼[IWATA, Ray], 若津 航[TWATSU, Ko], 山本 洋[YAMAMOTO, Hiroshi], 小笠原 知子[OGASAWARA, Tomoko], 鈴木 克彦[SUZUKI, Katsunori]		
科目ナンバー	INT1100A	科目ナンバリングとは	
時間割番号	79500.01	科目区分	
講義形態	講義	対象学生	人文学類1年限定
適正人数		開講学類	Q1
曜日・時間	月2	単位数	1
キーワード	大学生生活, 社会生活, 将来設計 university life / social life / career design	開講学域専	共通教育
開放科目			
講義室情報	総合教育講義棟 A1講義室	M A P 情報	
備考			

授業の主題

知的キャンパスライフのすすめ

An encouragement of the intellectual campus life

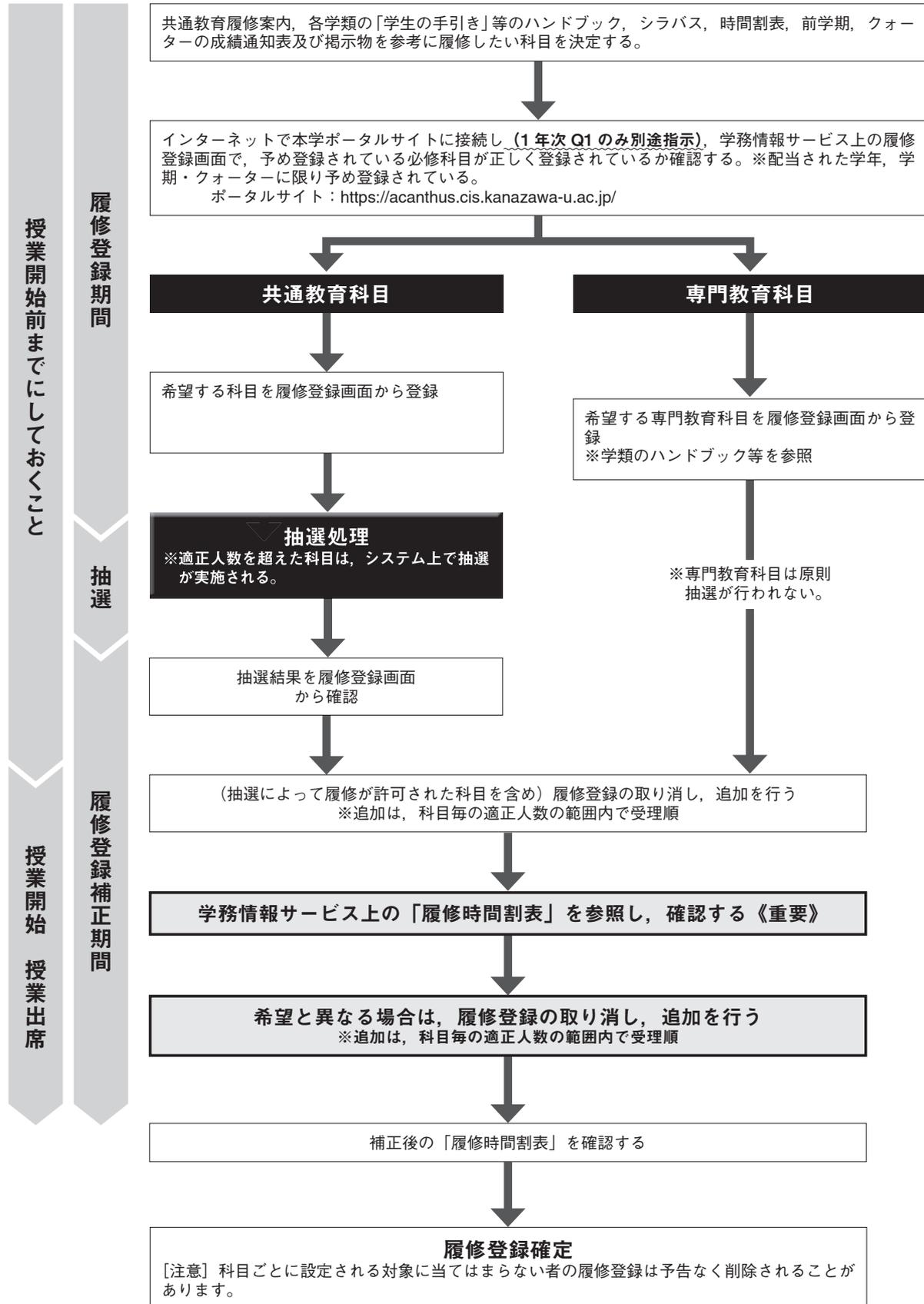
授業目標

大学生生活は高校までのそれと大きく異なる。とりわけ学習のあり方や社会的責任の違いは重要である。ただ、高校まではそれらについてあまり考える機会をもたなかったことが原因で、入学後のとまどいやトラブルが生じてしまう場合も見受けられる。また、この新生活を有意義に過ごすには、将来を考えながら自己発見・自己開発をしていくことが重要である。しかしながら、その手がかりがつかぬままに日々を過ごしてしまう学生も見受けられる。

選択した科目のシラバスが表示されます。

11. 履修登録の手續・方法

履修登録の流れ図



(1) 履修登録手続きに必要な知識

- ①学籍番号
- ②名列番号
- ③時間割番号
- ④インターネットを利用した履修登録
- ⑤履修登録の種類

(2) 履修登録日程の概要**(3) 履修登録期間にする事項****(4) 履修登録補正期間にする事項**

各学期・クォーターに開講される授業科目で単位認定を希望する授業科目は、すべて履修登録が必要です。期限に遅れたり、手続きミスをしたりとすると、その学期・クォーターの履修ができなくなりますので、以下の内容をよく読んで、間違いのないようにしてください。

また、変更などは掲示しますので、常に掲示板を見て、早め早めに手続きを済ますようにしてください。

専門教育科目の履修についても履修登録が必要です（医学類を除く）。詳細は学類からの指示に従ってください。

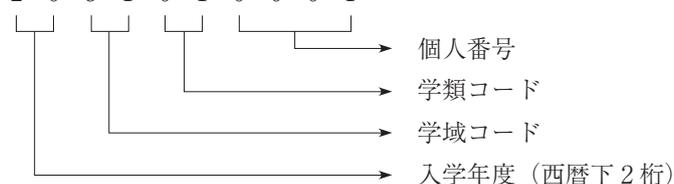
(1) 履修登録手続きに必要な知識**① 学籍番号**

学生一人一人に卒業まで基本的に変更しない学籍番号が与えられています。各種申請や呼び出し、掲示など様々な場面で使用されます。必ず学生証で確認してください。

なお、学籍番号は右のような規則で付番されています。

学籍番号

2 0 5 1 0 1 0 0 0 1



学域・学類番号

学域	学域コード	学類	学類コード	学域	学域コード	学類	学類コード	学域	学域コード	学類	学類コード
人間社会学域	51	人文学類	01	理工学域	52	数物科学類	01	医薬保健学域	53	医学類	01
		法学類	02			物質化学類	02			薬学類・創薬科学類	02
		経済学類	03			3学類一括	10			保健学類	03
		学校教育学類	04			地球社会基盤学類	14			国際基幹 教育院 総合教育部	54
		地域創造学類	05			生命理工学類	15	理系	02		
		国際学類	06								

② 名列番号

学域／総合教育部・学類・学年ごとに氏名を50音順に並べた名簿上の順序を名列番号と言います。

また、この番号は、所属によってはコース等の配属により変更されますのでアカンサスポータルから確認してください。

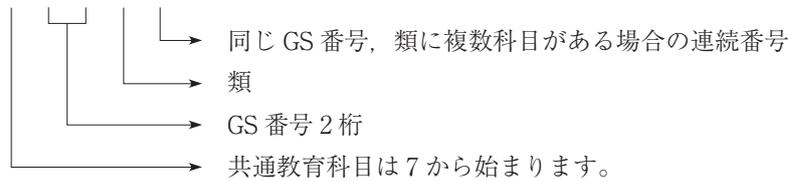
③ 時間割番号

開講される共通教育科目すべてに5桁の時間割番号が付けられています。必ずWeb上で公開している授業時間割表やシラバスで確認してください。同一科目が複数開講される場合等は、枝番（小数点以下）が付きます。

なお、GS科目は、以下の規則で科目番号が付番されていますので、履修登録にあたって参考にしてください。

例) GS科目 「1F 物理の世界」

時間割番号： 7 1 F 2 a



④ インターネットを利用した履修登録

本学では、インターネットを利用して履修登録を行います。

履修登録画面へは、学内、学外を問わず接続できます。ただし、学内ネットワークを利用する場合は、ネットワークIDを自ら取得する必要があります。取得方法は、共通教育ガイダンスで配布される資料を参照してください。

また、履修登録画面へのログインにあたっては、共通教育ガイダンスで配付される「金沢大学ID」と、そのパスワードが必要です。詳しい方法は、学生便覧を参照してください。

⑤ 履修登録の種類

科目により、履修登録には5つの種類があります。

(ア) 予め登録されている科目

学類から必修科目として指定されている共通教育科目は、配当されている学年、学期・クォーターに限り、予め履修登録されています。

また、初習言語科目のうち、セット開講となっているものを履修した場合は、第2クォーター以降予め履修登録されています。

(イ) システムにより抽選される科目（システム抽選対象科目）

GS科目、EAP (Retake)、初習言語科目及び留学生のみ履修登録可能なGS言語科目（日本語）、自由履修科目は履修登録期間内に希望する科目を登録します。希望する学生数が科目ごとに設定された適正人数を超えた場合、予め設定された期日にシステムにより抽選が行われます。

(ウ) 抽選せず履修登録する科目

専門教育科目（別に指示のあるものを除く）、必修科目として指定されていない基礎科目、シテカレッジで開講する科目及び放送大学科目は、システムにより抽選されることなく履修登録できます。（適正人数の設定のない一部のGS科目、自由履修科目も同様です。）

(エ) 事前の選考等で履修者を決定する科目

(ア)～(ウ)のほか、事前を選考などを行い、履修者を決定する科目等もあります。詳細は、科目ごとに掲示等でお知らせします。

(2) 履修登録日程の概要

履修登録日程は、以下の期間等から構成されます。各日程などの概要はここに記載していますが、詳細は(3)以降を参照してください。

・履修登録期間

専門教育科目を含め履修を希望する科目をすべて登録します。

(・システム抽選処理)

履修登録期間中に希望者が適正人数を超えたシステム抽選対象科目について抽選します。

・履修登録補正期間

システム抽選により履修が許可されなかった科目を中心に履修登録を補正します。

・授業開始

希望する授業に出席します。

(3) 履修登録期間にする事項

まず、自分だけの時間割（予定表）を作成してください。その手順と注意事項は以下のとおりです。

① 時間割（予定表）作成の手順

学類別の卒業要件（61ページ～82ページ）と共通教育科目の時間帯表（106ページ～）、さらに時間割表とシラバスを参照し、以下の例（1年次第1クォーターの場合）を参考に本冊子に付いている時間割表に記入してみてください。

Step 1 必修科目（履修して単位修得しなければ卒業できない科目）を入れる

大学・社会生活論／初學者ゼミ I／GS科目「3A プレゼン・ディベート論（初學者ゼミⅡ）」／地域概論／GS言語科目（英語）「TOEIC準備」及び「EAP」／データサイエンス基礎（情報処理基礎）／必修指定の基礎科目（理工学域および医薬保健学域）

*開講期は、「共通教育科目の時間帯表」または履修ガイダンスで確認してください。

*GS言語科目（英語）は履修する時間割が指定されています。あなたが指定された時間割は、履修登録画面で確認してください。

*専門教育科目の時間をあけておいてください。あとで各学類のシラバス・時間割表をみて授業科目を入れてください。（シラバスを使えば、シラバス・時間割配付前に専門教育科目の時間に開講される授業科目を知ることができます。トップページで学域からの検索をクリックし、検索画面で所属学類と学年・開講期を選択すると、履修できる専門教育科目の一覧を見ることができます。）

初習言語科目…必修の学類では初習言語Aを2コマ入れるのが標準

GS言語科目（日本語）…留学生のみ登録します。対象学生には個別に指示されます。

Step 2 その他の履修希望科目を入れる

*学類別の卒業要件（61ページ～82ページ）及びシラバスを参考に授業科目を選択してください。

*「履修に関するいろいろな制限」（10ページ）と「各科目の履修・単位修得方法」（20ページ）も注意して読んでください。

*初習言語科目は、学類ごとに細かな指導があるので、「初習言語科目」（50ページ）および『初習言語ガイドブック』を参照してください。

② 時間割（予定表）作成における留意事項

- ・GS科目、GS言語科目（日本語）、初習言語科目及び自由履修科目は、希望者が適正人数を上回った場合、抽選が行われ、その結果によって履修が許可されないことがあります。その場合のために、**第2希望以降をできるだけ多くあらかじめ想定**しておいてください。
- ・抽選において優先される学類、学年等や、履修登録が特定の学類、学年等に限定されている科目がありますので、シラバスや授業時間割表を参照し、確認してください。
- ・本学との単位互換協定により、「いしかわシティカレッジ」の授業科目と放送大学の指定された授業科目について修得した単位は、卒業要件の単位数に入れることができます。詳しくは「20. 「いしかわシティカレッジ」の授業科目の履修」（89ページ）、「21. 放送大学の授業科目の履修」（91ページ）を参照してください。
- ・本学入学前に大学・短大等で単位修得をしたことのある学生は、入学前の既修得単位認定の制度を利用することができます。詳しくは、「18. 入学前の既修得単位の認定」（89ページ）を参照してください。ただし、審査結果の通知は履修登録後になるので、通常どおりに履修登録の手続きを進めてください。
- ・外部試験（TOEIC等）により、所定のスコア・成績を得た学生は、外部試験による単位を認定する制度があります。詳しくは、「（7）外部試験による成績評価制度」及び「（8）外部試験による単位

認定制度」(37～39ページ)を参照してください。

③ インターネットから履修登録を行う

- ・履修登録はインターネットを通して行います。
- ・まず必修科目が正しく登録されているか確認してください。(疑義がある場合は、至急学務係に申し出てください。)
- ・作成した時間割表(予定表)に従って、初習言語科目、GS言語科目(日本語)、その他の履修希望科目を、専門教育科目を含めすべて登録してください(医学類は専門教育科目の登録は必要ありません)。
- ・システムによる抽選手順は、「学務情報サービスサポートサイト」の「履修登録と抽選ロジック」に掲載されているので、参照してください。(URL：<https://www2.adm.kanazawa-u.ac.jp/k-sys/index.html>)
- ・システム抽選対象科目については、抽選の結果、履修が許可されなかった場合のため、予めできるだけ多く登録するようにしてください。
- ・集中講義やいしかわシティカレッジ・放送大学の授業科目についても履修登録が必要です。
- ・時間割は、しばしば変更がありますので、常に掲示やWebで公開している授業時間割表(5. を参照)等に注意してください。

(4) 履修登録補正期間にする事項

授業開始までにシステム抽選の結果をインターネットから確認してください。抽選の結果、履修が許可されなかった科目がある場合や、履修登録を間違えた場合は、補正を行います。

この期間には、抽選の結果履修が許可された科目を含め、履修登録の取り消し及び追加をすることができますが、追加は適正人数の範囲内で受理順での登録となりますので、注意してください。

- ・学務情報サービス上の「履修時間割表」を参照し、履修が許可された科目や、記載されている注意事項を確認してください。
- ・授業開始後も間違いがある場合や、あるいは追加・削除したい授業科目があれば、必ずこの期間中にインターネットで訂正してください。期間を過ぎると訂正はできません。
- ・作業がすべて終了したら、「履修時間割表」をPDFで別途保存しておいてください。これで履修登録は終了です。
- ・履修登録画面上登録できたとしても、科目ごとに設定されている対象学生に該当しない場合や、単位認定に不都合がある場合、予告なく履修許可を取り消されることがあります。
- ・「履修時間割表」は、次学期・クォーター開始前の成績通知まで大切に保管してください。

12. 各科目の履修・単位修得方法

ここでは、各科目の履修や単位修得のルールを解説します。本年度の開講科目と授業内容についてはWeb版シラバスを、学類等ごとの卒業に必要な単位数や履修上の制約などは「13. 学類別の卒業要件（共通教育科目）」（61～82ページ）を見てください。

導 入 科 目

(1) 導入科目は、「大学・社会生活論」、「初学者ゼミⅠ」、「データサイエンス基礎」（保健学類は「情報処理基礎」）及び「地域概論」の4つの授業科目から構成されます。いずれも、原則として、1年次第1クォーターに開講される必修科目です。ただし、第2クォーター、第3クォーターに開講される学類もありますので、106ページ以降の「共通教育科目の時間帯表」または、履修ガイダンスで確認してください。

また、「初学者ゼミⅠ」に連続するGS科目「3Aプレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」も必修科目です。

これらの必修科目に関して、シラバスの「対象学生」の欄に「〇〇学類1年次限定」などの記載があります。対象学生として自分が所属する学類に限定している授業を必ず履修してください。（予めクラス分けされた状態で履修登録されているものもあるので、履修登録も確認してください。）

(2) 「大学・社会生活論」は、入学者が早く大学のあり方に慣れ、大学生としての生活態度及び自己管理能力を身につけて、将来を見据えながら充実した大学生活をおくれるようになることを目的とした授業科目です。

「大学・社会生活論」はオムニバス形式でさまざまな内容の講義が行われます。主な講義内容は、以下のとおりです。いくつかの項目については、eラーニングを利用して授業が行われます。学类等独自の内容が追加される場合もあります。

ガイダンス

大学図書館の利用法

大学の使命・学類の使命

大学における学修方法

ハラスメント

環境論（環境問題の基礎）

人権論

健康論（対面授業とは別に、「タバコの害」「健康診断のよみかた」「熱中症」「食事バランスと健康」「一次救命措置～心肺蘇生とAED～」 「男・女のからだのこと」等をeラーニングで配信）

薬物問題を考える

消費者被害に遭わないために

留学と国際交流

日本国憲法

金沢大学の歴史

企業倫理（技術者倫理）

就職・進学論

学問論

大人の交通マナー

医の倫理・生命倫理

新聞から学ぶ

これからの日本のために財政を考える

データで読み解く北陸経済の現状と地域活性化の取組み

社会保障制度と生命保険

学長講義

eラーニングによる授業ビデオ配信及び期末テスト予定表

* eラーニングによる授業ビデオは、アカンサスポータルの「大学・社会生活論」のコースにアップされて全学類等に配信され、配信期間に視聴できます。学類ごとに必修・選択必修が指定されており、その学類の学生は、指定されたビデオを視聴し、その後に簡単な確認テスト（5問程度の予定）を受け、合格する必要があります。

ビデオ授業名	配信予定時期	月1					月2					火2	木3	金2	金4			
		数物科学類	物質化学類	地球社会基盤学類	生命理工学類	総合教育部(理系)	保健学類	人文学類	法学類	地域創造学類	国際学類	総合教育部(文系)	薬学類・創薬科学類	医学類	学校教育学類	理工3学類一括(前半)	経済学類	理工3学類一括(後半)
1 大学における学修方法	4月 初旬～ 6月4 日まで	自	○	○	○	○	自	自	自	○	○	○	自	○	○	○	○	○
2 環境問題の基礎		○	○	自	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自	○	自
3 レポートの書き方～理系を中心に～		自	○	自	○	○	○						○	自		○		○
4 レポートの書き方～文系を中心に～								自	自	自	自	自			○		○	
5 ハラスメント		自	○	○	○	○	○	自	○	○	○	○	○	○	○	○	自	○
6 消費者被害に遭わないために		自	○	○	自	自	自	○	自	自	○	自	自	自	○	○	自	○
7 薬物問題を考える		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 金沢大学の歴史		○	自	○	自	自	○	自	○	自	自	○	自	自	自	自	○	自
9 人権論		自	自	○	自	自	○	○	自	○	自	自	○	自	自	自	自	自
10 日本国憲法		自	自	自	自	自	自	自	自	○	自	○	自	自	○	自	自	自
11 健康論1 - タバコの害		○	自	自	自	自	自	○	○	自	自	自	○	○	自	自	自	自
12 健康論2 - 健康診断の読み方(必)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
13 健康論3 - 熱中症		○	自	自	自	自	自	自	○	自	自	自	自	△	自	○	自	○
14 健康論4 - 食事バランスと健康		○	自	自	自	自	自	○	自	自	自	自	自	△	自	○	○	○
15 健康論5 - 一次救命措置～心肺蘇生とAED		自	自	自	自	○	自	自	自	自	自	自	自	○	自	自	自	自
16 健康論6 - 男・女のからだのこと		自	自	自	○	自	自	自	自	自	○	自	自	○	自	自	自	自

凡例 ○：必修 △：強く視聴を勧める 自：自由視聴

注1：「健康論2」は健康診断結果を読み解くものですので、診断結果を受け取ってから視聴してください。

期末テスト配信時期	5/15～5/21
期末テストの再テスト期間	5/29～6/4

* 期末テストは、テキストをもとに作成された10問に25分以内で回答します。（設問は予め用意された100問の中からアトラダムに出題されます。）テストは5回チャレンジでき、8割以上正解で合格です。（学類によっては、6割以上正解で合格。）点数はテスト終了後に判明します。正解が7問以下（5問以下）の学生は、再テスト期間に再チャレンジすることになります。なお、テストには2つの形式があり、10問を通問で出す「通問形式」と、全体を5セクションに分け、1セクション2問（制限時間5分）×5の「ユニット形式」があります。学類によって、どちらかの形式になります。

* 法学類及び医学類においては、eラーニングによる期末テストは行いませんので、授業担当教員の指示に従ってください。

* 全回出席を成績評価の前提としている学類には、授業を収録したビデオがアカンサスポータルにアップされます。欠席した学生は、欠席回のビデオを視聴してレポートを書かなければなりません。

* パソコンでeラーニングを視聴して終了する場合、ブラウザを直接閉じたり、タブの「×」をクリックして終了すると、学修履歴の利用時間が記録されませんので、必ず「しおりをつけて閉じる」または「ユニットを閉じる」をクリックして終了してください。

* 期末テストは、5回の実行回数制限がされています。実行回数はアクセスする回数を意味します。「開始」し、「閉じる」を押すと1回のカウントとなりますので、注意してください。

(3) 「初学者ゼミⅠ」は、大学生としての学修態度・学修技術を身につけて、将来を見据えながら充実した大学生活をおくれるようになることを目的とした授業科目です。講義の内容は各学類で決められています。

「初学者ゼミⅠ」は、クラス分けなどのために第1回の授業が通常的时间割や教室とは異なっていることがあります。第1回の授業や教室はシラバスや掲示などで周知されます。注意して見るようにしてください。

- (4) 「データサイエンス基礎」(保健学類は「情報処理基礎」)は、データサイエンスに関わる基礎知識の修得を目的とした授業科目です。講義内容は大きく分けて、データサイエンスに必要な情報リテラシーや情報倫理の学修とデータサイエンスに関する基礎的概念の学修からなります。

「データサイエンス基礎」はeラーニングで学ぶ内容を含み、必携の携帯型パソコンを使って授業が行われます。学類によっては、一部の授業内容を総合メディア基盤センター等のパソコンを使って行います。また、8回の授業の前半と後半で実施時間、実施場所が異なる学類もあります。学類での説明をよく聞いてください。

講義内容は以下のとおりです。第1回と第2回では全学類共通の内容で学内ネットワークの利用法などの説明をしたのち、第3回目以降からデータサイエンスに関連した授業になります。

- 第1回：KAINSの接続実習、基本ソフトの設定など
- 第2回：ポータルを活用実習
- 第3回：データサイエンスとは何か
- 第4回：データ収集や資料探索実習
- 第5回から第8回：各学類による講義内容

- (5) 「地域概論」は、学類で学ぶ専門分野と地域・社会との繋がりについて理解し、地域・社会に対する関心を高め、自分の将来の目標を意識しつつ、大学でどのように学ぶかを考える授業科目です。

「地域概論」には、授業に加えてインターネットによる動画教材を視聴して、各自で学ぶ内容が含まれます。動画教材の内容は次のとおりです。

動画教材：「いしかわで学ぶ未来可能性（地域創生概論）」

- ①総論（約90分）
- ②石川の自然・文化・歴史（約90分）
- ③石川の産業（約90分）
- ④「発想がチャレンジを生む」石川の産業に新風を！（約90分）

I. 動画教材の受講にあたって

「地域概論」の単位認定には、「いしかわで学ぶ未来可能性」の受講が必要です。

動画（全4章）の視聴及び小テストを行ってください。また、アンケートに回答ください。

事前アンケート → 動画視聴（15分×6本×4セット） → 小テスト → 事後アンケート → 修了

II. 視聴終了期限

次の期限までに視聴を終了してください。

- Q1開講の場合 令和2年6月4日（木）まで
- Q2開講の場合 令和2年8月7日（金）まで

Ⅲ. 受講の方法

スマートフォンからの使用

(かなざわ学さぼアプリのダウンロード推奨)

1. 下記URL又はQRコードからスマホでアクセスする
<https://www.kanazawa-air.com/portal/?p=611>
2. かなざわ学さぼアプリ（※）をダウンロードする
3. 「まなぶ」を選択する
4. 「いしかわで学ぶ未来可能性」をクリックする
5. LMS コースに画面が遷移します

※かなざわ学さぼアプリ

金沢市が提供する公式アプリで、金沢の学生生活を入学から就職まで支援しています。本アプリを使用することで、「いしかわで学ぶ未来可能性」の視聴だけでなく、インターンシップの情報が入手しやすくなり、金沢市内の文化施設へのフリーパスが使用できたりします。



授業のLMSコースにアクセスする

1. アカサポータルにログインする



2. 学務情報サービスをクリックする



3. 履修・成績情報→履修時間割の順にクリック



そうすると時間割が表示されるので、
該当の授業をクリックします。

5. 動画教材はこのように感じで表示されるので、
見たい教材をクリックします。

動画教材	更新日	実行者数
New 1-1 「地域創生」って何だろう (link) ● 資料	更新日	実行者数
New 1-2 インターンシップという学び (link) ● 資料	更新日	実行者数
New 1-3 歴史に育まれた石川の産業の特色 (link) ● 資料	更新日	実行者数
New 1-4 共創のまちづくりを目指して (link) ● 資料	更新日	実行者数
New 1-5 石川で自分らしく生きる (link) ● 資料	更新日	実行者数
New 1-6 石川の地域医療を支えて (link) ● 資料	更新日	実行者数

4. LMSのジャンプをクリックすると授業のポータルページへ飛びます。

機能名	処理概要	
授業日程参照	授業日程を参照できます。	ジャンプ
シラバス参照	シラバスを確認できます。	ジャンプ
シラバス参照 (英文)	英文シラバスを確認できます。	ジャンプ
出席状況	出席状況を確認できます。	ジャンプ
授業内アンケート	授業内アンケートに回答できます。	ジャンプ
LMS	Learning Management Systemを利用できます。	ジャンプ

6. 「開始」をクリックします。

1-1 「地域創生」って何だろう (link)

種類: 資料

公開状況 利用状況 学習履歴 オプション

教材実行



再生ボタンを押すと再生が始まります。
※スキップはできないので最初から最後まで
観てください。

7. 全動画の視聴後、小テストをクリックします。

4-5 石川の新しい農業スタイル 資料
4-6 総数の第一次産業を支える若者たち 資料
New 小テスト 第一回

8. 「開始」をクリックします。

小テスト

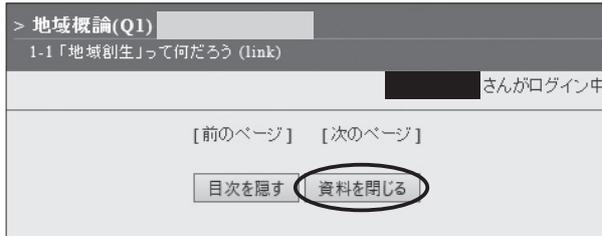
種類: 一問一答

メニュー 結果履歴 利用履歴

教材実行 公開状況

種別 一問一答

9. 終了する時は、「資料を閉じる」をクリックします。



※注意：パソコンで視聴して終了する場合、ブラウザを直接閉じたり、タブの「×」をクリックして終了すると、学修履歴の利用時間が記録されませんので、必ず「資料を閉じる」をクリックして終了してください。



タブの「×」で終了しないこと！

(6) 成績は合・否の2段階評価（人間社会学域の経済学類，地域創造学類および数物科学類以外の理工学域学生対象の「データサイエンス基礎」を除く）となっています。

(7) 単位保留制度について

導入科目には、単位保留制度（88ページ参照）が適用されます。それぞれのルールは次のとおりです。

① 大学・社会生活論

「保留」と評価された学生は、課題が与えられ、指導を受けます。

② 初学者ゼミⅠ

「保留」と評価された学生は、担当教員から課題が与えられ、指導を受けます。なお、GS科目「3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」についても、単位保留制度が適用されます。

③ データサイエンス基礎（情報処理基礎）

「保留」と評価された学生は、担当教員の指定によって補講、課題あるいはレポートの再提出などを行うことになります。補講、課題や再レポートについての指示は、アカンサスポータルのメッセージを使って担当教員から行われますので、メッセージ、掲示等に注意してください。

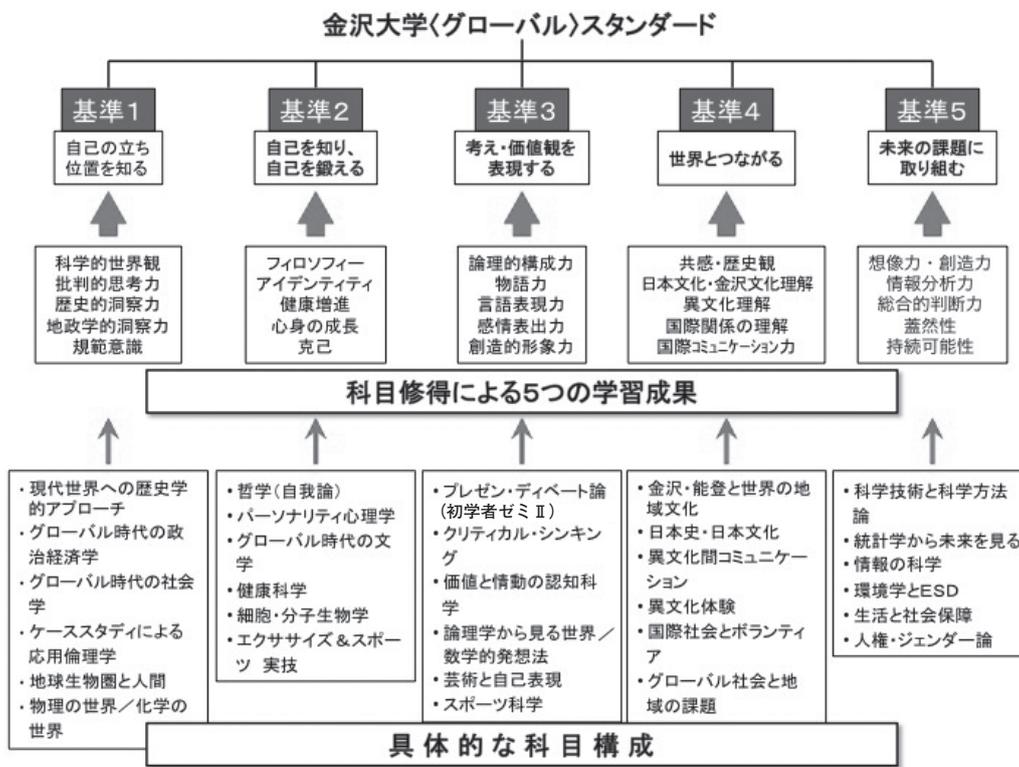
④ 地域概論

「保留」と評価された学生は、課題が与えられ、指導を受けます。

いずれの科目も、「保留」の期間は半年です。「否」となった場合は、次年度に所属学類に対象が限定されている授業を再履修してください。また、「データサイエンス基礎（情報処理基礎）」の場合は、「否」となった理由の部分について再履修を行います。

G S 科 目

GS科目はKUGSの教育目標で示された具体的な能力を獲得するために設定された科目群です。KUGSに基づいて5群より成り、各々に6科目が配置されています。



(1) GS科目

GS科目の学修成果を示します。各科目の詳細な説明は、100ページおよびシラバスを参照してください。

① 1群 自己の立ち位置を知る (KUGS 1)

科目名	類	学修成果 (キーワード)				
		科学的 世界観	批判的 思考力	歴史的 洞察力	地政学的 洞察力	規範 意識
1 A 現代世界への歴史学的アプローチ	I	○	○	◎	○	○
1 B グローバル時代の政治経済学		○	○	○	◎	○
1 C グローバル時代の社会学		○	◎	○	○	○
1 D ケーススタディによる応用倫理学		○	○	—	○	◎
1 E 地球生物圏と人間	II	◎	○	○	—	—
1 F 物理の世界／化学の世界		◎	○	—	—	—

② 2群 自己を知り、自己を鍛える (KUGS 2)

科目名	類	学修成果 (キーワード)				
		フィロソ フィー	アイデン ティティ	健康増進	心身の 成長	克己
2 A 哲学 (自我論)	I	◎	○	—	○	○
2 B パーソナリティ心理学		○	○	—	○	◎
2 C グローバル時代の文学		○	◎	—	○	○
2 D 健康科学	II	—	○	◎	○	○
2 E 細胞・分子生物学		○	◎	○	—	—
2 F エクササイズ&スポーツ 実技		—	—	○	◎	○

③ 3群 考え・価値観を表現する (KUGS3)

科目名		学修成果 (キーワード)				
		論理的 構成力	物語力	言語 表現力	感情 表出力	創造的 形象力
3A	プレゼン・ディベート論 (初学者ゼミⅡ) (必修)	○	○	◎	○	—
3B	クリティカル・シンキング	○	◎	○	○	○
3C	価値と情動の認知科学	○	—	○	—	◎
3D	論理学から見る世界／数学的発想法	◎	—	○	—	○
3E	芸術と自己表現	—	○	—	◎	○
3F	スポーツ科学	—	○	—	◎	○

④ 4群 世界とつながる (KUGS4)

科目名		学修成果 (キーワード)				
		共感・ 歴史観	日本文化・ 金沢文化理解	異文化理解	国際関係の 理解	国際コミュニ ケーション力
4A	金沢・能登と世界の地域文化	○	◎	—	—	○
4B	日本史・日本文化	◎	○	—	○	—
4C	異文化間コミュニケーション	○	○	◎	—	○
4D	異文化体験	○	—	○	○	◎
4E	国際社会とボランティア	○	○	○	◎	○
4F	グローバル社会と地域の課題	◎	○	○	○	—

⑤ 5群 未来の課題に取り組む (KUGS5)

科目名		類	学修成果 (キーワード)				
			想像力・ 創造力	情報分析力	総合的 判断力	蓋然性	持続 可能性
5A	科学技術と科学方法論	I	◎	○	○	○	○
5B	統計学から未来を見る		—	○	○	◎	—
5C	情報の科学		○	◎	—	○	—
5D	環境学とESD	II	○	○	○	—	◎
5E	生活と社会保障		—	○	◎	—	○
5F	人権・ジェンダー論		○	○	○	○	◎

(2) 履修要件

「3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」は全員必修ですが、それ以外の科目は各群から3単位以上となるように履修する必要があります。3単位を越えた科目は、自由履修科目に含めることができます。その他、下表のとおりです。

GS科目の授業科目及び履修方法

1群 自己の立ち位置を知る（KUGS1）			
科目名	類	単位数	履修方法
1A 現代世界への歴史学的アプローチ	I	1	I類から1単位、II類から1単位を含む3単位を修得
1B グローバル時代の政治経済学		1	
1C グローバル時代の社会学		1	
1D ケーススタディによる応用倫理学		1	
1E 地球生物圏と人間	II	1	
1F 物理の世界 化学の世界		1 1	
備考	※1F「物理の世界」及び「化学の世界」の2科目の単位を修得した場合、1単位はGS科目の修得すべき単位数に算入し、もう1単位は自由履修科目に算入する。		

2群 自己を知り、自己を鍛える（KUGS2）			
科目名	類	単位数	履修方法
2A 哲学（自我論）	I	1	I類から1単位、II類から1単位を含む3単位を修得
2B パーソナリティ心理学		1	
2C グローバル時代の文学		1	
2D 健康科学	II	1	
2E 細胞・分子生物学		1	
2F エクササイズ&スポーツ 実技		1 又は 0.5	
備考	※2F「エクササイズ&スポーツ 実技」は、1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入する。1単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。		

3群 考え・価値観を表現する（KUGS3）			
科目名	類	単位数	履修方法
3A プレゼン・ディベート論 （初学者ゼミⅡ）		1	3A「プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」〈必修〉を含む3単位を修得
3B クリティカル・シンキング		1	
3C 価値と情動の認知科学		1	
3D 論理学から見る世界 数学的発想法		1 1	
3E 芸術と自己表現		1	
3F スポーツ科学		1	
備考	※3D「論理学から見る世界」及び「数学的発想法」の2科目の単位を修得した場合、1単位はGS科目の修得すべき単位数に算入し、もう1単位は自由履修科目に算入する。 ※3F「スポーツ科学」は、1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入する。1単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。		

4群 世界とつながる (KUGS 4)			
	科目名	類	履修方法
4A	金沢・能登と世界の地域文化		3単位を修得
4B	日本史・日本文化		
4C	異文化間コミュニケーション		
4D	異文化体験		
4E	国際社会とボランティア		
4F	グローバル社会と地域の課題		
備考	※ 4D「異文化体験」は、1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入する。1単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。		

5群 未来の課題に取り組む (KUGS 5)			
	科目名	類	履修方法
5A	科学技術と科学方法論	I	I類から1単位、II類から1単位を含む3単位を修得
5B	統計学から未来を見る		
5C	情報の科学		
5D	環境学とESD	II	
5E	生活と社会保障		
5F	人権・ジェンダー論		

(3) 重複履修の禁止について

10ページの記載のとおり、重複履修は禁止されていますが、「2F エクササイズ&スポーツ 実技」、「3F スポーツ科学」及び「4D 異文化体験」については、以下のとおり取り扱います。

① 「2F エクササイズ&スポーツ 実技」及び「3F スポーツ科学」

Web版シラバス等において、科目名の後ろに記載されている種目名やテーマまでを含めて科目名として取り扱います。疑義のある場合は、基幹教育学務係に問い合わせてください。

② 「4D 異文化体験」

同一の留学プログラム等による重複履修は禁止します。疑義のある場合は、担当教員に問い合わせてください。

(4) 保健体育関連科目の履修

GS科目の保健体育関連科目は、「2F エクササイズ&スポーツ 実技」(0.5単位及び1単位)、「3F スポーツ科学」(1単位)です。クォーター、セメスターのほか、集中講義も開講されます。実技授業は、Web版シラバスのキーワード欄に「身体・スポーツ」と記載されています。シラバスをよく読み、趣旨を理解して履修してください。

① 履修制限

集中講義をのぞく実技授業は、各クォーター内において、2つの授業科目までしか履修できません。さらに、実技授業は同一曜日に1つしか履修できません。また、GS科目2F・3Fの修得できる単位数は、それぞれ2単位以下に制限されています。

② 履修の方法

a) 「2Fエクササイズ&スポーツ 実技」について

履修登録する際は、授業内容や対象学生等を十分に確認してください。各クォーターの第1週目の授業は、シラバスの「備考」欄に記載の集合場所で行います(授業ごとに集合場所が異なることがあります)。事前に確認のうえ、スポーツに適した服装、シューズを持参のうえ集合してください。更衣室は体育館、北部管理棟、南部管理棟、陸上競技・サッカー場クラブハウス、プールにありますので、授業開始前に更衣を済ませて集合してください。その際、荷物(特にパソコンや貴重品類)は更

衣室に置かず、授業実施場所に持参してください（以下、③を参照）。

b) インターネットからの履修登録・訂正等の必要な手続きは、他の授業科目と同じです。

③ その他の注意事項

a) 集合場所や雨天等の授業場所の変更通知は、掲示やアカンサスポータルを通じて行います。

b) 貴重品は、各自の責任で管理してください。盗難事件も発生しています。希望者は基幹教育学務係に預けられます。また、ノートパソコンは、3階のB10示範教室、4階のC10示範教室および5階のD10講義室前にある専用ロッカーに、授業時間の間だけ預けることができます。（116ページ参照）

c) 身体運動やスポーツに適した服装に着替えて、受講してください。

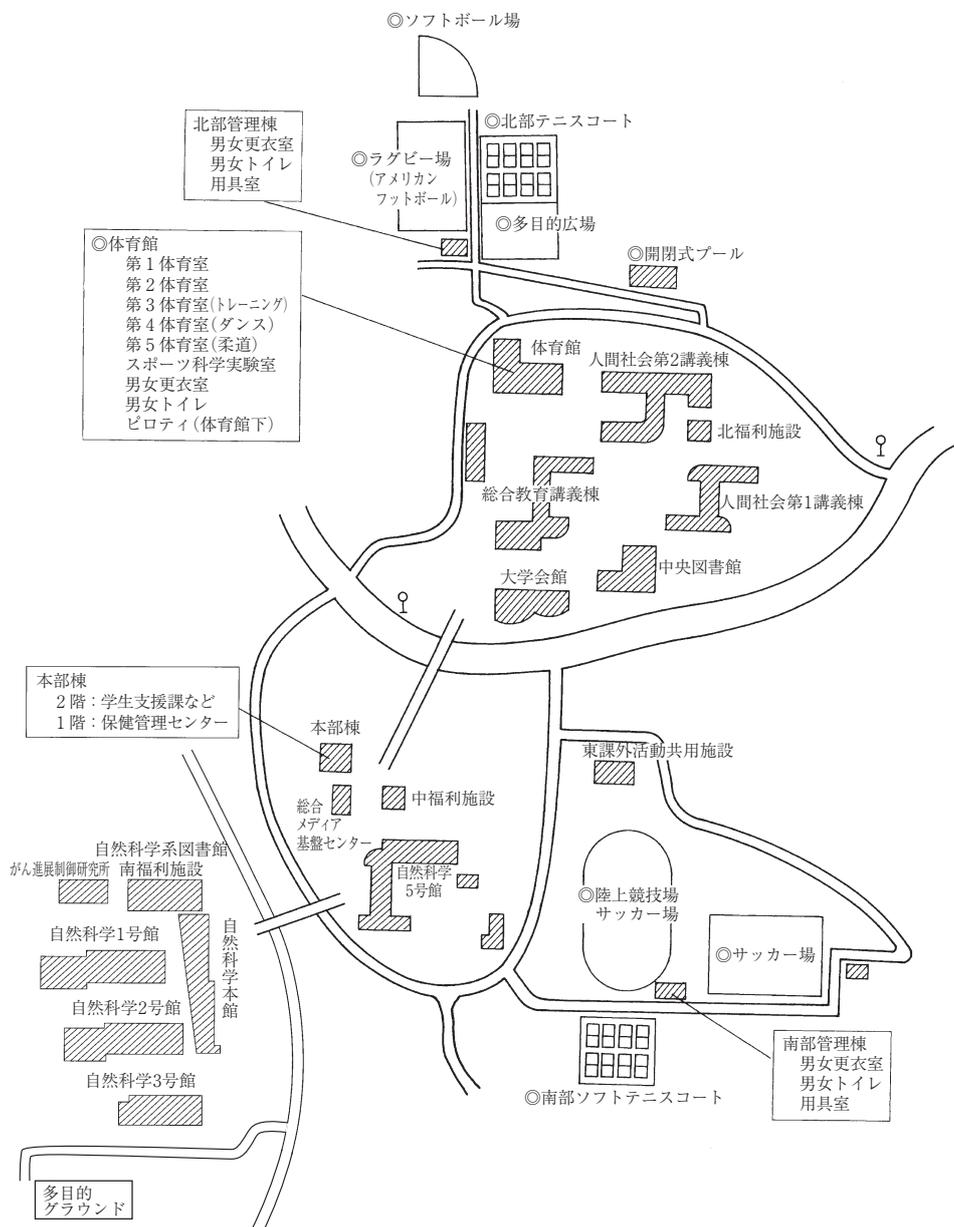
d) 体育館では、内履き専用シューズを使用してください。

(5) 単位保留制度について

GS科目では、「3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」のみ保留制度（88ページ参照）が適用されます。

「保留」と評価された学生は、担当教員から課題が与えられ、指導を受けます。

保健体育（GS科目2F・3F）関連科目の授業場所配置図



G S 言 語 科 目 (英 語)

共通教育の英語科目は「GS言語科目（英語）」（以下、GS言語科目）と呼ばれます。**GS言語科目は全学類の必修科目**です。所属する学類にかかわらず、**必修単位数（卒業に必要な単位数）は8単位**です。（外国人留学生の必修単位数については、GS言語科目（日本語）の（4）を参照してください。）

以下の説明をよく読んで、授業を履修してください。

(1) 2つのコースと授業科目の区分

GS言語科目は「TOEIC準備」と「EAP」の2つのコースで構成されています。各コースの目標は、次のとおりです。

・「TOEIC準備」コース

このコースでは、TOEICテストに必要な英語能力の向上を目指します。（TOEICはTest of English for International Communicationの略称で、米国Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。）

・「EAP」コース

このコースでは、大学で必要とされる英語能力の向上を目指します。（EAPはEnglish for Academic Purposesの略です。）

「TOEIC準備」と「EAP」の各コースには、それぞれ、IからIVの4つの授業科目があります。**各授業科目は8回の授業（8週間授業）からなり、単位数は各1単位**です。2つのコースの全8科目の単位が認定されると、GS言語科目の単位が計8単位となり、必修単位を満たすことができます。

□ GS言語科目のコースと授業科目

コース名	授業科目名	
「TOEIC準備」コース	TOEIC準備Ⅰ	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>それぞれの授業科目は1単位で、8つの授業科目を履修して、8単位となる。</p> </div>
	TOEIC準備Ⅱ	
	TOEIC準備Ⅲ	
	TOEIC準備Ⅳ	
「EAP」コース	EAPⅠ	
	EAPⅡ	
	EAPⅢ	
	EAPⅣ	

GS言語科目には、「TOEIC準備」Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳと「EAP」Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ以外に、再履修者を対象とした授業科目があります。詳細については、（6）を参照してください。

(2) 開講クォーター・開講時間帯と授業の種類

GS言語科目では、クォーターごとに、開講される時間帯と授業の種類が決まっています。また、GS言語科目（全8科目）では、各学生に対して、履修するクラスが事前に割り当てられています。詳細については、以下のとおりです。

① 開講クォーターと授業の種類

「TOEIC準備」コースの授業は、各クォーターに1つずつ開講されます。「EAP」コースの授業は、理工学域と総合教育部（理系）では各クォーターに1つずつ開講されますが、人間社会学域、医薬保健学域、総合教育部（文系）では第1・第3・第4クォーターに開講され、第2クォーターには開講されません。

GS言語科目の各授業科目の内容、開講クォーター、クラスサイズ（人数）は以下のとおりです。

□ GS言語科目の内容と開講クォーター

授業科目名	内容	開講クォーター	クラスサイズ (人数)
TOEIC準備I	主にリスニング	第1クォーター	30
TOEIC準備II	主にリーディング	第2クォーター	30
TOEIC準備III	リスニング・リーディングの統合	第3クォーター	30
TOEIC準備IV	リスニング・リーディングの統合	第4クォーター	30
EAP I	アカデミックライティングの導入クラス	第1クォーター	30
EAP II	パブリック・スピーキングの導入クラス	第1クォーターまたは 第2クォーター	30
EAP III	統合型アカデミック英語の授業（初級）	第3クォーター	20
EAP IV	統合型アカデミック英語の授業（中級）	第4クォーター	20

② 開講時間帯と履修ブロック

GS言語科目の開講時間帯は、複数の学類等を組み合わせた「履修ブロック」ごとに設定されています。各履修ブロックに対応する学類等は、次のとおりです。

文系第1ブロック（文系1）：人文学類，法学類，国際学類

文系第2ブロック（文系2）：経済学類，学校教育学類，地域創造学類，総合教育部（文系）

理系第1ブロック（理系1）：数物科学類，物質化学類，生命理工学類，総合教育部（理系）

理系第2ブロック（理系2）：理工3学類一括，地球社会基盤学類

医薬保ブロック（医薬保）：医学類，薬学類・創薬科学類，保健学類

履修ブロックごとに、各クォーターの開講時間帯と授業の種類を示すと、次のようになります。

□ 履修ブロックごとの開講時間帯と授業の種類

第1クォーター

	月	火	水	木	金
1		文系1 TOEIC準備I	理系2 TOEIC準備I	文系2 TOEIC準備I	医薬保 TOEIC準備I
2		文系2 EAP I	理系1 TOEIC準備I	文系1 EAP II	理系1 EAP I
3	文系1 EAP I			医薬保 EAP II	理系2 EAP I
4	医薬保 EAP I		文系2 EAP II		
5					

第2クォーター

	月	火	水	木	金
1		文系1 TOEIC準備II	理系2 TOEIC準備II	文系2 TOEIC準備II	医薬保 TOEIC準備II
2			理系1 TOEIC準備II		理系1 EAP II
3					理系2 EAP II
4					
5					

第3クォーター

	月	火	水	木	金
1		文系1 TOEIC準備III	理系2 TOEIC準備III	文系2 TOEIC準備III	医薬保 TOEIC準備III
2			理系1 TOEIC準備III	文系1 EAP III	理系1 EAP III
3				医薬保 EAP III	理系2 EAP III
4	文系2 EAP III				
5					

第4クォーター

	月	火	水	木	金
1		文系1 TOEIC準備IV	理系2 TOEIC準備IV	文系2 TOEIC準備IV	医薬保 TOEIC準備IV
2			理系1 TOEIC準備IV	文系1 EAP IV	理系1 EAP IV
3				医薬保 EAP IV	理系2 EAP IV
4	文系2 EAP IV				
5					

例えば、文系第1ブロック（文系1）に属する学生が履修するGS言語科目の種類と時間帯は、次のようになります。

- 第1クォーター：月曜3限「EAP I」、火曜1限「TOEIC準備 I」、木曜2限「EAP II」
- 第2クォーター：火曜1限「TOEIC準備 II」
- 第3クォーター：火曜1限「TOEIC準備 III」、木曜2限「EAP III」
- 第4クォーター：火曜1限「TOEIC準備 IV」、木曜2限「EAP IV」

また、理系第1ブロック（理系1）に属する学生が履修するGS言語科目の種類と時間帯は、次のようになります。

- 第1クォーター：水曜2限「TOEIC準備 I」、金曜2限「EAP I」
- 第2クォーター：水曜2限「TOEIC準備 II」、金曜2限「EAP II」
- 第3クォーター：水曜2限「TOEIC準備 III」、金曜2限「EAP III」
- 第4クォーター：水曜2限「TOEIC準備 IV」、金曜2限「EAP IV」

(3) クラス割り当て

「TOEIC準備」I～IV及び「EAP」I～IV（全8科目）は、履修ブロックごとに決められた時間帯に、割り当てられたクラスで履修しなければなりません。各学生が履修すべきクラスの情報は、Web上の履修登録画面で確認できます。（(4)の①を参照）

クラスの割り当ては、同じ履修ブロック内の学生を、コンピュータシステムによって振り分けます。

- ・「TOEIC準備」コースのクラス割り当て
同じ履修ブロック内の全学生を、大まかな習熟度別に3つのグループ（上位層、中位層、下位層）に分けて、クラスを編成します。
- ・「EAP」コースのクラス割り当て
同じ履修ブロック内の全学生をランダムに割り振って、クラスを編成します。

(4) 履修の準備と第1週の授業

① 履修するクラスの確認

各学生が履修すべきGS言語科目は、あらかじめ登録されています。必ず、授業開始前にWeb上の履修登録画面で、自分の履修すべきクラスを確認してください。クラス割り当ては、各クォーターの履修登録期間に確認できます。

② シラバスの確認

自分が履修する授業科目について、Web版シラバスで授業の概要を確認してください。シラバスで教科書が指定されている場合は、事前に教科書を購入し、第1週の授業に持参してください。

③ 第1週の授業

授業は第1週から始まりますので、必ず、出席してください。第1週の授業を欠席した場合、その授業を受けられないことがあります。やむを得ない事情で第1週の授業に出席できない場合は、事前に基幹教育学務係に申し出てください。

(5) 成績評価と単位認定

次の出席回数と合格基準を満たした場合、S/A/B/Cのうちのいずれかの評価となり、1単位が認定されます。

- ・出席回数：全授業回数の3分の2以上
- ・合格基準：学修目標の達成度が60%以上

出席回数または合格基準を満たさなかった場合の評価は次のようになり、当該授業科目の単位は認定されません。(単位が認定されなかった場合は、(6)と(8)を参照してください。)

a) 出席回数が不足している場合

- ・「TOEIC準備」と「EAP」のいずれの科目でも、評価は「放棄」となります。

b) 出席回数を満たしているが、期末試験を受験しなかった場合

期末試験を受験しなかった場合、期末試験の得点は0点となります。

- ・「TOEIC準備」コースの科目では、評価は「保留」となります。
- ・「EAP」コースの科目では、評価項目の合計が合格基準を満たさない場合、評価は「不可」となります。

c) 出席回数を満たし、かつ、期末試験を受験して、合格基準に達しなかった場合

- ・「TOEIC準備」コースの科目では、評価は「保留」となります。
- ・「EAP」コースの科目では、評価は「不可」となります。

(6) 単位が認定されなかった場合

1年次に割り当てられたクラスで単位が認定されなかった場合は、以下をよく読んで、該当する方法により、単位を修得してください。

- ・「EAP」I～IVの「不可」または「放棄」(または、履修登録削除による未履修の場合):
→ ①を参照してください。
- ・「TOEIC準備」I～IVの「保留」:
→ ②を参照してください。
- ・「TOEIC準備」I～IVの「放棄」(または、履修登録削除による未履修の場合):
→ ③を参照してください。

① 「EAP」I～IVで「不可」, 「放棄」, 未履修の場合

「EAP」I～IVで「不可」または「放棄」となった場合、あるいは履修登録削除による未履修の場合は、次のいずれかの方法で、単位の認定を受けてください。

- 2年次以降に「EAP (Retake)」を履修し、合格基準を満たして単位認定を受ける。
- 「外部試験による単位認定制度」による単位認定を受ける。(8)を参照)
- 「放送大学の授業科目の履修」による単位認定を受ける。(21. を参照)

○ 「EAP (Retake)」を履修する際の注意点

- ・1年次の学生は「EAP (Retake)」を履修することはできません。
- ・「EAP」I～IVのいずれかで「不可」または「放棄」が確定している場合、あるいは履修登録削除による未履修の場合のみ、「EAP (Retake)」を履修することができます。
- ・「EAP」で4単位を修得している場合は、「EAP (Retake)」を履修できません。
- ・「EAP (Retake)」には、I/II/III/IVの区分はありません。
- ・「EAP (Retake)」は1単位で、認定された単位は、「EAP」I/II/III/IVのいずれの単位としても見なすことができます。ただし、すでに単位が認定された「EAP」の授業と教科書やシラバス内容が同一の授業は、重複して履修できません。また、原則として、同じシラバス内容の授業を複数履修する

ことはできません。

- ・開講クォーターと時間帯は、共通教育科目授業時間割表で確認してください。
- ・適正人数は30人です。履修を希望する場合は、必ず事前にシラバスを読み、システム抽選により履修可能となった授業の第1週に出席してください。

② 「TOEIC準備」I～IVで「保留」となった場合

「保留」は単位が認定されていない状態です。次のいずれかの方法で、単位の認定を受けてください。

- 「保留」の解除により単位認定を受ける。
- 「外部試験による単位認定制度」による単位認定を受ける。（(8)を参照）

「保留」の解除については、以下をよく読んでください。なお、「保留」が解除された場合の評価は「C」となります。

□ 「TOEIC準備」I/II/IIIの「保留」の解除

「TOEIC準備」I/II/IIIの保留解除の方法は、「TOEIC準備IV」の履修状況や評価によって異なります。以下を参照してください。

- 「TOEIC準備IV」で「C」以上の評価を得た場合：

「TOEIC準備」I/II/IIIの「保留」はすべて解除され、単位が認定されます。解除申請は不要です。
- 「TOEIC準備IV」で「保留」または「放棄」となった場合（または、履修登録削除により「TOEIC準備IV」が未履修の場合）：

「TOEIC準備」I/II/IIIの「保留」は解除されず、残った「保留」はすべて、2年次以降に解除を受けるべき「持ち越し保留」となります。「TOEIC準備IV」が「保留」の場合、これも含めて「持ち越し保留」となります。（次の注意事項を参照してください。）

○ 「持ち越し保留」のある学生への注意事項

- ・原則として、保留解除に向けた学修を支援する「サポートクラス」に参加してください。
- ・2年次の第1クォーター開始前に「持ち越し保留者説明会」を開きます。「持ち越し保留」の解除方法と「サポートクラス」の詳細について説明します。「持ち越し保留」のある学生は、必ず参加してください。日程等の詳細は、3月上旬頃に掲示等で通知します。

□ 「持ち越し保留」の解除

「TOEIC準備」I～IVの「持ち越し保留」の解除方法は、「TOEIC準備IV」の履修状況や評価によって異なります。以下を参照してください。

「持ち越し保留」の解除には、基幹教育学務係への申請が必要です。

- 「TOEIC準備IV」が「保留」の場合：

1年次の第4クォーター終了後に受験したTOEIC L&R（公開テストまたはIPテスト）のスコアによって、「TOEIC準備IV」の合格基準を満たした場合、「TOEIC準備」I～IVの「持ち越し保留」は、すべて解除されます。
- 「TOEIC準備IV」が「放棄」または未履修の場合：

1年次の第4クォーター終了後に受験したTOEIC L&R（公開テストまたはIPテスト）のスコアによって、直近の「保留」となったTOEIC準備科目の合格基準を満たした場合、「TOEIC準備」I/II/IIIの「持ち越し保留」は、すべて解除されます。

□ 「持ち越し保留」の解除申請

- ・「持ち越し保留」を解除する場合は、基幹教育学務係への申請が必要です。
- ・解除申請の受け付け期間は、各クォーターの期末試験期間中となる予定です。詳細は掲示等で通知します。
- ・「持ち越し保留」の解除に必要なスコアに達した場合は、必ず、解除申請を行い、単位の認定を受けてください。

③ 「TOEIC準備」I～IVで「放棄」となった場合・未履修の場合

「放棄」または履修登録削除による未履修の科目では、単位が未修得となっています。次のいずれかの方法で、単位の認定を受けてください。

- 2年次以降に「TOEIC準備（演習）」を履修し、当該授業の合格基準を満たして単位認定を受ける。
- 「外部試験による単位認定制度」による単位認定を受ける。（(8)を参照）

□ 「TOEIC準備（演習）」の履修

- ・「TOEIC準備（演習）」は、1年次に割り当てられた「TOEIC準備」I～IVで「放棄」（または未履修）となった学生が、2年次以降に履修する科目です。（「TOEIC準備（演習）」はクラス割り当て授業ではありません。）
- ・2年次の第1クォーター開始前に、履修説明会を開きます。履修予定者は、必ず説明会に出席してください。日程等の詳細は、3月上旬頃に掲示等で通知します。

④ 「TOEIC準備（演習）」で「保留」または「放棄」となった場合

- ・「TOEIC準備（演習）」で「保留」となった場合は、当該授業の終了後に受験したTOEIC L&R（公開テストまたはIPテスト）のスコアによって、当該授業の合格基準を満たした場合、保留が解除され、単位が認定されます。
- ・「TOEIC準備（演習）」の保留解除には、基幹教育学務係への申請が必要です。解除申請の方法は、②の「持ち越し保留」の解除申請に準じます。
- ・「TOEIC準備（演習）」で「放棄」となった場合は、「TOEIC準備」I～IVで「放棄」となった場合と同様です。詳細については、③を参照してください。

⑤ 海外語学研修・留学等で割り当てられた授業を履修できない場合

海外語学研修・留学等によって、1年次に割り当てられたGS言語科目を履修できない場合、事前に基幹教育学務係に申し出て、教員による履修指導を受けてください。

⑥ その他の場合

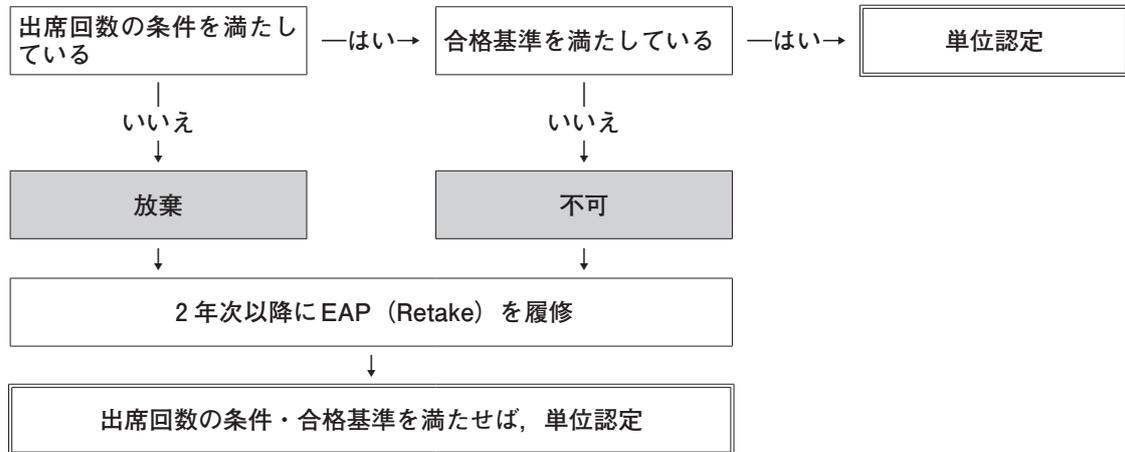
上の①から⑤以外の理由で単位を修得できなかった場合は、基幹教育学務係に申し出て、教員による履修指導を受けてください。

単位認定への流れを図に示すと、次のようになります。

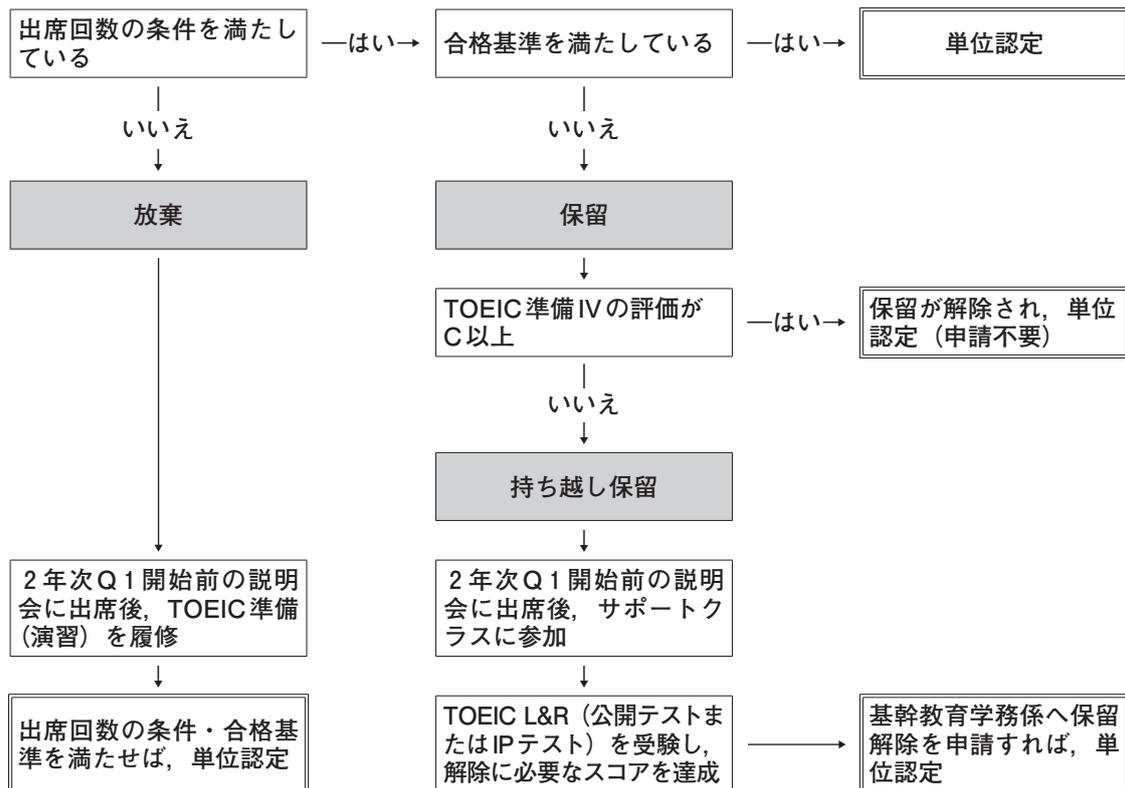
□ GS 言語科目の単位認定への流れ

※以下の図に記載された方法のほか、「外部試験による成績評価制度」や「外部試験による単位認定制度」、「放送大学の授業科目の履修」(EAPのみ)により単位認定を受けることも可能です。

■ EAP I～IV



■ TOEIC 準備 I～IV



(7) 外部試験による成績評価制度

GS言語科目には、授業の履修によらず、外部試験の成績によって成績評価を受けられる制度があります。この制度は、1年次にクラスが割り当てられた科目のみに適用され、外部試験で所定の成績を得た場合、申請により、該当する科目が「S」の評価で単位認定されます。詳細は、以下のとおりです。

①対象となる科目は、1年次に割り当てられたGS言語科目（TOEIC準備I～IV及びEAP I～IV）です。

1年次に履修するこれ以外の科目や、2年次以降に履修する科目には適用されません。

- ②対象となる外部試験、スコア等の成績や付帯条件、認定される科目と評価については、TOEIC準備コースは別表1、EAPコースは別表2のとおりです。ただし、申請時に受験日から2年以内の試験に限ります。また、TOEFL iBTについては、単一受験日のスコアのみを対象とし、MyBest scoresは対象としません。
- ③この制度により成績評価を希望する者は、⑤の締切日までに、成績を証明できる書類（スコアレポートなど）を添えて、所属学類の学務係へ所定の申請書を提出してください。
- ④審査に合格すれば、該当する科目について「S」の評価で単位が認定されます。認定された科目は、GPA制度の対象となります。
- ⑤申請の締切日と適用されるクォーターは、次のとおりです。
4月10日(金): 第1から第4までのすべてのクォーターで適用
10月2日(金): 第3・第4クォーターで適用
- ⑥この制度による成績評価は、⑤の申請締切日を含むクォーター以降に開講される科目のみに適用されます。申請締切日を含むクォーターより前に開講された科目については、未履修の場合も含め、この制度は適用されません。また、すでに成績評価が行われた科目の評語をこの制度によって変えることはできません。
- ⑦この制度でEAP I/IIの「S」の基準を満たして成績評価を受けた後に、外部試験でEAP I～IVの「S」の基準を満たした場合、この制度による成績評価を再度申請することができます。この場合、EAP III/IVのみが「S」の評価で単位が認定されます。
- ⑧申請前のクォーターに割り当てられた科目の単位が未修得となっている場合、この制度と同じ証明書類を用いて、未修得科目の単位認定を同時に申請することができます。また、この制度で成績評価を受けた後に、割り当てられた科目の単位未修得が判明した場合は、当該申請時に使用した証明書類を用いて、未修得科目の単位認定を申請することが可能です。(未修得科目の単位認定の詳細は、(8)外部試験による単位認定制度を参照)
- ⑨「学域GS言語科目」の外部試験による単位認定制度において、スコア等成績の扱いについて制限がある学域・学類もあるため、所属学類の学務係で申請前に確認してください。

[別表1] 外部試験による成績評価制度 (TOEIC準備コース)

試験名	スコア等成績	認定科目と評価
TOEIC L&R (公開テスト)	730以上	TOEIC準備コースの科目* (最大4単位)を「S」で認定

*入学年度4月10日までの申請…TOEIC準備I～IV(計4単位)を認定

*入学年度10月2日までの申請…TOEIC準備III, IV(計2単位)を認定

[別表2] 外部試験による成績評価制度 (EAPコース)

試験名	スコア等成績	付帯条件	認定科目と評価
TOEFL iBT	60以上	なし	EAP IとEAP IIを「S」で認定
	90以上 (付帯条件あり)	Writingの2項目が いずれもGood以上	EAPコースの科目* (最大4単位)を「S」で認定
IELTS	5.5以上	なし	EAP IとEAP IIを「S」で認定
	6.5以上 (付帯条件あり)	Writingが6.0以上	EAPコースの科目* (最大4単位)を「S」で認定

*入学年度4月10日までの申請…EAP I～IV(計4単位)を認定

*入学年度10月2日までの申請…EAP III, IV(計2単位)を認定

(8) 外部試験による単位認定制度

この制度は、1年次に割り当てられたGS言語科目のうち、単位が未修得の科目のみに適用されます。外部試験で所定の成績を得た場合、申請により単位認定を受けることができ、2年次以降の申請も可能です。詳細は、以下のとおりです。

- ①対象となる科目は、1年次に割り当てられたGS言語科目（TOEIC準備I～IV及びEAP I～IV）のうち、「不可」・「放棄」・「保留」・履修登録削除による未履修となった科目です。
- ②対象となる外部試験、スコア等の成績や付帯条件、認定される科目と単位数については、TOEIC準備コースは別表3、EAPコースは別表4のとおりです。ただし、申請時に受験日から2年以内の試験に限ります。また、TOEFL iBTについては、単一受験日のスコアのみを対象とし、MyBest scoresは対象としません。
- ③この制度により単位認定を希望する者は、成績を証明できる書類（スコアレポートなど）を添えて、所属学類の学務係へ所定の申請書を提出してください。申請の締切日は、別途、掲示等で通知します。
- ④審査に合格すれば、該当する科目の単位が認定されます。認定された科目の成績は「認定」となり、GPA制度の対象外です。
- ⑤EAPコースでは、より高いスコア等成績で再度申請することも可能ですが、その場合、再申請時に単位未修得の科目のみが認定対象となります。
- ⑥「学域GS言語科目」の外部試験による単位認定制度において、スコア等成績の扱いについて制限がある学域・学類もあるため、所属学類の学務係で申請前に確認してください。

[別表3] 外部試験による単位認定制度（TOEIC準備コースの未修得の科目のみ）

試験名	スコア等成績	認定科目と単位数
TOEIC L&R (公開テスト)	730以上	TOEIC準備I, II, III, IVのうち、未修得の科目（最大4単位）

[別表4] 外部試験による単位認定制度（EAPコースの未修得の科目のみ）

試験名	スコア等成績	付帯条件	認定科目と単位数
TOEFL iBT	60以上	なし	EAP I, IIのうち、未修得の科目（最大2単位）
	90以上 (付帯条件あり)	Writingの2項目が いずれもGood以上	EAP I, II, III, IVのうち、未修得の科目（最大4単位）
IELTS	5.5以上	なし	EAP I, IIのうち、未修得の科目（最大2単位）
	6.5以上 (付帯条件あり)	Writingが6.0以上	EAP I, II, III, IVのうち、未修得の科目（最大4単位）

(9) 外国人留学生の履修上の特例

母語が英語の場合は、GS言語科目（英語）に代えて、GS言語科目（日本語）の履修が必要です。該当者には個別に履修指導を行いますので、必ず1年次の第1クォーターの授業開始前の指定する日時に、基幹教育学務係に申し出てください。

(10) 「GS言語科目」以外の英語の授業

共通教育では、GS言語科目以外に、「英語セミナー」という名称で自由履修科目として開講される英語の授業があります。「英語セミナー」を履修する場合は、次の点に注意してください。

○「英語セミナー」を履修する際の注意点

・「英語セミナー」は、1年次の第2クォーター以降に履修することができます。GS言語科目と並行して

履修することができ、GS言語科目の単位を満たした後（2年次またはそれ以降）にも履修することができます。

- ・「英語セミナー」で修得した単位は「GS言語科目」の単位の中に含めることはできませんが、「自由履修科目」の単位の中に含めることができます。
- ・「英語セミナー」には、事前のクラス割り当てはありません。履修を希望する場合は、システム抽選により履修可能となった授業の第1週に出席してください。

(11) 外部試験による「自由履修科目」の単位認定制度

外部試験で所定の成績を得た場合、申請により、「自由履修科目」の単位が認定されます。この制度は2年次以降も申請できます。ただし、この制度による単位認定は在学中に1度のみです。詳細は、以下のとおりです。

- ①この制度で単位が認定される科目は、「自由履修科目」の「英語セミナー（外部試験）」です。「GS言語科目」の単位とすることはできません。
- ②この制度では、1年次の2月に本学が実施するTOEIC-IPのスコア等成績は使用できません。
- ③一つのスコア等成績をこの制度とGS言語科目の次の申請に重複して使用することはできません。
 - ・外部試験による成績評価制度
 - ・外部試験による単位認定制度
 - ・「TOEIC準備」科目の保留解除
- ④対象となる外部試験、スコア等の成績、認定される科目と単位数については、別表5のとおりです。ただし、申請時に受験日から2年以内の試験に限ります。
- ⑤この制度により単位認定を希望する者は、成績を証明できる書類（スコアレポートなど）を添えて、所属学類の学務係へ所定の申請書を提出してください。単位認定を希望する科目の履修登録は不要です。申請の締切日は、別途、掲示等で通知します。
- ⑥審査に合格すれば、該当する科目の単位が認定されます。認定された科目の成績は「認定」となり、GPA制度の対象外です。
- ⑦「学域GS言語科目」の外部試験による単位認定制度において、スコア等成績の扱いについて制限がある学域・学類もあるため、所属学類の学務係で申請前に確認してください。

[別表5] 外部試験による単位認定制度（自由履修科目）

試験名	スコア等成績	認定科目と単位数
TOEIC L&R（公開テスト）	600以上	「英語セミナー（外部試験）」 2単位
TOEIC L&R（IPテスト）		

G S 言語科目 (日本語)

(1) 対象と目的

本学の学類に所属する「正規生」で「日本語を母語としない学生（留学生）」を対象とし、日本語による大学の講義、演習、研究を遂行するために必要な日本語力を育成します。

(2) 開講科目の概要

以下の科目を開講します。1クラスの適正人数は15～20名です。

1) アカデミック基礎日本語 2単位 ※必修科目

大学で学修、研究をするために必要なアカデミック・スキルの基礎を身につけます。

2) アカデミック・ライティング 2単位

レポート・論文を書くために必要な日本語の文章表現を身につけます。

3) 講義の聴解 2単位

大学での講義を聞き取るのに必要な聞き取りストラテジーを学び、いくつかの講義の聞き取り練習問題を通して、大学での学修・研究生活に支障のない聴解能力を身につけます。

4) 口頭発表 I・II 各2単位

アカデミックな場面での口頭発表をするために必要な日本語の表現や発表のスキルを身につけます。

5) 上級読解 I・II 各2単位

評論や専門書など、生の日本語の文章を読んで理解する力を身につけます。また、読んだ内容について説明し、意見を述べる練習も行います。

6) 日本事情 2単位

日本の大学で学修・研究する上で必要な日本社会についての背景知識を深めます。

7) 日本語で学ぶ論理 2単位

論理トレーニング（論証と演繹）と実際の論文読解を通じて、大学での学修や研究に必要な日本語（アカデミック日本語）力を身につけます。

(3) カリキュラム

- ・各科目を以下のように配当しており、単位数は各1単位です。
- ・各科目Q1とQ2, Q3とQ4の両方を一緒に履修して「2単位」修得してください。(例, Q1「日本事情A」とQ2「日本事情B」)
- ・全ての学類の留学生は、「アカデミック基礎日本語」の修得が必修となります。

	月		火		水		木		金				
	開講期	授業科目名	担当教員名	開講期	授業科目名	担当教員名	開講期	授業科目名	担当教員名	開講期	授業科目名	担当教員名	
1限	Q1	アカデミック・ライティングA(1)	小島 荘一				Q1	アカデミック・ライティングA(2)	松田真希子	Q3	講義の聴解A	太田 亨	
	Q2	アカデミック・ライティングB(1)	小島 荘一				Q2	アカデミック・ライティングB(2)	松田真希子	Q4	講義の聴解B	太田 亨	
2限	Q3	アカデミック・ライティングA(1)	小島 荘一				Q3	アカデミック・ライティングA(2)	峯 正志				
	Q4	アカデミック・ライティングB(1)	小島 荘一				Q4	アカデミック・ライティングB(2)	峯 正志				
3限	Q3	アカデミック基礎日本語A(必修)	深川 美帆				Q1	講義の聴解A	太田 亨				
	Q4	アカデミック基礎日本語B(必修)	深川 美帆				Q2	講義の聴解B	太田 亨				
4限				Q3	日本語で学ぶ論理A	太田 亨	Q3	上級読解II A	小島 荘一		Q1	上級読解I A	深川 美帆
				Q4	日本語で学ぶ論理B	太田 亨	Q4	上級読解II B	小島 荘一		Q2	上級読解I B	深川 美帆
5限											Q3	口頭発表I A	松田真希子
											Q4	口頭発表I B	松田真希子
5限	Q1	日本事情A	峯 正志				Q1	アカデミック基礎日本語A(必修)	深澤のぞみ				
	Q2	日本事情B	峯 正志				Q2	アカデミック基礎日本語B(必修)	深澤のぞみ				

※時間割は変更になる場合がありますので、Web版シラバス等で確認してください。

(4) GS言語科目（英語・日本語）および初習言語科目 履修要件

各学類が以下に提示する履修要件にしたがって、科目を履修してください。

学 類	GS言語科目	初習言語	備 考
人文学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②日本語 8 単位	8 単位	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
法学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②日本語 8 単位	8 単位	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
経済学類	英語 4 単位 + 日本語 4 単位	8 単位	
学校教育学類	英語 4 単位 + 日本語 4 単位	—	
地域創造学類	英語 4 単位 + 日本語 4 単位	8 単位	
国際学類	英語, 日本語, 初習言語を合わせて16単位		留学生の言語能力により決める *英語による授業のみで卒業可能なプログラムの留学生については別に要件を設ける。
数物科学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
物質化学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
機械工学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
フロンティア工学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
電子情報通信学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
地球社会基盤学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
生命理工学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
医学類	日本語 8 単位	—	これに加え専門教育科目の「学域GS言語科目」で「医学英語 2 科目 4 単位」を修得すること
薬学類・創薬科学類	①英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ②英語外部試験による単位認定 4 単位 + 日本語 4 単位	—	①通常の留学生 ②英語履修の例外扱いの留学生*
保健学類	①英語 6 単位 + 日本語 2 単位 ②英語 4 単位 + 日本語 4 単位 ③英語 2 単位 + 日本語 6 単位	—	留学生の言語能力により決める

* 「英語履修の例外扱い」について

英語を母語とする学生、英語で学校教育を受けた学生、または英語母語話者並みの語学力を有する学生については、入学出願時の TOEFL スコア等を参考に、個々の学生の能力を診断した上で決定します。

基 礎 科 目

【基礎科目とは】

将来の専門にかかわらず、大学教育の最初の段階で共通に身につけなければならない学修課題があります。それらには、基礎的知識や概念の修得、入門として必要な原理や法則の理解、学問体系の概論的学修、実験・実習や演習などの訓練的学修、各分野の相互関係の理解などが含まれます。

数学、物理学、化学、地学の分野ごとに上記の学修課題をまとめ編成したものが基礎科目です。それらの修得がその後の様々な専門分野での学修にとって前提となる性格を持つため、基礎科目は多くの科目が必修の指定を受けています。

【基礎科目の学修にあたって】

数学、物理学、化学、地学の各分野の学問としての基礎付けから始め、必要な知識の学修や技術的訓練を経て、一定の基礎学力を修得することを目標にします。理工学域および医薬保健学域の学生にとって、大学では学修量が増えるだけではなく、質が飛躍的に深化します。最先端の研究の前線に向って開かれたものとして、生きた学問像を把握し方法や目的を理解しようとする姿勢が望まれます。

各分野はそれぞれの特色を持っており、学修の進め方もそれぞれの特色を踏まえることが必要です。

基礎科目は上記の意味で、専門教育と連結するように編成されていますが、専門性を通して豊かな教養が身につくように配慮されています。基礎的学修が豊かな応用として結実することを願っています。

- (1) 主として理工学域および医薬保健学域向けに数学、物理学、化学、地学の分野に属する授業科目が基礎科目として開講されます。かなりの科目が必修とされていますので、履修要件に注意してください。
- (2) 必要単位数は学修の最低基準を示すために設定されたものです。自然科学各分野について広い視野と基礎学力を修得するために、各自の今後の進路、目標に従って学修計画を立てて、できるだけ必要単位数以上を修得してください。必要単位数を超えた分は自由履修科目または自由履修枠に算入できます。詳細は「13. 学類別卒業要件」で確認してください。
- (3) 同一科目名の授業は意義、目的などは同じですが、学類によって授業内容などの重点の置き方が異なってくる場合がありますので、自分の所属する学類の授業クラスで履修してください。それ以外の授業クラスの場合は、担当教員と相談し、了承を得ることが必要です。
- (4) 基礎科目の一部は理工学域での教育職員免許状取得に必要な科目になっています。履修漏れのないように充分注意してください。

基礎科目開講一覧表

分野	学 域 名		理工学域							医薬保健学域	
	学 類 名		数 物 科 学 類	物 質 化 学 類	機 械 工 学 類	フ ロ ン テ ィ ア 工 学 類	電 子 情 報 通 信 学 類	地 球 社 会 基 盤 学 類	生 命 理 工 学 類	医 学 類	薬 創 薬 学 科 学 類
	単 位 数										
	科 目 名										
数 学	微分積分学ⅠA	1	○	○	○	○	○	○	★	○	○
	微分積分学ⅠB	1	○	○	○	○	○	○	★	○	○
	線形代数学ⅠA	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	線形代数学ⅠB	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	微分積分学ⅡA	1	○	★	○	○	○	○			
	微分積分学ⅡB	1	○	★	○	○	○	○			
	線形代数学ⅡA	1	○	★	○	○	○	○			
	線形代数学ⅡB	1	○	★	○	○	○	○			
	統計数学A	1								○	○
	統計数学B	1								○	○
物 理 学	物理学ⅠA	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	物理学ⅠB	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	物理学ⅡA	1	○	○	○	○	○	○		○	
	物理学ⅡB	1	○	○	○	○	○	○		○	
	物理学実験	2	※1 ○	★	○	○	○	★		☆	
化 学	化学ⅠA	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	化学ⅠB	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	化学ⅡA	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	化学ⅡB	1	○	○	○	○	○	○	★	○	
	化学実験	2	○	○	○	○	○	★		☆	※2 ○
地 学	地学ⅠA	1	○	○				○			
	地学ⅠB	1	○	○				○			
	地学ⅡA	1	○	○				○			
	地学ⅡB	1	○	○				○			
必要単位数			14	16	16	16	16	16	8	14	5

○印は必修科目

★印は選択必修科目

○印は選択科目

☆印は基礎科目としての修得すべき単位数には入らないが対象クラスが設定されている科目です。

※1は計算科学コース計算実験プログラム及び物理学コースの必修科目です。

※2はクォーター開講のため1単位です。

総合教育部（理系）の学生に関しては、「総合教育部案内」で確認してください。

基礎科目開講一覧表

分野	学 域 名		医薬保健学域				
	学 類 名		保健学類				
	単 位 数		看	放	検	理	作
	科 目 名		護	射	査	学	業
数 学	微分積分学第一	2		◎	○	○	○
	線形代数学第一	2		◎	○	○	○
	微分積分学第二	2					
	線形代数学第二	2					
	統計数学	2		☆	◎		
物 理 学	物 理 学 I	2	○	◎	○	○	○
	物 理 学 II	2		◎	○		
	物 理 学 実 験	2	○			○	○
化 学	化 学 I	2	○	☆	○	○	○
	化 学 II	2	○	☆	○	○	○
	化 学 実 験	2	○			○	○
地 学	地 学 I	2					
	地 学 II	2					
必 要 単 位 数		2	8	8	2	2	

◎印は必修科目

○印は選択科目

☆印は基礎科目としての修得すべき単位数には入らないが対象クラスが設定されている科目です。
総合教育部（理系）の学生に関しては、「総合教育部案内」で確認してください。

(5) 基礎科目授業クラス編成

令和2(2020)年度入学者

学域	理工学域							医薬保健学域			総合教育部(理系)	開講学期	
	数物科学類	物質化学類	機械工学類	フロンティア工学類	電子情報通信学類	地球社会基盤学類	生命理工学類	医学類	薬科学類	全員			全員
分野	名列番号 科目名	全員	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示	別指 途示
数学	微積分学ⅠA										⑫	⑭	Q1
	微積分学ⅠB												Q2
	線形代数学ⅠA						⑦⑧	⑨	⑩⑪				Q1
	線形代数学ⅠB												Q2
	微積分学ⅡA	①	②		③④⑤⑥								Q3
	微積分学ⅡB						⑦						Q4
	線形代数学ⅡA												Q3
	線形代数学ⅡB												Q4
	統計数学A									①②③		④	Q3
	統計数学B												Q4
物理学	物理学ⅠA							⑨					Q1
	物理学ⅠB							⑩					Q2
	物理学ⅡA	①	②③		④⑤⑥⑦⑧			⑨		⑪⑫		⑮	Q3
	物理学ⅡB						②③			⑩⑪		⑬	Q4
	物理学実験						④			⑤		⑤	後期：1年 前期：2年
化学	化学ⅠA												Q1
	化学ⅠB												Q2
	化学ⅡA	①	②		④⑤		⑥	③	⑦			⑨	Q3
	化学ⅡB				③④		①	③	⑤			⑦	Q4
	化学実験	◆①	◆②	①			②		①			②	後期：1年 ③前期：2年 ④Q1：2年
地学	地学ⅠA												Q1
	地学ⅠB												Q2
	地学ⅡA	①					①					①	Q3
	地学ⅡB												Q4

学域	医薬保健学域				開講学期	
学類	保健学類					
分野	専攻 科目名	看護	放射	検査	理学	作業
数学	微積分学第一				⑬	前期
	線形代数学第一				⑫	前期
	微積分学第二					後期
	線形代数学第二					後期
	統計数学				④	後期
物理学	物理学Ⅰ	⑬	⑭		⑬	前期
	物理学Ⅱ			⑫		後期
	物理学実験	⑥			⑤	後期：1年
化学	化学Ⅰ				⑧	前期
	化学Ⅱ				⑥	後期
	化学実験	⑤				後期：1年
					③	前期：2年
地学	地学Ⅰ					前期
	地学Ⅱ					後期

◆印は曜日選択

※はクォーター開講のため1単位です。

*名列番号及び専攻欄のクラス分けの番号は別途掲示します。

(6) 単位保留制度について

基礎科目の単位保留制度について次のように決められています。

「単位保留とされた者は、担当教員に申し出て、その後の学修の仕方や成績の評価の仕方について十分な指導を受けてください。ただし、この単位保留の期間は最大1年間とします。」

当該学期又はクォーターに合格できなかった場合、そのままでは再履修が必要ですが、その時点で他の科目の開講時間と重なるなどの理由から、再履修が困難となる場合が多くなってきます。そこで速やかに再学修を行い、早い時期に合格水準に達することを重視する観点から、この単位保留制度が実施されています。

ただし、この制度は単位未修得者すべてに適用されるものではありません。一定程度の学修段階に到達し、今後の努力によって合格水準に到達すると思われる者にも適用されます。再学修の過程で学修効果が上がらない場合は1年を待つことなく不可の判定がなされます。

(7) 各分野の概要と履修指針

① 数学

数学は人間の知性の一つの結晶であり、すべての学生はこの学問を学ぶことによって自らの知性を磨くよう努力しなければなりません。さらに数学は世界のあらゆる法則を適切に記述するための言葉としても用いられますから、自然系と人社系を問わずすべての学生にとってこれを学ぶことは重要です。特に自然法則は数学的形式を用いて記述され、その応用には数学の各理論の理解と知識が必要です。したがって、特に自然系分野を専攻しようとする学生はそれぞれに関連した数学を学ぶために、強い熱意をもって十分な時間をそれに充てなければなりません。

基礎科目としての数学では「微分積分学ⅠA」、「微分積分学ⅠB」、「微分積分学ⅡA」、「微分積分学ⅡB」、「線形代数学ⅠA」、「線形代数学ⅠB」、「線形代数学ⅡA」、「線形代数学ⅡB」、「統計数学A」、「統計数学B」の10科目（または「微分積分学第一」、「微分積分学第二」、「線形代数学第一」、「線形代数学第二」、「統計数学」の5科目）が開講されます。「微分積分学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」（または「微分積分学第一と第二」）を通して、問題を数理的に解析するための基本となる微分法と積分法を中心に、その理論と応用を学修します。「線形代数学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」（または「線形代数学第一と第二」）を通して、線形性（あるいは、重ね合わせ）という普遍的性質に基づく数学的方法を行列の理論を中心に、併せてその応用を学修します。「統計数学A、B」（または「統計数学」）では偶然を伴う問題を理解する基本となる確率の数学的理論を中心に、その統計学への応用を学修します。

これら数学の理解と知識は、大学で自然系の分野を専攻した人々すべてに期待される世界的標準にもなっている、ということを知っていなければなりません。

- a) 微分積分学と線形代数学は応用範囲も広く、すべての理工学域および医薬保健学域にとって基礎として必要なものであり、ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（または第一、第二）の順に1年を通じて履修することを推奨します。
- b) 所属する学類によっては、数学の分野に属する専門教育科目が開講されます。それらは基礎科目の修得を前提として授業が進められますので、よく承知して学修してください。

② 物理学

物理学は古典物理学（主にニュートン力学、熱力学、電磁気学）と現代物理学（主に相対論、原子、量子物理学）から構成され、それらはさらに発展して物性論、素粒子論となり、現代の科学技術や宇宙の理解の基礎となってゆきます。

基礎科目としての物理学は最初に力学を対象にし、時間、空間、質量などの基本量と次元、速度、加速度の解析的表現と運動学、エネルギー、運動量、角運動量などの物理量とそれらの間の基本法則を学修します。力学はさらに質点系の力学や振動・波動へと発展されます。熱力学は第1、第2法則、エントロピーについて基礎概念を明確にする方向に力点が置かれます。電磁気学はマックスウェルの方程式の導出が基本課題となります。

授業で学ぶ物理学の法則は、物質世界の諸法則の最も基本的部分を占め、他の諸科学にとっては物理学的前提や要請として含まれてきます。この特徴により、すべての自然系学生にとって物理学の学修が求められています。これらの内容を基礎的なものから順に編成し物理学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（またはⅠ、Ⅱ）として開講します。

- a) 物理学ⅠA、ⅠB（またはⅠ）は入門として必要な教育課題を中心にして構成されていますので、物理学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（またはⅠ、Ⅱ）の順に履修してください。
- b) 所属する学類によっては、物理学の分野に属する専門教育科目が開講されます。それらは基礎科目の修得を前提として授業が進められますので、よく承知して学修してください。
- c) 物理学の理解を深めるためには、講義と実習の他に演習が必要です。各自、演習書などを利用して学修してください。
- d) 物理学は理論の体系性が著しい科学ですが、実験科学としての側面も持っています。物理学実験は必要な学修課題を配置したコース実験となっています。コース全体の履修を通じて実験の手法や装置

の学修を行いますので、詳細はシラバスを参照してください。

③ 化学

私たちの身のまわりには、空気や岩石から生体分子まで、数え切れないほどの多様な物質が存在し、変化しています。しかし物質を構成する基本単位である原子は、わずか100種類程度しかありません。物質の多様性は原子の組み合わせによって生じていると考えられます。化学はさまざまな物質の性質や変化を原子や分子の振る舞いに注目して調べる学問であるといえます。また、原子や分子の性質をうまく活用して新しい有用な物質を作り出すことも、化学の重要な活動のひとつです。

自然界に存在するさまざまな物質の構造や性質をひとつひとつ記憶するのは、よほどの記憶力を持った人にしかできないでしょうし、化学を理解し自分の専門分野に活用するために有効な努力だとは考えられません。共通性や規則性にもとづいていろいろな知識を整理し活用するという発想法は、化学でも有効です。また化学では、物質を理解するために役に立つことは、物理学でも数学でも、何でも取り入れて活用しています。科目の区分にとらわれて他の分野のやり方や考え方を拒絶するのは、化学を理解し活用する妨げになります。

このように、化学は物質を理解し活用するための要となる学問分野であり、工学、医学、薬学などの応用科学とも深く関係しています。

- a) 化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（またはⅠ、Ⅱ）の意義、目的などは共通ですが、授業で取り上げる項目の順番、重点をおく項目、説明のために用いる例などが各学類等で多少異なっています。したがって、自分の所属する学類等が優先される授業クラスで履修してください。また、化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB（またはⅠ、Ⅱ）の順に履修することを推奨します。
- b) 所属する学類によっては、化学の分野に属する専門教育科目が開講されます。それらは基礎科目の修得を前提として授業が進められますので、よく承知して学修してください。
- c) 化学実験は、これまでに学修したりこれから学修したりする化学的な現象を実際に体験する機会として、さらに化学実験の手法を学修する機会として、とても重要です。化学関係の分野を専攻しない人たちも履修することを勧めます。
- d) 自分の所属する学類等が優先される授業クラスが開講されていない場合でも、基礎科目の化学の講義、実験を履修することができます。履修希望者は授業クラスの担当教員と相談し、了承を得てください。履修者が多すぎて講義、実験を円滑に行うことが困難となる場合は了承されないこともありますから、よく相談してください。

④ 地学

地学は、地球自体の姿を解明する分野、地球を太陽系や宇宙の中で捉えようとする分野、そして人間を含む生物と地球の関係を明らかにしようとする分野等を含み、各種の観測・観察手法、解析・分析手法により地球の過去・現在・未来を明らかにしようとする総合科学です。地学は、地球科学に関連する分野への展開に繋がる基礎科学であると同時に、現在人類の喫緊の課題である地球環境・資源問題に対応するための基礎科学としての役割も果たしています。従って、地球科学およびそれに関連する分野を専攻しようとする学生には、その基礎と今後の指針を示すことを目的とし、また、他の分野の学生には科学常識として一般的な地球科学・地球環境学の知識・考え方が修得できるように配慮しています。

内容は、基本的、概説的なものから順次、地球の進化と現状の理解が容易になるように構成されています。また専門的な分野にもつながるように考慮され、基礎科目として第1・2クォーターには、それぞれ地学ⅠA、ⅠBが、第3・4クォーターには、地学ⅡA、ⅡBが開講されます。

- a) 地学の概説的入門科目として理工学域の学生に地学ⅠA、ⅠBおよび地学ⅡA、ⅡBが開講されています。
- b) 理工学域地球社会基盤学類の学生には地学ⅠA、ⅠBは必修科目となっていますので、必ず履修してください。理工学域地球社会基盤学類以外の理工学域の学生は、選択科目として履修できる場合があります。

- c) 理工学域以外の学生も、授業クラスの人数を超えない範囲で受講を認めますので、希望者は担当教員に申し出て了承を得てください。
- d) 地学ⅠA、ⅠBおよび地学ⅡA、ⅡBは、ⅠA、ⅠBおよびⅡA、ⅡBの順に履修することを推奨します。

⑤ 実験

自然科学は観測から出発し、それがどのように理論的に体系化されても、最後には実験によって検証されなければなりません。この意味で実験は自然と人間認識の橋渡しをする自然科学の要の位置を占めています。また科学技術の進展によって実験装置や手法が開発され、それによって新たな学問分野が開かれたり、新しい物質が合成されたりして、自然科学の諸分野をさらに発展させている側面も忘れてはなりません。

基礎科目における実験の学修は以下のような様々の意義をもっています。

- (1) 講義内容と対応した実験によって、法則や理論の理解を深める。
- (2) 自然の多様な現象を体験し、興味を育てる。
- (3) 実験の技術、手法や装置の学修をする。
- (4) データの処理や実験結果のまとめ方について学修する。
- (5) 試行錯誤や教員などとの対話によって科学的思考方法を会得する。

基礎科目の実験としては物理学実験、化学実験が開講されます。

⑥ 各分野の相互関係と学修の相乗効果

数学の内容は他の分野にとって言葉として、あるいは手段、道具として日常不断に登場してきます。数学の学修にはより原理的理解をめざす学修と、諸定理、法則の運用の経験を積み应用能力を高めることをめざす学修とがあります。この二つの立場を柔軟に使い分け学修してゆくことが望ましいと考えられます。

物理学は他分野に基礎的法則として入り込んでいますので、各分野について原理的理解をめざそうとすると、物理学の学修が重要になってきます。物理学の現象や法則を数学的方法によって記述する機会が多いので、物理学の学修が、数学の法則の応用、適用例として、数学そのものの理解にも通じる側面があります。

化学の内容の一部では数学や物理学のやり方や考え方を活用しています。したがって、数学や物理学の学修は化学の理解を助けます。また、化学で学修した内容は地学に活用できます。逆に、地学を学修することによって化学に対する関心が高まると期待されます。

地学は現代の総合科目としての側面を持ちつつあり、環境問題から、自然観にかかわる多様な知識を得ることができますので他分野の学修に刺激を与えるものとなります。

以上の各科目をバランスをとって学修することにより、その相乗効果により各自が基礎学力を一層高めることが期待されています。

目次

- (1) 開講科目・区分・単位・成績評価と単位認定
- (2) 初習言語科目を必修とする学類と必修単位
- (3) 初習言語Aの履修
 - 3.1. 標準的履修
 - 3.2. 2クォーター遅れの履修
 - 3.3. 履修登録, 単位修得上のルール
 - 3.4. 再履修のルール
 - 3.5. 選択科目として4単位分を履修する場合の注意
- (4) 初習言語B, 初習言語Cの履修
- (5) ギリシア語・ラテン語(西洋古典語)の履修
 - 5.1. ギリシア語・ラテン語Aの履修
 - 5.2. ギリシア語・ラテン語BおよびCの履修
- (6) 履修上の特例
 - 6.1. 外国人留学生
 - 6.2. 帰国子女
 - 6.3. 初習言語を入学以前に学んでいる者
- (7) 外部試験による単位認定

(1) 開講科目・区分・単位・成績評価と単位認定

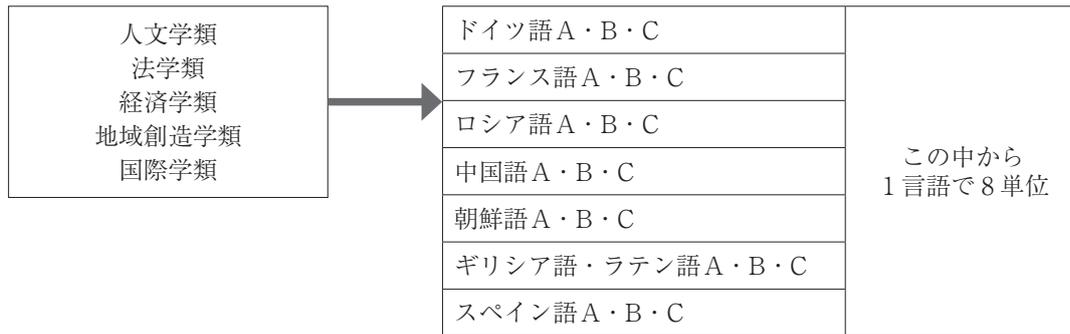
- ① 英語・日本語以外の言語を初習言語といいます。
共通教育科目として開講される初習言語科目は、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、ギリシア語・ラテン語、スペイン語です。
- ② 初習言語はA(初級)、B(中級)、C(上級)に区分され、AはさらにA1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2に区分されます。
ドイツ語、フランス語、中国語にはAの区分に充実クラスI-1, 充実クラスI-2, 充実クラスII-1, 充実クラスII-2があります。これは初級の学修を充実させる目的で開講されます。
- ③ 単位は、週1コマ1クォーターの履修をもって1単位が認定されます。
- ④ 各クォーター、3分の2以上の授業に出席して試験に合格すれば「S, A, B, C」のいずれかの評価で単位が認定されます。試験に不合格の場合は「不可」という評価になります。また欠席が3分の1以上の場合や試験を受けなかった場合は「放棄」という評価になり、単位が認定されません。

初習言語が必修の学類の履修例：

クォーター	Q1	Q2	Q3	Q4
科 目	ドイツ語A1-1	ドイツ語A1-2	ドイツ語A3-1	ドイツ語A3-2
	ドイツ語A2-1	ドイツ語A2-2	ドイツ語A4-1	ドイツ語A4-2

(2) 初習言語科目を必修とする学類と必修単位

- ① 初習言語科目8単位を必修とする学類は、人文学類、法学類、経済学類、地域創造学類、国際学類です。
学校教育学類、理工学域、医薬保健学域は、初習言語科目は必修ではありませんが、全学生対象の授業時間帯での履修が可能です。



- ② 初習言語は、A・B・Cのすべての科目を必修単位に含めることができます。ただし、A（初級）から履修を始める場合の必修8単位は、各言語ともA1-1～A4-2の各1単位（計8単位）を修得してください。（ギリシア語・ラテン語については（5）を参照）

履修例

朝鮮語A1-1～A4-2	8単位	フランス語B-1（3科目）	3単位
		フランス語B-2（3科目）	3単位
		フランス語C-1（1科目）	1単位
		フランス語C-2（1科目）	1単位

〔(6) 履修上の特例6.3〕を参照

- ③ Aの区分の充実クラスI-1，充実クラスI-2，充実クラスII-1，充実クラスII-2は、初習言語科目の必修単位に含めることはできませんが、自由履修科目として卒業単位に含めることができます。
- ④ 外国人留学生は「(6) 履修上の特例」を参照してください。
- ⑤ 必修単位を超える初習言語科目の単位は、卒業要件となる共通教育科目の総単位に含めることができます。

(3) 初習言語Aの履修（ギリシア語・ラテン語については（5）を参照）

各言語の特色については、『初習言語ガイドブック』を参照してください。

3.1. 標準的履修

初習言語Aは、1年次の第1クォーターにA1-1とA2-1，第2クォーターにA1-2とA2-2，第3クォーターにA3-1とA4-1，第4クォーターにA3-2とA4-2を履修するのが標準となります。次頁の履修例が原則的な履修方法です。

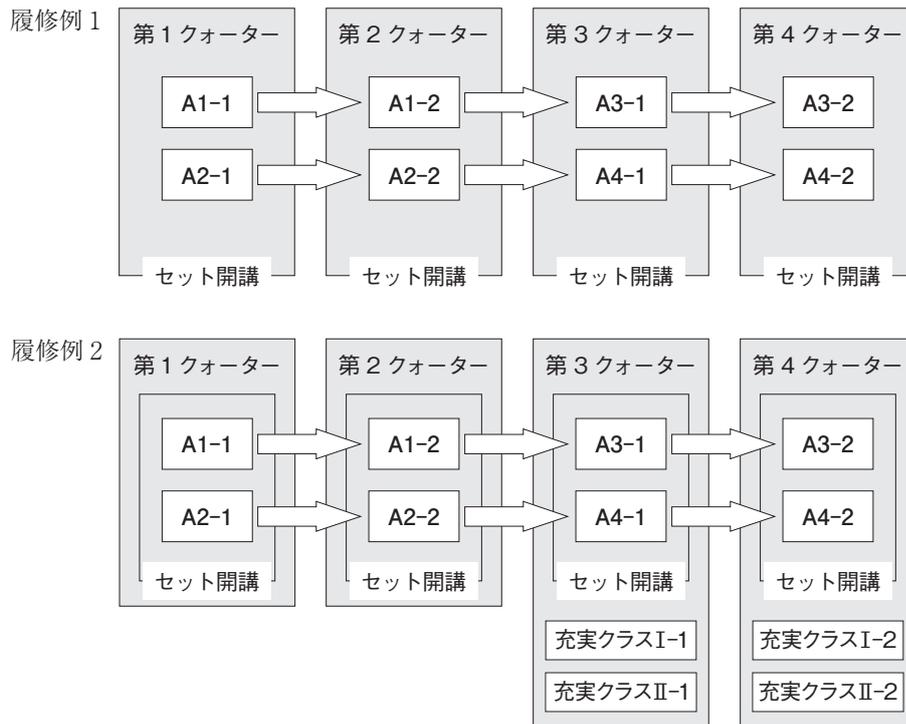
2年次以降は、この標準的方法以外の履修が可能ですが、その場合、例えば「A1-2を履修希望ならA1-1を修得済みである」というように、前段階の科目が修得済みであることが履修の条件となります。

① [ドイツ語・フランス語・中国語]

- ・充実クラスを除くA（初級）の授業は学類別に開講されています。シラバスを読み、自分の所属する学類対象に開講されている授業から選択してください。ただし、適正人数（30人）を超えたクラスでは、抽選により受講者調整が行われます。
- ・A1-1とA2-1，A1-2とA2-2，A3-1とA4-1，A3-2とA4-2は通常、セットで開講されています。A1-1あるいはA2-1の授業が決まれば、セットになっている授業も決まります。ただし、履修登録は各科目ごとに行ってください。セットの授業については、シラバスで確認してください。
- ・A1-1，A1-2，A3-1，A3-2およびA2-1，A2-2，A4-1，A4-2は内容的に連続しています。第2クォーターには、第1クォーターのA1-1とA2-1に接続する同じ曜日の同じ時間に

第1クォーターと同じ教員が担当するA1-2とA2-2を履修することが原則となります。

- ・言語科目の必修単位の充足とは別に、さらに集中して学修したい学生のために、自由履修科目としてドイツ語・フランス語・中国語には、Aの区分に充実クラスI-1, 充実クラスI-2, 充実クラスII-1, 充実クラスII-2があります。これは、第1・第2クォーターにA1-1, A1-2, A2-1, A2-2の単位を修得した上で、第3クォーターにA3-1とA4-1, 第4クォーターにA3-2とA4-2を履修する学生を対象として開講されます。「読む・書く」を中心とするクラスと、「聞く・話す」を中心とするクラスが用意されています。2つのクラスはセット開講ではありませんので、一方だけの履修も可能です。



② [ロシア語・朝鮮語]

- ・A(初級)の授業は、全学生対象に開講されています。シラバスと「授業時間割表」を見て、自分が出席できる時間帯の授業を選んでください。
- ・A1-1とA2-1, A1-2とA2-2, A3-1とA4-1, A3-2とA4-2は個別に時間帯を選択してください。
- ・ロシア語では、クォーターごとに履修する時間帯を変えても構いません。
- ・朝鮮語では、第1クォーターと第2クォーター, 第3クォーターと第4クォーターで時間帯を変えることはできません。

③ [スペイン語]

- ・A(初級)の授業は、学類別クラスと学類不問の人間社会学域・総合教育部(文系)クラスが開講されています。
- ・A1-1とA2-1, A1-2とA2-2, A3-1とA4-1, A3-2とA4-2はセットで開講されています。セットの授業についてはシラバスで確認してください。

- ④初習言語Aの全学生対象クラスの時間割は以下の通りです。学類別クラスの時間帯は106ページ以降の「時間帯表」で確認してください。

		月		火		水		木		金	
		Q1/Q2	Q3/Q4	Q1/Q2	Q3/Q4	Q1/Q2	Q3/Q4	Q1/Q2	Q3/Q4	Q1/Q2	Q3/Q4
1限	A1/A3		中国語 (渡邊)			ラテン語 A1 (細見)					
	A2/A4						ラテン語 A2 (細見)				
2限	A1/A3			ロシア語 (平松) 朝鮮語 (崔)	ロシア語 (中澤) 朝鮮語 (崔)	朝鮮語 (宋)	朝鮮語 (宋)				
	A2/A4							朝鮮語 (宋)	朝鮮語 (宋)		
3限	A1/A3			朝鮮語 (崔)	朝鮮語 (崔)	ロシア語 (平松)	ロシア語 (中澤)				
	A2/A4					朝鮮語 (宋)	朝鮮語 (宋)	ロシア語 (ボンダレンコ) 朝鮮語 (宋)	ロシア語 (ボンダレンコ) 朝鮮語 (宋)		
4限	A1/A3	朝鮮語 (崔)	朝鮮語 (崔)				ドイツ語 A1 (西嶋)			ギリシア語 A1 (入江)	
	A2/A4							フランス語 (岩津) 中国語 (田) ロシア語 (ボンダレンコ) 朝鮮語 (宋)	ロシア語 (ボンダレンコ) 朝鮮語 (宋)		ギリシア語 A2 (入江)
5限	A1/A3	中国語 (渡邊) ドイツ語 (早川)							ドイツ語 (早川)		
	A2/A4					ドイツ語 (クラチャンスカ)	ドイツ語 A2 (早川) フランス語 (佐藤) 中国語 (田)				
シティ カレッジ (17:30~ 19:00)	A1/A3							フランス語 (佐藤)	フランス語 (佐藤)		
	A2/A4										

※時間割は変更になる場合がありますので、Web版シラバス等で確認してください。

3.2. 2クォーター遅れの履修

ドイツ語では、標準的な履修学期より2クォーター遅れの授業も開講されます。この授業は、新たに学修を始めようとする者、標準的な履修学期に不合格となった者を対象とします。

3.3. 履修登録、単位修得上のルール

- ① A1-2の履修登録は、A1-1の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。
- ② A2-2の履修登録は、A2-1の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。

- ③ A3-1の履修登録は、A1-2の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。
- ④ A4-1の履修登録は、A2-2の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。
- ⑤ A3-2の履修登録は、A3-1の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。
- ⑥ A4-2の履修登録は、A4-1の単位を修得している場合にのみ認められます。評価が不可または放棄の場合は、履修登録ができません。
- ⑦ 同一言語のA1-1～A4-2は、各1単位を超えて単位修得することができません。
- ⑧ A1-1～A4-2のいずれについても、同一学期に同一言語・同一区分の科目（たとえばフランス語A3-1）を複数履修することはできません。

3.4. 再履修のルール

- ① A1-1～A4-2を履修して不合格となった場合は、不合格となった科目（A1-1が不合格となった場合はA1-1、A1-2が不合格となった場合はA1-2）を再度履修し、単位を修得してください。
- ② 再履修の場合、学類による時間帯の指定はありません。受講可能な時間帯の授業を選んでください。

3.5. 選択科目として4単位分を履修する場合の注意

選択科目として履修する場合は最低でも4単位の修得を目指してください。

- ① [ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語]
 - ・セットで開講されているA1-1とA2-1、A1-2とA2-2を履修することが標準です。ただし、A1-1・A1-2とA3-1・A3-2、またはA2-1・A2-2とA4-1・A4-2の組み合わせで履修することも可能です。
- ② [ロシア語・朝鮮語]
 - ・A1-1とA2-1、A1-2とA2-2は同一教科書による連続授業です。必ず、A1-1とA2-1、A1-2とA2-2を履修してください。ただし、A1-1とA2-1、A1-2とA2-2はセット開講ではないので、個別に時間帯を選択できます。

(4) 初習言語B、初習言語Cの履修（ギリシア語・ラテン語については（5）を参照）

- ① [標準的履修]
 - ・原則として、Bを履修するにはA1-1～A4-2の計8単位、Cを履修するにはBを2単位以上修得していなければなりません。
- ② [履修登録上のルール]
 - ・BとCの授業において、同一の教科書を使用する授業科目の複数履修は、担当教員が許可する場合を除き、原則として認められません。

(5) ギリシア語・ラテン語（西洋古典語）の履修

5.1. ギリシア語・ラテン語Aの履修

① [標準的履修]

- ・ギリシア語・ラテン語は、1年次の第1クォーターにA1-1、第2クォーターにA1-2、第3クォーターにA2-1、第4クォーターにA2-2、2年次の第1クォーターにA3-1、第2クォーターにA3-2、第3クォーターにA4-1、第4クォーターにA4-2を履修するのが標準となります。
- ・ギリシア語・ラテン語では、A1-1～A4-2は、内容的に連続した授業です。
- ・標準的な履修クォーター および履修可能なクォーター を図示すると、原則的には以下のとおりです。

言語名	区分	単位数	開講学期															
			1年				2年				3年				4年			
			Q1	Q2	Q3	Q4												
ギリシア語 ラテン語	A1-1	1	<input type="checkbox"/>															
	A1-2	1	<input type="checkbox"/>															
	A2-1	1	<input type="checkbox"/>															
	A2-2	1	<input type="checkbox"/>															
	A3-1	1	<input type="checkbox"/>															
	A3-2	1	<input type="checkbox"/>															
	A4-1	1	<input type="checkbox"/>															
	A4-2	1	<input type="checkbox"/>															

② [履修登録・単位修得上のルール]

- ・原則的にA2-1の履修登録は、A1-1及びA1-2の単位を修得している場合にのみ認められます。
- ・原則的にA4-1の履修登録は、A3-1及びA3-2の単位を修得している場合にのみ認められます。
- ・同一言語によるAは、A1-1～A4-2の各1単位（計8単位）を超えて単位修得することはできません。
- ・A1-1～A4-2のいずれについても、同一学期に同一言語・同一区分の科目（たとえばラテン語A1-1）を複数履修することはできません。

③ [必修単位修得上のルール]

- ・ギリシア語Aの8単位、またはラテン語Aの8単位を必修の1言語8単位とすることができます。また、ギリシア語A1-1～A2-2（計4単位）とラテン語A1-1～A2-2（計4単位）を履修し、これを合わせて「西洋古典語」として必修の8単位とすることもできます。

④ [再履修のルール]

- ・A1-1～A4-2を履修して不合格となった場合は、不合格となった科目（A1-1が不合格となった場合はA1-1、A1-2が不合格となった場合はA1-2）を再度履修し、単位を修得してください。

5.2. ギリシア語・ラテン語BおよびCの履修

ギリシア語・ラテン語のBとCを履修できるクォーターを図示すると、原則的には以下のとおりです。

言語名	区分	単位数	開講学期															
			1年				2年				3年				4年			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ギリシア語	B-1	1									■				■			
ラテン語	B-2	1										■				■		
ギリシア語	C-1	1											■				■	
ラテン語	C-2	1												■				■

(6) 履修上の特例

6.1. 外国人留学生

- ① 母語の判定も含めて、個別に履修指導を行います。履修ガイダンス時の指示に従ってください。
- ② [履修上の原則]
 - ・初習言語科目として母語である言語を履修することはできません。

6.2. 帰国子女

一般入試・帰国子女入試の別にかかわらず、個別に履修指導を行います。必ず1年次の第1クォーターの履修登録前に基幹教育学務係に申し出てください。

6.3. 初習言語を入学以前に学んでいる者

1年次の第1クォーターに初習言語A 3-1・A 4-1，初習言語B・Cの履修を希望する者については、個別に履修指導を行います。必ず第1クォーターの履修登録前に基幹教育学務係に申し出てください。各科目担当者による履修可否の判定が行われます。

(7) 外部試験による単位認定

- ① 本学入学後、外部試験に合格した（あるいは所定のスコアを得た）者は、言語科目の単位認定を受けることができます。
- ② 対象となる外部試験、認定される単位数などは、以下の別表のとおりです。
- ③ 単位認定を希望する者は、合格証並びにスコアレポートを添えて所属学類の学務係に単位認定申請書を提出してください。審査に合格すれば、単位が認定されます（審査に時間を要するため、学期末に申請した場合、学期内に認定できないことがあります）。
- ④ 成績は「認定」となり、履修単位数制限およびGPA制度から除外されます。
- ⑤ 履修中の初習言語Aの単位認定を希望する者は、合格証を受け取り次第速やかに所属学類の学務係に単位認定申請書を提出してください。
- ⑥ 複数回の申請の場合、増加単位分のみを認定し、重複認定はしません。
- ⑦ 原則として、一度単位認定に使用したスコア等成績は、他の単位認定申請に使用することはできません。

[別表] 外部試験と単位認定数

ドイツ語

試験名	認定単位
ドイツ語技能検定試験4級	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2 計4単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A1 ドイツ語技能検定試験3級	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2, B-1, B-2 計10単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 計12単位
ドイツ語技能検定試験2級	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1, C-2 2単位 計14単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 2科目, C-2 2科目 4単位 計16単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2 以上 ドイツ語技能検定試験準1級以上	ドイツ語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位

フランス語

試験名	認定単位
実用フランス語技能検定試験5級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2 計4単位
実用フランス語技能検定試験4級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 計8単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A1 DELTA A1 実用フランス語技能検定試験3級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1, B-2 2単位 計10単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2 DELTA A2 実用フランス語技能検定試験準2級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 計12単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1 DELTA B1 実用フランス語技能検定試験2級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 2科目, C-2 2科目 4単位 計16単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2 DELTA B2 実用フランス語技能検定試験準1級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位
CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) C1, C2 DALF C1, C2 実用フランス語技能検定試験1級	フランス語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 4科目, C-2 4科目 8単位 計20単位

中国語

試験名	認定単位
中国語検定試験準4級	中国語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2 計4単位
中国語検定試験4級	中国語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 計8単位
中国語検定試験3級	中国語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 計12単位
中国語検定試験2級	中国語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位
中国語検定試験準1級・1級	中国語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 4科目, C-2 4科目 8単位 計20単位

朝鮮語

試験名	認定単位
ハングル能力検定試験5級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2 計4単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 1級	
ハングル能力検定試験4級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 計8単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 2級	
ハングル能力検定試験3級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 計12単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 3級	
ハングル能力検定試験準2級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 2科目, C-2 2科目 4単位 計16単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 4級	
ハングル能力検定試験2級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 5級	
ハングル能力検定試験1級	朝鮮語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 4科目, C-2 4科目 8単位 計20単位
韓国語能力試験 (TOPIK) 6級	

ロシア語

試 験 名	認 定 単 位
ロシア語能力検定試験4級	ロシア語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2, B-1, B-2 計10単位
ロシア語能力検定試験3級	ロシア語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1, C-2 2単位 計14単位
ロシア語能力検定試験2級	ロシア語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位

スペイン語

試 験 名	認 定 単 位
スペイン語技能検定6級	スペイン語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2 計4単位
スペイン語技能検定5級	スペイン語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 計8単位
スペイン語技能検定4級	スペイン語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1, C-2 2単位 計14単位
スペイン語技能検定3級	スペイン語A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, A3-1, A3-2, A4-1, A4-2 8単位 B-1 2科目, B-2 2科目 4単位 C-1 3科目, C-2 3科目 6単位 計18単位

自由履修科目

自由履修科目は、GS科目、基礎科目および初習言語科目について学類で定められた最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

○GS科目の最低修得要件を超えて修得した科目

GS科目の修得すべき単位数及び要件は、「各群から3単位計15単位」等です。それ以上GS科目を修得した場合は、自由履修科目として卒業要件（共通教育科目）に含めることができます。

○基礎科目および初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目

基礎科目および初習言語科目について、所属学類で単位修得要件として指定されていない科目を履修して、単位を修得した場合は、自由履修科目として卒業要件（共通教育科目）に含めることができます。

○「その他の共通教育科目」には、例えば、以下のような科目があります。

- ・「地域「超」体験プログラム」
- ・教職科目（「日本国憲法概説」「生物学実験」「地学実験」など）
- ・シティカレッジ開講科目（「金沢の歴史と文化」「石川県の市町」など）

その他の授業については、Web版シラバス等で確認してください。

13. 学類別の卒業要件（共通教育科目）

令和2（2020）年度入学者用

人 文 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修	30単位以上
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※	3単位以上		
基礎科目				
初習言語科目	1言語8単位以上			
専門教育科目	学域GS科目	2科目2単位		
	学域GS言語科目	2科目2単位		
	人文学基盤科目	「人文学序説A・B・C・D」4単位を含む合計16単位以上を必ず履修すること。		
	専門科目	86単位以上 「卒業論文演習A」1単位, 「卒業論文演習B」1単位, 「卒業論文演習C」1単位, 「卒業論文演習D」1単位, 「卒業論文」6単位を必ず履修すること。また, これら計10単位に加えて, 各プログラムごとに指定する専門科目あわせて56単位以上の履修が必要。		
卒業に必要な単位数		124単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

- ① 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。
- ② 各プログラムにおいて履修することが望ましい科目は以下のとおりです。

現代社会・人間学プログラム

【哲学・倫理学系の履修モデル選択希望者】

- ドイツ語A, フランス語A, ギリシア語A, ラテン語Aのうち, 少なくとも1つを履修することが望ましい。

歴史学プログラム

【履修モデル「日本史」選択希望者】

- GS科目「4B 日本史・日本文化」を履修していることが望ましい。

【履修モデル「東洋史」選択希望者】

- 中国語Aを履修することが望ましい。

【履修モデル「西洋史」選択希望者】

- 研究したいテーマに関連するヨーロッパ諸言語を1つ以上履修することが望ましい。

（例えば、ドイツ語A, フランス語A。ただし、ラテン語, ギリシア語の場合はさらに他のヨーロッパ諸言語を履修することが望ましい。）

日本・中国言語文化学プログラム

【中国語学中国文学系の履修モデル選択希望者】

○中国語Aを履修することが望ましい。

欧米言語文化学プログラム

【英語学英米文学系の履修モデル選択希望者】

○フランス語Aかドイツ語Aのうち、いずれか一方を履修することが望ましい。

【ドイツ語学ドイツ文学系の履修モデル選択希望者】

○ドイツ語Aを履修することが望ましい。

【フランス語学フランス文学系の履修モデル選択希望者】

○フランス語Aを履修することが望ましい。

言語科学プログラム

○大学院受験の可能性のある人は、英語以外にドイツ語Aまたはフランス語Aを履修することが望ましい。ギリシア語Aまたはラテン語Aなど、広く言語科目を履修することも勧めます。

(3) 専門教育科目の履修について

木曜日・金曜日に1年次を主な対象とする専門教育科目が開講されます。その他、一部の専門教育科目も履修できます。

(4) 教育職員免許状については、「15. 教育職員免許状」を参照してください。

法	学	類
---	---	---

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	各群から3単位	計15単位	30単位以上
		※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修		
		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
GS言語科目	3単位以上			
自由履修科目 ※				
基礎科目				
初習言語科目	1言語8単位			
専門教育科目	学域GS科目	2単位		
	学域GS言語科目	2科目2単位		
	専門基礎科目	4単位以上		
	専門科目			
卒業に必要な単位数		128単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

GS言語科目及び初習言語科目

(ア) 法学類の専門科目の勉強を深める前提として、言語科目を履修することにどのような意味があるかについては、「法学類ハンドブック」第1章「大学における履修のための基礎知識(入門編)」のうち、「5. 授業科目あれこれ」の部分に説明がありますから、よく読んでください。

また、授業科目「大学・社会生活論」の中で、共通教育科目の履修ガイダンスに引き続いて、法学類の専門科目と外国語との関係についても説明があります。なお、「初習言語ガイドブック」には、各言語を効果的に履修するためのアドバイスが掲載されていますから、ぜひ参照してください。

(イ) 外国人留学生の言語科目履修については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

(3) 演習（専門科目・必修）について

3年次以降の演習を履修するためには、次の単位をすべて修得していることが必要です（ただし、編入学生は、この限りではありません）。

(ア) 共通教育科目のうち、導入科目4単位及びGS科目「3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」

(イ) 1年次から開講される専門基礎科目「法学概論」2単位、「政治学A」1単位、「政治学B」1単位、「民法入門A」2単位、「民法入門B」2単位の合計8単位のうちから4単位

経 済 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	38単位以上	各群から3科目 計15単位 ※GS科目3Aプレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	30単位以上
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位	
	自由履修科目 ※		3単位以上	
基礎科目				
初習言語科目		1言語8単位		
専門教育科目	学域GS科目(注3)	88単位以上	2単位	
	学域GS言語科目(注3)		2科目2単位	
	専門基礎科目		4単位以上(注1)	
	専門科目		コース選択必修24単位(注2), 演習8単位を含む	
卒業に必要な単位数		126単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

注1. 科目群Ⅰ(基礎統計学, マクロ経済学Ⅰ, ミクロ経済学Ⅰ, Basic Economics A)から2単位, 科目群Ⅱ(経済学史, 日本経済論, 経営学概論, Basic Economics B)から2単位を含みます。

注2. エコノミクスコースは、理論・政策系科目群から16単位およびグローバル系科目群から8単位を、グローバル・マネジメントコースは、マネジメント系科目群から16単位およびグローバル系科目群から8単位を、それぞれ含みます。

注3. 2単位を超えて修得した学域GS科目および学域GS言語科目の単位は、専門教育科目の単位に含めません。

(2) 共通教育科目の履修について

次の事項に留意するほか、『経済学類ハンドブック』に記載されている『人間社会学域規程』『経済学類細則』等をよく読んでください。

- ① 共通教育科目はどの年次でも履修できます。また、高学年次での履修も可能ですが、**演習(専門科目・必修)**を履修するためには、**2年次第2クォーター終了時まで**に一定の共通教育科目の単位を修得しなければなりません。
- ② 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目(日本語)を参照してください。

(3) 演習について

演習配属要件は、共通教育科目から24単位(大学・社会生活論, 初学者ゼミⅠ, データサイエンス基礎, 地域概論の4科目4単位, およびGS科目3Aプレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)の1科目1単位を含む)以上を修得することです。

学 校 教 育 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件									
共通 教育 科目	導 入 科 目		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>大学・社会生活論</td><td style="text-align: right;">1 単位</td></tr> <tr><td>初学者ゼミ I</td><td style="text-align: right;">1 単位</td></tr> <tr><td>データサイエンス基礎</td><td style="text-align: right;">1 単位</td></tr> <tr><td>地域概論</td><td style="text-align: right;">1 単位</td></tr> </table>	大学・社会生活論	1 単位	初学者ゼミ I	1 単位	データサイエンス基礎	1 単位	地域概論	1 単位
	大学・社会生活論	1 単位									
	初学者ゼミ I	1 単位									
	データサイエンス基礎	1 単位									
	地域概論	1 単位									
	GS科目(5群)	30単位 以 上		30単位 以 上							
	GS言語科目		各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初 学者ゼミⅡ)は必修								
自由履修科目 ※		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位									
基 礎 科 目		3 単位以上									
初習言語科目		—									
専 門 教 育 科 目	学域GS科目	2 単位									
	学域GS言語科目	2 単位									
	専 門 基 礎 科 目	63~68 単 位 以 上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>教育科学コース・教育基礎専修</td><td style="text-align: right;">66単位</td></tr> <tr><td>教育科学コース・特別支援教育専修</td><td style="text-align: right;">63単位</td></tr> <tr><td>教科教育学コース</td><td style="text-align: right;">68単位</td></tr> </table>	教育科学コース・教育基礎専修	66単位	教育科学コース・特別支援教育専修	63単位	教科教育学コース	68単位		
	教育科学コース・教育基礎専修	66単位									
教育科学コース・特別支援教育専修	63単位										
教科教育学コース	68単位										
専 門 科 目	40~45 単 位 以 上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>教育科学コース・教育基礎専修</td><td style="text-align: right;">42単位</td></tr> <tr><td>教育科学コース・特別支援教育専修</td><td style="text-align: right;">45単位</td></tr> <tr><td>教科教育学コース</td><td style="text-align: right;">40単位</td></tr> </table>	教育科学コース・教育基礎専修	42単位	教育科学コース・特別支援教育専修	45単位	教科教育学コース	40単位			
教育科学コース・教育基礎専修	42単位										
教育科学コース・特別支援教育専修	45単位										
教科教育学コース	40単位										
卒業に必要な単位数		142単位以上									

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

- ① 教育職員免許状取得のため、次の科目を必ず修得してください。

日本国憲法に関する科目…日本国憲法概説（2単位）（自由履修科目に算入）

体育に関する科目…GS科目「2F エクササイズ&スポーツ 実技」及びGS科目「3F スポーツ科学」から計2単位

情報機器の操作に関する科目…GS科目「5C 情報の科学」（1単位）

詳細については「15. 教育職員免許状」を参照してください。

- ② 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

地 域 創 造 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	30単位以上
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※	3単位以上		
基礎科目				
	初習言語科目	1言語8単位		
専門教育科目	学域GS科目	2科目2単位		
	学域GS言語科目	2科目2単位		
	専門基礎科目	4単位		
	専門科目	68単位(学類コア科目16単位を含む)		
	自由履修科目(注)	10単位以上		
卒業に必要な単位数		124単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

注. 専門教育科目における自由履修科目は、学域GS科目、専門基礎科目、専門科目の最低修得要件を超えて修得した科目を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

- ① 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目(日本語)を参照してください。

国 際 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通 教育 科目	導 入 科 目	38単位 以 上	大学・社会生活論 1単位	30単位 以 上
			初学者ゼミ I 1単位	
			データサイエンス基礎 1単位	
			地域概論 1単位	
	GS科目(5群)		各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初 学者ゼミII)は必修	
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位	
	自由履修科目 ※		3単位以上	
	基 礎 科 目			
	初習言語科目		1言語8単位	
専 門 教 育 科 目	学域GS科目	86単位 以 上 (注2)	2単位	
	学域GS言語科目		2科目2単位以上	
	専門基礎科目		学類共通科目20単位以上(注1)	
	専 門 科 目		卒業論文(6単位), 研究演習(ABから4単位以上)を含む	
卒業に必要な単位数			124単位以上	

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

注1. 「国際学入門」「国際学入門E」から1単位必修、「日本文化」「日本文化E」から1単位必修を含む。
(それぞれ2単位修得することを強く勧めます。)

注2. 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した科目)を、米英コースにあつては6単位以上、他のコースにあつては4単位以上修得すること。

(2) 共通教育科目の履修について

① 言語科目

(ア) 初習言語については、国際社会コースは、どの言語でもよいですが、第2志望のコースが薦める言語を学んでおく方がよいでしょう。日本・日本語教育コースは、どの言語でもよいです。アジアコースは、どの言語でもよいですが、中国・台湾・朝鮮を研究しようとする者は、中国語・朝鮮語のいずれかを薦めます。米英コースは、どの言語でもよいです。ヨーロッパコースは、ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語のいずれかを薦めます。

(イ) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目(日本語)を参照してください。また、英語のみで入学した学生には、別途指導します。

② 教職課程

教職課程を履修する人は、本履修案内「教育職員免許状」の項目や『国際学類ハンドブック』及び『教育職員免許状ハンドブック』の指示に従ってください。

数 物 科 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件			
共通教育科目	導入科目	44単位以上	大学・社会生活論	1単位	30単位以上
			初学者ゼミⅠ	1単位	
			データサイエンス基礎	1単位	
			地域概論	1単位	
	GS科目(5群)		各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修		
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※		3単位以上		
基礎科目	14単位以上				
初習言語科目					
専門教育科目	自由履修枠	2単位以下	共通教育科目又は専門教育科目から自由に選択		
	学域GS科目	78単位以上	2科目2単位		
	学域GS言語科目		2科目2単位		
	専門基礎科目				
	専門科目				
卒業に必要な単位数		124単位以上			

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

* 自由履修枠の説明については9ページ参照。

理工学域規程別表第2（抜粋）

学 類	授業科目	学 年	毎週授業時間数				区 分	単 位 数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
数 物 科 学 類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、14単位以上を修得すること。ただし、物理学コース及び計算科学コース計算実験プログラムにおいては、物理学実験を修得することが必要である。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				選択	1	
	化学ⅠB	1		2			選択	1	
	地学ⅠA	1	2				選択	1	
	地学ⅠB	1		2			選択	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		必修	1	
	微分積分学ⅡB	1				2	必修	1	

数 物 科 学 類	線形代数学Ⅱ A	1		2		必修	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、14単位以上を修得すること。ただし、物理学コース及び計算科学コース計算実験プログラムにおいては、物理学実験を修得することが必要である。
	線形代数学Ⅱ B	1			2	必修	1	
	物理学Ⅱ A	1		2		必修	1	
	物理学Ⅱ B	1			2	必修	1	
	化学Ⅱ A	1		2		選択	1	
	化学Ⅱ B	1			2	選択	1	
	地学Ⅱ A	1		2		選択	1	
	地学Ⅱ B	1			2	選択	1	
	物理学実験	2	6			選択	2	
	化学実験	1			6	選択	2	

(2) 共通教育科目の履修について

・ 課題研究の着手

3年後期末までに、共通教育科目に関し、卒業に必要な修得すべき単位数44単位以上のうち、数学コース及び計算科学コース計算数理プログラムにおいては40単位以上、物理学コース及び計算科学コース計算実験プログラムにおいては42単位以上を修得していなければ課題研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

数物科学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。また、理科の教育職員免許状を取得するためには、以下の共通教育科目の履修が必要です。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応して開設されている共通教育科目及び単位数		理科の教育職員免許状取得のための要件
	授業科目	単位数	
物理学	◎物理学Ⅰ A	1	2科目2単位以上
	◎物理学Ⅰ B	1	
	◎物理学Ⅱ A	1	
	◎物理学Ⅱ B	1	
化学実験（コンピュータ活用を含む）	化学実験	2	※
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	生物学実験	2	※
地学実験（コンピュータ活用を含む）	地学実験	2	※

注1 ◎印の科目は卒業に必要な必修科目のため、必ず修得しなければなりません。

注2 中学校1種免許状（理科）を取得する場合は、※印の化学実験、生物学実験及び地学実験の3科目全てを修得しなければなりません。高等学校1種免許状（理科）を取得する場合は、※印の化学実験、生物学実験、地学実験及び専門科目の物理実験Ⅰの4科目から、4単位以上を修得しなければなりません。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

物 質 化 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件				
共通教育科目	導入科目	46単位以上	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
			初学者ゼミⅠ	1単位		
			データサイエンス基礎	1単位		
			地域概論	1単位		
	GS科目(5群)		各群から3単位	計15単位		※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修
			TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位			
			3単位以上			
GS言語科目	16単位以上					
自由履修科目 ※	4単位以下					
基礎科目	共通教育科目又は専門教育科目から自由に選択					
専門教育科目	初習言語科目	83単位以上	学域GS科目	2科目2単位		
	自由履修枠		学域GS言語科目	2科目2単位		
	専門基礎科目					
	専門科目					
卒業に必要な単位数		133単位以上				

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

* 自由履修枠の説明については9ページ参照。

理工学域規程別表第2（抜粋）

学 類	授業科目	学 年	毎週授業時間数				区 分	単 位 数	修得要件
			前 期		後 期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
物 質 化 学 類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択必修から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				必修	1	
	化学ⅠB	1		2			必修	1	
	地学ⅠA	1	2				選択	1	
	地学ⅠB	1		2			選択	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		選択必修	1	
微分積分学ⅡB	1				2	選択必修	1		

物質化学類	線形代数学ⅡA	1		2		選択必修	1	必修のすべてと、選択必修から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	線形代数学ⅡB	1			2	選択必修	1	
	物理学ⅡA	1		2		必修	1	
	物理学ⅡB	1			2	必修	1	
	化学ⅡA	1		2		必修	1	
	化学ⅡB	1			2	必修	1	
	地学ⅡA	1		2		選択	1	
	地学ⅡB	1			2	選択	1	
	物理学実験	2	6			選択必修	2	
	化学実験	1			6	必修	2	

(2) 共通教育科目の履修について

① 必修（化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、物理学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、化学実験、線形代数学ⅠA、ⅠB、微分積分学ⅠA、ⅠB）のすべてと、選択必修（線形代数学ⅡA、ⅡB、微分積分学ⅡA、ⅡB、物理学実験）2単位以上を含む16単位を履修すること。

② 課題研究の着手

3年後期末までに、共通教育科目に関し、卒業に必要な修得すべき単位数46単位以上を修得していなければ課題研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

物質化学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。また、理科の教育職員免許状を取得するためには、以下の共通教育科目の履修が必要です。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応して開設されている共通教育科目及び単位数		理科の教育職員免許状取得のための要件
	授業科目	単位数	
化学	◎化学ⅠA	1	2科目2単位以上
	◎化学ⅠB	1	
	◎化学ⅡA	1	
	◎化学ⅡB	1	
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	物理学実験	2	※
化学実験（コンピュータ活用を含む）	◎化学実験	2	※
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	生物学実験	2	※
地学実験（コンピュータ活用を含む）	地学実験	2	※

注1 ◎印の科目は卒業に必要な必修科目のため、必ず修得しなければなりません。

注2 中学校1種免許状（理科）を取得する場合は、※印の物理学実験、生物学実験及び地学実験の3科目全てを修得しなければなりません。高等学校1種免許状（理科）を取得する場合は、※印の物理学実験、化学実験、生物学実験及び地学実験の4科目から、2科目4単位以上を修得しなければなりません。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

機 械 工 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件				
共通教育科目	導入科目	46単位以上	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
			初学者ゼミⅠ	1単位		
			データサイエンス基礎	1単位		
			地域概論	1単位		
	GS科目(5群)		各群から3単位	計15単位		※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位			
	自由履修科目 ※		3単位以上			
基礎科目	16単位以上					
初習言語科目						
専門教育科目	学域GS科目	78単位以上	2科目2単位			
	学域GS言語科目		2科目2単位			
	専門基礎科目					
	専門科目					
卒業に必要な単位数		124単位以上				

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

理工学域規程別表第2 (抜粋)

学類	授業科目	学年	毎週授業時間数				区分	単位数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
機 械 工 学 類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				選択	1	
	化学ⅠB	1		2			選択	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		必修	1	
	微分積分学ⅡB	1				2	必修	1	
	線形代数学ⅡA	1			2		必修	1	
	線形代数学ⅡB	1				2	必修	1	
	物理学ⅡA	1			2		必修	1	
	物理学ⅡB	1				2	必修	1	
化学ⅡA	1			2		選択	1		

機械工学類	化学ⅡB	1			2	選択	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	物理学実験	2	6			必修	2	
	化学実験	2	6			選択	2	

(2) 共通教育科目の履修について

・卒業研究の着手

3年次後期末までに、共通教育科目に関し、卒業に必要な修得すべき単位数46単位以上を修得していなければ卒業研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

機械工学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

フ ロ ン テ ィ ア 工 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	46単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	30単位以上
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位	
自由履修科目 ※		3単位以上		
基礎科目		16単位以上		
初習言語科目				
専門教育科目	学域GS科目	78単位以上	2科目2単位	
	学域GS言語科目		2科目2単位	
	専門基礎科目			
	専門科目			
卒業に必要な単位数		124単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。
卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

理工学域規程別表第2（抜粋）

学類	授業科目	学年	毎週授業時間数				区分	単位数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
フ ロ ン テ ィ ア 工 学 類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択から4単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				選択	1	
	化学ⅠB	1		2			選択	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		必修	1	
	微分積分学ⅡB	1				2	必修	1	
	線形代数学ⅡA	1			2		必修	1	
	線形代数学ⅡB	1				2	必修	1	
	物理学ⅡA	1			2		必修	1	
	物理学ⅡB	1				2	必修	1	
	化学ⅡA	1			2		選択	1	
	化学ⅡB	1				2	選択	1	
	物理学実験	2		6			選択	2	
	化学実験	2		6			選択	2	

(2) 共通教育科目の履修について

・卒業研究の着手

3年次後期末までに、共通教育科目に関し、卒業に必要な修得すべき単位数46単位以上を修得していなければ卒業研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

フロンティア工学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

電 子 情 報 通 信 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件				
共通教育科目	導入科目	46単位以上	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
			初学者ゼミⅠ	1単位		
			データサイエンス基礎	1単位		
			地域概論	1単位		
	GS科目(5群)		各群から3単位	計15単位		※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修
			TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位			
			3単位以上			
GS言語科目	16単位以上					
自由履修科目 ※	3単位以上					
基礎科目	16単位以上					
初習言語科目						
専門教育科目	学域GS科目	78単位以上	2科目2単位			
	学域GS言語科目		2科目2単位			
	専門基礎科目					
	専門科目					
卒業に必要な単位数		124単位以上				

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)と指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、別表第7のとおりとする。

理工学域規程別表第2 (抜粋)

学類	授業科目	学年	毎週授業時間数				区分	単位数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
電子情報通信学類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				選択	1	
	化学ⅠB	1		2			選択	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		必修	1	
	微分積分学ⅡB	1				2	必修	1	
	線形代数学ⅡA	1			2		必修	1	
	線形代数学ⅡB	1				2	必修	1	
	物理学ⅡA	1			2		必修	1	
物理学ⅡB	1				2	必修	1		

電子情報通信学類	化学ⅡA	1		2	選択	1	必修のすべてと、選択から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	化学ⅡB	1			2	1	
	物理学実験	2	6		必修	2	
	化学実験	2	6		選択	2	

(2) 共通教育科目の履修について

・卒業研究の着手

3年次後期までに、共通教育に関し、卒業に必要な修得すべき単位数46単位以上を修得していなければ卒業研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

電子情報通信学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

地球社会基盤学類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件	
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位
		初学者ゼミⅠ	1単位
		データサイエンス基礎	1単位
		地域概論	1単位
	GS科目(5群)	46単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位
自由履修科目 ※		3単位以上	
基礎科目		16単位以上	
初習言語科目			
専門教育科目	学域GS科目	86単位以上	2科目2単位
	学域GS言語科目		2科目2単位
	専門基礎科目		
	専門科目		
卒業に必要な単位数		132単位以上	

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

理工学域規程別表第2（抜粋）

学類	授業科目	学年	毎週授業時間数				区分	単位数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
地球 社会 基盤 学類	微分積分学ⅠA	1	2				必修	1	必修のすべてと、選択必修から2単位以上を含む、16単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			必修	1	
	化学ⅠA	1	2				必修	1	
	化学ⅠB	1		2			必修	1	
	地学ⅠA	1	2				必修	1	
	地学ⅠB	1		2			必修	1	
	微分積分学ⅡA	1			2		選択	1	
	微分積分学ⅡB	1				2	選択	1	
	線形代数学ⅡA	1			2		選択	1	
	線形代数学ⅡB	1				2	選択	1	
	物理学ⅡA	1			2		選択	1	
	物理学ⅡB	1				2	選択	1	
	化学ⅡA	1			2		選択	1	
	化学ⅡB	1				2	選択	1	
	地学ⅡA	1			2		選択	1	
	地学ⅡB	1				2	選択	1	
物理学実験	1				6	選択必修	2		
化学実験	1				6	選択必修	2		

(2) 共通教育科目の履修について

① 導入科目について

初年度は学類指定の「大学・社会生活論」,「初学者ゼミⅠ」, GS科目「3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」, 「データサイエンス基礎」, 「地域概論」を必ず修得してください。

② 課題研究の着手

3年後期末までに、共通教育科目に関し、卒業に必要な修得すべき単位数46単位以上を修得していなければ課題研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので、計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

地球社会基盤学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については、『理工学域履修案内』に記載されていますので、ここでは省略しますが、共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。また、理科の教育職員免許状を取得するためには、以下の共通教育科目の履修が必要です。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応して開設されている 共通教育科目及び単位数		理科の教育職員免許状取得のための要件
	授業科目	単位数	
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	○物理学実験	2	
化学実験（コンピュータ活用を含む）	○化学実験	2	
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	生物学実験	2	
地学実験（コンピュータ活用を含む）	地学実験	2	※

注1 ○印の科目は卒業に必要な選択必修科目のため、1科目以上必ず修得しなければなりません。

注2 中学校1種免許状（理科）を取得する場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験および地学実験のすべての科目を修得しなければなりません。ただし、※印の科目は配属された各コースの専門実験科目を以て対応する実験科目に代えることができます。高等学校1種免許状（理科）を取得する場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験および地学実験から1科目2単位以上修得しなければなりません。

(4) 外国人留学生の言語科目については、GS言語科目（日本語）を参照してください。

生 命 理 工 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件	
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位
		初学者ゼミⅠ	1単位
		データサイエンス基礎	1単位
		地域概論	1単位
	GS科目(5群)	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位、EAPコース4単位
	自由履修科目 ※		3単位以上
専門教育科目	基礎科目		8単位以上
	初習言語科目		
	学域GS科目	86単位以上	2科目2単位
	学域GS言語科目		2科目2単位
専門基礎科目			
専門科目			
卒業に必要な単位数		124単位以上	

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

注. 共通教育科目における基礎科目の履修方法は、理工学域規程別表第2のとおりとする。

卒業に必要な単位数等及び単位修得に関する要件は、理工学域規程別表第7のとおりとする。

理工学域規程別表第2

学類	授業科目	学年	毎週授業時間数				区分	単位数	修得要件
			前期		後期				
			第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター			
生命理工学類	微分積分学ⅠA	1	2				選択必修	1	選択必修から8単位以上を修得すること。
	微分積分学ⅠB	1		2			選択必修	1	
	線形代数学ⅠA	1	2				選択必修	1	
	線形代数学ⅠB	1		2			選択必修	1	
	物理学ⅠA	1	2				選択必修	1	
	物理学ⅠB	1		2			選択必修	1	
	化学ⅠA	1	2				選択必修	1	
	化学ⅠB	1		2			選択必修	1	
	化学ⅡA	1			2		選択必修	1	
	化学ⅡB	1				2	選択必修	1	

(2) 共通教育科目の履修について

① 導入科目について

初年度は生命理工学類指定の「大学・社会生活論」, 「初学者ゼミⅠ」, GS科目「3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」, 「データサイエンス基礎」, 「地域概論」を必ず修得してください。また, 本学類生はGS科目「2E 細胞・分子生物学」を履修する事が望まれます。

② 課題研究の着手

3年次後期末までに, 共通教育科目に関し, 卒業に必要な修得すべき単位数38単位以上を修得していなければ課題研究に着手できません。高学年になるほど共通教育科目を履修する時間帯が制限されますので, 計画的に単位を修得してください。

(3) 教育職員免許状について

教育職員免許状の取得を希望する学生は, 教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

生命理工学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法については, 『理工学域履修案内』に記載されていますので, ここでは省略しますが, 共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。また, 理科の教育職員免許状を取得するためには, 以下の共通教育科目の履修が必要です。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応して開設されている共通教育科目及び単位数		理科の教育職員免許状取得のための要件
	授業科目	単位数	
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	物理学実験	2	
化学実験(コンピュータ活用を含む)	化学実験	2	
地学実験(コンピュータ活用を含む)	地学実験	2	

注. 中学校1種免許状(理科)を取得する場合は, 物理学実験, 化学実験, および地学実験のすべての科目を修得しなければなりません。

(4) 外国人留学生の言語科目については, GS言語科目(日本語)を参照してください。

医	学	類
---	---	---

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	各群から3単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	計15単位	30単位以上
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※1	3単位以上		
基礎科目	14単位			
初習言語科目				
専門教育科目	学域GS科目	1科目2単位	医薬保健学基礎	
	学域GS言語科目	2科目4単位	医学英語	
	学類専門基礎科目	医学入門	0.5単位	
	学類専門科目 ※2	早期医療体験	1.2単位	
卒業に必要な単位数		271単位以上		

※1 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

※2 学類専門科目は基礎医学、臨床医学基礎、臨床実習、総括講義、医学研究特設プログラムを含む。

(2) 共通教育科目の履修について

① 導入科目について

医学類指定の「大学・社会生活論」1単位、「初学者ゼミⅠ」1単位、「データサイエンス基礎」1単位、「地域概論」1単位を必ず修得してください。

② GS科目(5群)について

GS科目「3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」1単位は医学類指定のものが宝町キャンパスで開講されますので、必ず修得してください。

③ 基礎科目は、数学(微分積分学ⅠA, ⅠB, 線形代数学ⅠA, ⅠB, 統計数学A, B)を6単位、物理学(物理学ⅠA, ⅠB, 物理学ⅡA, ⅡB)を4単位、化学(化学ⅠA, ⅠB, 化学ⅡA, ⅡB)を4単位の計14単位以上を修得してください。

④ GS言語科目は全て英語になります。

英語以外の言語科目は、自由履修科目とします。

外国人留学生の言語科目については、GS言語科目(日本語)を参照してください。

⑤ 共通教育科目の履修期間について

医学類専門教育科目は、医学研究特設プログラムを除いて全科目が必修であるため、共通教育科目の44単位は、1年次でほぼ修得し終えることが強く望まれます。

2年次で共通教育科目を履修できるのは、水曜日の午前のみです。

2年次終了までに、共通教育科目は44単位を修得しなければ、3年次の講義・実習を履修することができません。

詳細は、入学時に配付の「医学類履修・学生生活の手引」の「医薬保健学域医学類進級内規」で確認してください。

薬学類・創薬科学類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目(5群)	35単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	30単位以上
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※	3単位以上		
基礎科目	微分積分学ⅠA, ⅠB(2単位), 統計数学A, B(2単位), 化学実験(1単位)合計5単位			
初習言語科目				
専門教育科目	学域GS科目	2科目2単位		
	学域GS言語科目	2科目2単位		
	専門基礎科目	4単位		
	専門科目	薬学類	146.5単位以上	
創薬科学類		92.5単位以上		
卒業に必要な単位数	薬学類	189.5単位以上		
	創薬科学類	135.5単位以上		

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

次の事項に留意して履修してください。

- ① 導入科目について、薬学類・創薬科学類指定の科目を必ず修得してください。
- ② (1) 単位修得要件をよく理解した上で、必要な単位をもれなく修得してください。不明な点がある場合にはアドバイス教員に相談してください。なお、外国人留学生の言語科目については、GS言語科目(日本語)を参照してください。
- ③ 共通教育科目の35単位は、GS科目「3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」を除き2年次Q1までにはほぼ修得し終えることが望めます。2年次Q2後半は海外渡航を推奨し、Q3以降は、専門教育科目の履修が主となりますので、共通教育科目を履修できる時間は限られてきます。
- ④ その他共通教育科目の履修については、薬学類・創薬科学類シラバスにも記載されていますのでよく読んで理解してください。
- ⑤ GS科目「1F 化学の世界」及び「2E 細胞・分子生物学」の履修を強く推奨し、「5B 統計学から未来を見る」の履修を推奨します。

保 健 学 類

(1) 単位修得要件

共通教育科目の開講科目等は、金沢大学共通教育科目に関する規程の定めるところによる。

区 分		修得すべき単位数及び条件	
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位
		初学者ゼミⅠ	1単位
		情報処理基礎	1単位
		地域概論	1単位
	GS科目(5群)	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	30単位以上
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位	
自由履修科目※	3単位以上		
基礎科目	看護, 理学, 作業 2単位以上 放射, 検査 8単位以上		
初習言語科目			
専門教育科目	学域GS科目	2科目2単位以上	
	学域GS言語科目	2科目2単位	
	専門基礎科目	看護 11単位 放射 5単位 検査 17単位 理学, 作業 12単位	
	専門科目	看護, 作業 82単位以上 放射 88単位以上 検査 69単位以上 理学 86単位以上	
卒業に必要な単位数		128~135単位以上	

看護(看護学専攻), 放射(放射線技術科学専攻), 検査(検査技術科学専攻), 理学(理学療法学専攻), 作業(作業療法学専攻)

※ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

(2) 共通教育科目の履修について

① 導入科目について

保健学類指定の「大学・社会生活論」及び「初学者ゼミⅠ」, 「情報処理基礎」, 「地域概論」を必ず修得してください。

② GS科目について

単位修得要件に従って、各群から3単位計15単位を修得してください。

③ GS言語科目について

単位修得要件に従って、TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位を修得してください。

④ 養護教諭二種免許状について(看護学専攻)

保健師免許を有する者が、養護教諭二種免許状を申請する場合、教育職員免許法及び同施行規則に定められた単位を修得しておかなければなりません。共通教育科目については「15. 教育職員免許状」を参照してください。

14. 基幹教育特設プログラム

(2016年度以降入学者対象)

(1) 「基幹教育特設プログラム」とは

「基幹教育特設プログラム」は、金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) に基づいて「金沢大学ブランド人材」を育成するプログラムです。目的意識を持って共通教育科目及び専門教育科目を履修することにより、学域・学類の目指す人材養成像よりも的を絞ったテーマについて学修することができます。

(2) 「基幹教育特設プログラム」の概要

「基幹教育特設プログラム」として「総合地域論」のプログラムを用意しています。

2016年度以降の入学者が対象となり、修了に必要な単位を修得又は修得見込みの上で申請すれば、卒業資格とは別に修了認定証が授与されます。「修了認定証」は、自ら学修成果を確認できるとともに、就職活動に活用することもできます。

(3) プログラムの修了要件と卒業に必要な単位

プログラムに含まれる授業科目の単位は、プログラムの修了要件の充足とともに、卒業のための単位修得要件の充足にも用いることができます。

(4) 「修了認定証」交付の申請

7月・12月下旬に申請方法・期間を掲示等でお知らせしますので、「基幹教育特設プログラム修了認定申請書」を、基幹教育学務係に提出してください。

(5) プログラム「総合地域論」の概要・学修目標・修了要件等

【概要】

「総合地域論」は、金沢大学<グローバル>スタンダードに基づいたプログラムであり、「地域の感性」を育成し、「知識と社会」を結びつけ、自らの力で地域課題を見いだし、地域の未来を切り開くことができる行動力ある人材の育成を目指しています。

【学修目標】

基幹教育特設プログラム「総合地域論」を受講する学生の学修目標は、次のとおりです。

- ・高い関心と意欲を持って、地域・社会・生活について学べること
- ・自己の使命を感じ、地域での体験に主体的に取り組めること
- ・自分の価値観を相対化し、地域という立場から思考・判断できること
- ・大学での学修を活かして地域課題を発見し、その課題解決を通じて地域に貢献できること
- ・すなわち、金沢大学<グローバル>スタンダードの精神を持って、地域の課題に取り組めること

【修了要件】

「総合地域論」は、共通教育科目と学域・学類科目の専門教育科目から構成されており、修了要件が定められています。

- ・A群は大学での学修と地域との関係を理解する必修の導入科目「地域概論」を修得
- ・B群は地域とのつながりを理解する選択必修の共通教育GS科目から2単位以上を修得
- ・C群は共通教育領域から広く地域を学ぶ地域志向科目で、自由履修科目を活用した選択必修科目から3単位以上を修得
- ・D群は学域学類領域から専門的に地域を学ぶ地域志向科目で、学域GS科目などの科目で構成され、3単位以上を修得

表中のA, B, C, D群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計12単位以上を修得してください。

「総合地域論」修了要件

区分		科目名	単位数	修了要件内訳	科目区分	備考
必修	A群	地域概論	1	1単位	導入科目	
選択	B群	4 A 金沢・能登と世界の地域文化	1	2単位以上	GS科目	
		4 E 国際社会とボランティア	1			
		4 F グローバル社会と地域の課題	1			
		5 D 環境学とESD	1			
		5 E 生活と社会保障	1			
		5 F 人権・ジェンダー論	1			
選択	C群	地域「超」体験プログラム	1	3単位以上	自由履修科目	人間力強化プログラム
		地元学A（地域資源調査）	1			
		地元学B（聞き書き）	1			
		ゼミ／角間の里山づくり 春編	1			
		ゼミ／角間の里山づくり 秋編	1			
		金沢の歴史と文化	2			シティカレッジ
		石川県の行政	2			シティカレッジ
		石川県の市町	2			シティカレッジ
世界農業遺産「能登の里山里海」とSDGsを考察するスタディ・ツアー	1	シティカレッジ				
選択	D群	データで考える日本の未来（データサイエンス）	1	3単位以上	専門教育科目	学域GS科目（GS科目発展系科目群）
		地域考古学A1	1			人文学類
		地域考古学A2	1			
		地理学概論B	2			
		地誌学	2			
		農村地理学	2			
		都市地理学	2			学校教育学類
		環境と教育	2			
		生活科専門研究	2			
		地域創造学I	1			
		自然環境と社会	2			
		地域学原論	2			地域創造学類
		地域文化論I	1			
		地域地理学	2			
		農村地理学	2			
		機械工作実習	1			
		エネルギー変換工学A	1			
		エネルギー変換工学B	1			機械工学類
		エネルギー・環境工学A	1			
		エネルギー・環境工学B	1			
		企業開放講義	1			
		医薬保健学基礎I（共通）	1			
		医薬保健学基礎II（共通）	1			
		保健医療福祉概論（看護）	1			自専攻の学生のみ
		公衆衛生学（45207, 放射）	1			自専攻の学生のみ
		公衆衛生学（23304, 検査）	2			自専攻の学生のみ
障害者環境論（理学）	1	自専攻の学生のみ				
地域リハビリテーション論（理学）	1	自専攻の学生のみ				
福祉行政経営演習（理学）	2	自専攻の学生のみ				

選択	D群	理学療法管理論（理学）	1	専門教育科目	保健学類	自専攻の学生のみ
		社会貢献論演習（理学）	2			自専攻の学生のみ
		医療福祉オペレーションズリサーチ演習（理学）	2			自専攻の学生のみ
		地域作業療法学（作業）	1			自専攻の学生のみ
		社会関連活動学（理学・作業）	2			自専攻の学生のみ

15. 教育職員免許状

教育職員免許状取得希望者は、教育職員免許法および同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。

共通教育科目で、所属や免許種別等に関係なく修得しなければならないものは、「日本国憲法概説2単位」、「保健体育関連科目から2単位」、「外国語コミュニケーション関連科目から2単位」、「データサイエンス基礎（保健学類は情報処理基礎）1単位」、「情報の科学1単位」の計8単位です。授業科目の詳細は、次の表を参照してください。

なお、放送大学で修得した「グローバル化時代の日本国憲法」の単位も、教員免許取得に必要な単位とすることができます。詳細は基幹教育学務係で確認してください。

専門教育科目、教職関係科目で単位修得が必要な科目もありますが、要件等が所属や免許種別等によって異なるので、所属学類からの印刷物を熟読し、その指示に従ってください。

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数（令和2（2020）年度入学者から適用）

教育職員免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応して開設されている共通教育科目及び単位数		備 考
科 目	単位数	授業科目名	単位数	
日 本 国 憲 法	2	日本国憲法概説	2	必修
体 育	2	エクササイズ&スポーツ 実技	1	「エクササイズ&スポーツ実技」から1単位以上含む2単位以上選択必修。 なお、「エクササイズ&スポーツ実技」0.5単位の科目を2科目以上履修し、1単位以上修得したとみなすことも可。
		スポーツ科学/メンタルトレーニングⅠ	1	
		スポーツ科学/メンタルトレーニングⅡ	1	
		スポーツ科学/スポーツの歴史（日本）	1	
		スポーツ科学/スポーツの歴史（西洋）	1	
		スポーツ科学/身体運動心理学Ⅰ	1	
		スポーツ科学/身体運動心理学Ⅱ	1	
		スポーツ科学/健康教育入門Ⅰ	1	
		スポーツ科学/健康教育入門Ⅱ	1	
		スポーツ科学/スポーツ健康科学入門Ⅰ	1	
		スポーツ科学/スポーツ健康科学入門Ⅱ	1	
		スポーツ科学/スポーツ生理学入門Ⅰ	1	
		スポーツ科学/スポーツ生理学入門Ⅱ	1	
		スポーツ科学/身体運動の神経制御Ⅰ	1	
スポーツ科学/身体運動の神経制御Ⅱ	1			
外国語コミュニケーション	2	TOEIC準備Ⅰ	1	A群
		TOEIC準備Ⅱ	1	
		TOEIC準備Ⅲ	1	
		TOEIC準備Ⅳ	1	
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅰ	1	B群
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅱ	1	
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅲ	1	
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅳ	1	

外国語コミュニケーション	2	ドイツ語A1-1	1	B群 次のいずれかの組み合わせとする。 ・A群から1単位とB群から1単位以上の2単位以上選択必修選択 ・B群から2単位以上選択必修
		ドイツ語A1-2	1	
		ドイツ語A2-1	1	
		ドイツ語A2-2	1	
		ドイツ語A3-1	1	
		ドイツ語A3-2	1	
		ドイツ語A4-1	1	
		ドイツ語A4-2	1	
		ドイツ語B-1	1	
		ドイツ語B-2	1	
		ドイツ語C-1	1	
		ドイツ語C-2	1	
		フランス語A1-1	1	
		フランス語A1-2	1	
		フランス語A2-1	1	
		フランス語A2-2	1	
		フランス語A3-1	1	
		フランス語A3-2	1	
		フランス語A4-1	1	
		フランス語A4-2	1	
		フランス語B-1	1	
		フランス語B-2	1	
		フランス語C-1	1	
		フランス語C-2	1	
		ロシア語A1-1	1	
		ロシア語A1-2	1	
		ロシア語A2-1	1	
		ロシア語A2-2	1	
		ロシア語A3-1	1	
		ロシア語A3-2	1	
		ロシア語A4-1	1	
		ロシア語A4-2	1	
		ロシア語B-1	1	
		ロシア語B-2	1	
		ロシア語C-1	1	
		ロシア語C-2	1	
		中国語A1-1	1	
		中国語A1-2	1	
		中国語A2-1	1	
		中国語A2-2	1	
		中国語A3-1	1	
		中国語A3-2	1	
中国語A4-1	1			
中国語A4-2	1			
中国語B-1	1			
中国語B-2	1			
中国語C-1	1			
中国語C-2	1			
朝鮮語A1-1	1			
朝鮮語A1-2	1			

		朝鮮語 A 2-1	1	B群
		朝鮮語 A 2-2	1	
		朝鮮語 A 3-1	1	
		朝鮮語 A 3-2	1	
		朝鮮語 A 4-1	1	
		朝鮮語 A 4-2	1	
		朝鮮語 B-1	1	
		朝鮮語 B-2	1	
		朝鮮語 C-1	1	
		朝鮮語 C-2	1	
情報機器の操作	2	データサイエンス基礎*	1	必修 ※保健学類は、「データサイエンス基礎」の代わりに「情報処理基礎」を必修とする。
		情報の科学	1	

16. 社会教育主事および学校図書館司書教諭資格

社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。

学校図書館司書教諭とは、小学校・中学校・高等学校の図書館で専門的職務に従事する教員のことをいい、すべての小中高の図書館に司書教諭の配置が義務づけられています。

現在金沢大学では、夏季休暇期間中に、先端科学・社会共創推進機構で、これらの資格を取得するための講習会が開催されています。説明会等については、掲示等で明示しますので確認してください。

受講資格はともに、3年生以上で、62単位以上修得した者のみが対象となります。ただし、3年生以上であっても、大学在籍年数が2年未満の者は該当しません。詳しくは、先端科学・社会共創推進機構のWebサイト及び『学生便覧』を参照してください。

先端科学・社会共創推進機構のWebサイト <http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/>

17. 成績評価（単位認定）

成績評価は、試験、出席状況、小テスト、レポート提出などにより判定されます。各授業科目がどのような成績評価をおこなうかは、シラバスに明記されています。

(1) 試験の注意事項

成績評価の方法で最も多いのが試験です。試験を受ける際は、各担当教員の指示に従うほか、以下の事項に注意してください。

- ・ **学生証を必ず携帯**してください。受験に際して学生証の提示を求められることがあります。
- ・ 試験開始後30分間は退室を認めません。また、20分以上の遅刻者は受験を認めません。
- ・ 出席日数が授業時間数の3分の2に達していない場合は、受験資格が認められません。
- ・ **不正行為があった場合は、懲戒処分が科されたうえ、当該学期の全履修科目の単位がすべて無効となります。**（あらかじめ許可された場合を除き、携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー、電卓等の電子機器類を所持することは不正行為となりますので、注意してください。また、レポートにおける剽窃・盗用も上記の不正行為に該当します。特にインターネットを利用してレポートを書く場合には、出所を明記せずにその記事などをコピーして自分の文章として提出すると、剽窃・盗用と見なされることがあるので、注意してください。）
- ・ 不正行為と紛らわしい行為があった場合には、当該試験を途中で中断させられて事情聴取を受けることがあります。これによる不利益は自己の責任であり、救済措置は講じられません。

- ・試験答案が返却された場合、後日それを回収する場合がありますので、答案を消して書き直すことは絶対にしないでください。元の答案を消した場合には、答案改竄という不正行為と見なされる場合があります。
- ・病気や突発事故などの理由により期末試験が受けられない場合、すみやかに基幹教育学務係に申し出てください。申し出の内容により、追試験などの救済措置を受けられる場合があります。申し出の際には、診断書や遅延証明書などの第三者が発行した証明書が必要です。

ただし、必ず救済措置を受けられるというものではありません。健康管理に十分気を付け、いつもより早めに試験室に到着するようにしてください。

- 申請期間 試験当日、又はその翌日に申し出てください。
やむを得ない場合に限り、標準学年暦の試験期間の間も受け付けます（試験が試験期間最終日の場合はその翌日まで）。
- 救済措置が認められる場合がある事項

理 由	必要な証明書類
病気、けが	医師が作成した診断書（欠席がいつまで必要かが明記されていること。）
電車、バスの遅延	交通機関が発行する遅延証明書
二親等以内の親族の葬儀出席	会葬礼状等（移動に要した日を付記すること。）
災害	被災証明書

- その他の注意
サークル活動（大会参加、合宿等）、自家用車・バイク・タクシー等による通学時の交通渋滞、自動車の故障、アルバイト、自動車学校の修了試験、就職活動など個人的な都合によるものは認められません。また、教員からの指示の聞き漏らしや個人的な不注意は理由になりません。
中間試験などの試験もこれに準じますが、科目担当教員や基幹教育学務係に相談してください。

(2) 単位保留制度

- ① 学修未達成の者に対し、担当教員が当該学期の成績を「保留」と評価することがあります。これを「単位保留制度」といいます。「保留」と評価された場合には、授業担当教員が課題等を指示し、その達成度によって次のクォーター以降に再度成績評価がおこなわれます。
- ② 単位保留制度が適用される授業科目は以下のとおりです。それぞれに保留のルール等の詳細が異なりますので、それぞれの説明を熟読してください。
 - ・「大学・社会生活論」、「初学者ゼミⅠ」、「データサイエンス基礎（保健学類は「情報処理基礎」）」、「地域概論」（25ページ参照）
 - ・GS科目「3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」（30ページ参照）（2017年度以降のカリキュラム適用者）
 - ・TOEIC準備コース（35ページ～参照）
 - ・基礎科目（46ページ参照）

(3) 成績の通知

- ① 成績通知
成績の通知は、掲示等で指示する日時にWebで公開されます。アカンサスポータルから「学務情報サービス」→「履修・成績情報」→「成績参照」の順に進んでください。
- ② 成績通知上の評語
 - ・単位が認定される場合（合格）の成績は、通常S・A・B・Cの4段階の評語で評価されます。
 - ・単位が認定されない場合（不合格）の成績評語には、不可・保留・放棄があります。
 - ・一部の授業科目（導入科目など）では、上記とは別に合・否で成績評価をおこないます。

- ・入学前の既修得単位の認定や外部試験による単位認定、もしくは一部の海外短期留学をおこなう授業科目、および放送大学の授業科目などでは、**認定・不可**（既修得単位の認定や外部試験の単位認定には不可はない）という評語が使われます。ただし、外部試験であっても申請によりSで認定する場合があります。

③ 注意事項

- ・保留と評価された場合には、授業担当教員から課される課題等をおこなって、再度成績評価を受けますので、保留となった場合は必ず担当教員に連絡してその指示を受けてください。この場合は、**保留となった授業科目はその学期の開講科目ではありませんので、履修登録の必要はありません。**
- ・保留となった授業科目の再度の単位認定結果は、次の成績通知の際に知らされます。学期途中で成績が通知されることはありません。
- ・成績通知前に、教員に成績を尋ねてはいけません。

(4) 成績評価にかかる疑義申し出について

成績を見て、評価に不審な点がある場合は、該当の科目の担当教員に直接申し出てください。又は、基幹教育学務係が掲示する内容をよく読んで、指定された期間内に申請してください。

(5) GPA制度

本学では、GPA制度（グレード・ポイント・アベレージ制度）を導入しています。これは、**成績評価を数値化したGP（グレード・ポイント）の平均値（GPA）**を算出して、学生指導や履修登録上限の緩和・進路決定（早期卒業・飛び入学・研究室配属等）などに反映させる制度です。制度の詳細は、学類によって異なりますので、各学類のシラバスや履修の手引きなどを参照してください。

GPの数値とGPAの計算方法は以下のとおりです。

GP : S = 4点, A = 3点, B = 2点, C = 1点, 不可・保留・放棄 = 0点

GPA : (4 × Sの合計単位数 + 3 × Aの合計単位数 + 2 × Bの合計単位数 + 1 × Cの合計単位数) ÷ 履修したGPA対象科目の総単位数

なお、成績評価が合・否もしくは認定・不可で示される授業科目はGPAの対象になりません。このほかに、学類によってGPAの対象外となる授業科目が指定されていますので、各学類のシラバスや履修の手引きを参照してください。

18. 入学前の既修得単位の認定

本学入学前に大学・短大等で修得した単位は、所定の時期に審査を受けて認められた場合に限り、本学入学後の修得単位として認定されます。

この審査を受けたい者は、4月3日（金）までに基幹教育学務係に詳細を尋ねたうえ、4月10日（金）までに所定の申請書を所属学類の学務係に提出し、指示を受けてください。

19. 授業改善のための学生アンケート

クォーター末に「授業改善のための学生アンケート」を実施しています。詳細はアカンサスポータル等でお知らせします。

なお、「授業改善のための学生アンケート」の集計結果等は、国際基幹教育院のWebサイトに掲載されます。

20. 「いしかわシティカレッジ」の授業科目の履修

本学では、いしかわシティカレッジ事業に参加する他大学等との単位互換制度により、他大学等の授業科目を履修し修得した単位は、本学が定める条件下で卒業要件単位に算入することができます。（ただし、履

修途中の休学、退学、卒業および除籍の場合は単位認定されません。）

(1) 履修できる授業科目

Web版シラバス及び『シティカレッジ受講生募集ガイド』（基幹教育学務係およびエントランスホールに置いてある）のとおりです。

(2) いしかわシティカレッジ（しいのき迎賓館または石川四高記念文化交流館で開講）において履修する科目の単位数は、履修登録単位数の上限単位に含まれません。ただし、本学で履修する科目は、いしかわシティカレッジ科目であっても、上限単位に含まれますので、注意してください。

また、学年暦や授業開始終了時刻が本学と異なりますので、併せて注意してください。

(3) 履修する学期が本学における卒業学期の場合は、本制度の修得単位は卒業単位に算入できません。

(4) 履修登録について

授業は原則、いしかわシティカレッジの講義室で行われます。（一部各大学等で実施。）授業開始第1週目に、授業に出席し、担当教員の許可を得たら、下記のとおり、履修手続きを行います。ただし、本学で履修する科目は、通常の履修登録方法（15ページ参照）です。

本学の提供科目の場合

履修登録期間中にアカンサスポータルより履修登録、履修時間割表の確認と訂正を行います。

他大学の提供科目の場合

第1回目の授業で「シティカレッジ特別聴講学生出願票」を担当教員に提示して、履修の許可を願ひ出てください。担当教員が許可した場合、出願票の選考結果欄の「可」に○を付し、承認印を押印します。その後、次のとおり手続きしてください。

●シティカレッジ開講科目の場合…出願票を基幹教育学務係に提出してください。

●提供機関開講科目の場合………科目提供機関の事務局に出願票を提示してください。科目提供機関の事務局では出願票のコピーをとり、原本を返却します。返却された出願票を基幹教育学務係に提出してください。

シティカレッジ開講科目、提供機関開講科目のいずれの場合であっても、履修登録期間中にインターネットから履修登録、履修時間割表の確認と訂正を行います。

eラーニング授業の場合

eラーニング授業は、いしかわシティカレッジの学年暦における第1週もしくは第2週にガイダンスが開かれます。まずこれに出席して視聴方法等の説明を受けてから、履修登録期間中にインターネットから登録、履修時間割表の確認と訂正を行ってください。（ガイダンスが履修登録可能期間外の場合は基幹教育学務係に申し出てください。）

他大学提供のeラーニング授業の場合は、ガイダンス出席後に「シティカレッジ特別聴講学生出願票」を基幹教育学務係に提出してください。

ガイダンスに出席できなかった場合は、大学コンソーシアム石川事務局に行き説明を受け、指示に従って視聴のための手続きをしたうえで、履修登録期間中にアカンサスポータルより登録、履修時間割表の確認と訂正を行ってください。

(5) 成績について

他大学の提供科目の場合、成績は認定・不可となり、GPA対象除外科目です。

(6) 学都いしかわグローバルチャレンジプログラムについて

金沢大学には、大学コンソーシアム石川の「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」の認定を受けている学類がありますので、学類のハンドブック等で確認してください。

このプログラムは、地域の課題を実践的に学び地域課題解決力を意欲的に修得しようとするローカルチャレンジと、海外の課題を体験的に学び地域課題解決を国際的な視野から修得しようとするグローバルチャレンジから構成されています。これら2つのプログラムを修了すると、大学コンソーシアム石川から

「学都いしかわグローバル人材認定証」を受けることができます。このプログラムは、課題解決力、対人基礎力、対自己基礎力、国際力を高めることを目標としています。

21. 放送大学の授業科目の履修

本学では放送大学との単位互換協定により、本学学生が放送大学の特別聴講学生となり、指定した科目について修得した単位は、本学が定める条件下で卒業要件単位に算入することができます。

(1) 出願できる者

本学に在学の学生（前期は入学者を除く）

ただし、履修学期途中で休学、退学、卒業および除籍の場合は、同時に特別聴講学生の身分を失い、単位認定されません。

(2) 本制度による履修

放送大学の授業は、印刷教材（テキスト）と放送教材（DVDまたはCD）により行われます。8週目の放送教材の視聴が終わった段階で通信指導（レポート）を提出し合格した者は、15週分の視聴終了後に「放送大学石川学習センター」で単位認定試験を受験することになります。

特別聴講学生は、放送大学と本学から履修登録許可された科目について、基幹教育学務係でテレビ科目はDVDを、ラジオ科目はCDを借り、講義室等で視聴して学修することになります。放送教材の使用可能時間は、土曜日・日曜日および祝日を除く、9時から16時30分までです。

なお、放送大学石川学習センターに通学し、本学と同様の学修を行うことも可能です。（これを理由としての本学駐車許可証の申請は認めません。）放送大学石川学習センターでの再視聴・学修は、火曜日から日曜日の9時30分から17時45分まで利用でき、18時に閉館します。必ず事務室で説明を受けてください。月曜日及び祝日・年末年始は休館です。

(3) 履修できる単位数

本学学則の第55条（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）、第56条（大学以外の教育施設等における学修）、第57条（入学前の既修得単位等の認定）等で定める学修での修得単位数を合わせて60単位以下です。

(4) 履修できる授業科目および認定単位

別表（放送大学との単位互換協定に係る単位認定対象科目）のとおり。

(5) 履修期間

第1学期（前期）：4月～9月（6か月間）

第2学期（後期）：10月～3月（6か月間）

(6) 成績評価および単位認定

- 放送大学の成績評価によって、C以上の評語の科目に対しては下表に従い本学が単位認定し、本学の成績通知表や成績証明書に記載します。

放送大学評語	Ⓐ	A	B	C	D	E
金沢大学評語	認定			不可		

- 放送大学で履修した授業科目の成績評価がDまたはEの場合で、放送大学の再試験を利用し、合格した場合の当該授業科目の単位は認定しません。
- 単位認定は、履修学期の末日付で本学が行うため、この日に本学での在学身分を有していなければなりません。
- 履修する学期が本学における卒業学期の場合は、本制度の修得単位は、卒業単位に算入できません。
- 本人への成績通知は本学からと放送大学からの両方行われますが、本学の成績通知表が正式のものとなります。また、本制度の修得単位は本学のものであり、放送大学は単位認定も証明書の発行も一切行いません。

- (7) 入学料
特別聴講学生のため不要
- (8) 授業料
1科目(2単位)当り 11,000円
- (9) 出願手続についての掲示と受付
基幹教育学務係
1学期(前期):前年度の12月頃
2学期(後期):当該年度の6月頃
- (10) その他の注意

- ・必ず当該学期の本学履修登録期間(履修登録補正期間を含む)に本学の履修登録をして、履修時間割表の確認も行わなければなりません。履修登録上限単位数には含まれません。放送大学の手続きが完了していても本学の履修時間割表に記載がない場合は、単位認定しません。
- ・本学在学中に、個人的に放送大学の単位を修得しても、本学では単位認定しません。
- ・放送大学からの連絡事項は、個人宅と大学に届くものの両方があるので、通常の履修と同様に、常に**掲示に注意**しててください。
- ・詳細については、基幹教育学務係の窓口で照会してください。

(別表) 放送大学との単位互換協定に係る単位認定対象科目(令和2(2020)年度)

自由履修科目

放送大学での履修科目			本学での単位認定科目					
区分	授業科目名	履修単位	授業科目名	認定単位	区分			
					2016年度以降入学者	2015年度以前入学者		
					大テーマ	中テーマ		
コース科目	導入科目	人体の構造と機能(18)	人体の構造と機能	2	自由履修科目	自分を知る・他者を知る	医療と健康	総合科目
	導入科目	生物環境の科学(16)	生物環境の科学	2		自然に触れる・科学に触れる	生活と科学	
	専門科目	精神分析とユング心理学(17)	精神分析とユング心理学	2		自然に触れる・科学に触れる	心の哲学と科学	
	導入科目	西洋哲学の起源(16)	西洋哲学の起源	2		人間		一般科目
	導入科目	心理学概論(18)	心理学概論	2				
	専門科目	フィールドワークと民族誌(17)	フィールドワークと民族誌	2		社会		
	導入科目	社会学入門(16)	社会学入門	2				
	導入科目	社会福祉への招待(16)	社会福祉への招待	2		自然		
	導入科目	人間にとって貧困とは何か(19)	人間にとって貧困とは何か	2				
	専門科目	国際経営(19)	国際経営	2				
	導入科目	グローバル化時代の日本国憲法(19)	日本国憲法概説	2				
	導入科目	生活経済学(20)	生活経済学	2				
	専門科目	宇宙の誕生と進化(19)	宇宙の誕生と進化	2				

言語科目

放送大学での履修科目			本学での単位認定科目		
区分	授業科目名	履修単位	2017年度以降入学者		
			授業科目名	認定単位	区分
基盤科目 (外国語)	英語で描いた日本（'15）	2	EAP*	1	
	教養で読む英語（'19）	2	EAP*	1	
	英語で読む大統領演説（'20）	2	EAP*	1	
	ドイツ語Ⅰ（'19）	2	ドイツ語A1-1	1	A（初級）
			ドイツ語A1-2	1	
	ドイツ語Ⅱ（'19）	2	ドイツ語A3-1	1	
			ドイツ語A3-2	1	
	フランス語Ⅰ（'18）	2	フランス語A1-1	1	
			フランス語A1-2	1	
	フランス語Ⅱ（'18）	2	フランス語A3-1	1	
			フランス語A3-2	1	
	中国語Ⅰ（'18）	2	中国語A1-1	1	
			中国語A1-2	1	
	中国語Ⅱ（'18）	2	中国語A3-1	1	
			中国語A3-2	1	
	韓国語Ⅰ（'20）	2	朝鮮語A1-1	1	
			朝鮮語A1-2	1	
	韓国語Ⅱ（'20）	2	朝鮮語A2-1	1	
			朝鮮語A2-2	1	
初歩のスペイン語（'17）	2	スペイン語A1-1	1		
		スペイン語A1-2	1		

*授業科目名は、別途、掲示により通知します。

22. アカンサスポータル

アカンサスポータルとは、学生個々人のさまざまな情報にアクセスするための入口となるwebページです。金沢大学では、全学生に金沢大学IDが与えられ、アカンサスポータルを利用できるようになっています。学務情報等の大学からの連絡や授業担当教員からの情報などはアカンサスポータルに送られてきますので、**1日1度はアカンサスポータルを見るようにしてください。**

アカンサスポータルの利用のために必要な金沢大学IDと仮パスワードは、**履修ガイダンスで配付され、データサイエンス基礎（情報処理基礎）の授業でアカンサスポータルの使用法について指導しますので、入学者は休まずにこの授業に出席して使い方をマスターしてください。**

23. 金沢大学共通教育科目に関する規程

（趣旨）

第1条 この規程は、金沢大学における共通教育科目に関し必要な事項を定める。

（共通教育科目の区分）

第2条 共通教育科目として開講する授業科目（以下「授業科目」という。）の区分は、次のとおりとする。

導入科目

GS科目

GS言語科目

基礎科目

初習言語科目

自由履修科目

（授業科目、単位数及び履修要件）

第3条 授業科目及び単位数は、学年の始めに公示する。

2 共通教育科目の履修要件は、別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。ただし、基礎科目及び初習言語科目の履修要件は、学域において別に定めるものとする。

（開放科目）

第4条 授業科目のうち、開放科目として別に指定する科目は、専門教育科目として履修することができる。

2 開放科目は、共通教育科目又は専門教育科目のいずれか一方としてのみ履修することができる。

（履修登録の制限）

第5条 各学期又は各クォーターにおいて履修登録できる上限単位数は、金沢大学履修規程（以下「履修規程」という。）第9条の定めるところによる。

2 前項の規定に関わらず、次の各号に掲げる授業科目は、履修登録の上限に算入しない。

(1) 集中講義として開講する授業科目

(2) いしかわシティカレッジにおいて開講する授業科目

(3) 放送大学において開講する授業科目

(4) 基礎科目（統計数学A、統計数学B、物理学実験、化学実験、地学I A、地学I B）。ただし、国際基幹教育院総合教育部に所属する者（理系の区分のみを定めて行う入学者選抜試験により入学したものに限る。）が履修する場合に限る。

（単位認定対象資格）

第6条 履修規程第11条第2号により、国際基幹教育院において定めることとされている出席すべき授業回数は、全授業回数 $\frac{2}{3}$ とする。ただし、実験、実習及び実技については、 $\frac{4}{5}$ とする。

（試験）

第6条の2 各授業科目について、その授業の終了する学期又はクォーターの終わりに試験を行う。ただし、必要があるときはその期日を変えることができる。

2 授業科目の性質により、平常の成績等をもって前項の試験に代えることができる。

3 前条に定める出席すべき授業回数を満たし、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第7条 授業科目の成績の評価基準等は、履修規程第14条の定めるところによる。

2 成績評価のうち、「合」及び「認定」と評価する授業科目は、別に定める。

3 単位認定を保留とすることができる授業科目は、次のとおりとする。

導入科目

GS科目（プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ））

GS言語科目（TOEIC準備）

基礎科目

4 単位認定を保留とする基準及び保留後の成績評価については、別に定める。

(綜合成績評価)

第8条 授業科目の綜合成績評価は、履修規程第15条の定めるところによる。

2 GPAにおける保留及び再履修となる授業科目の取扱いについては、別に定める。

(成績評価の疑義申立て)

第9条 学生は、成績評価が成績評価基準に照らして不相当と考えるときは、履修規程第16条の定めるところにより、疑義を申立てることができる。

2 疑義申立てに係る取扱いについては、別に定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成28年6月7日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学者から適用する。

別表第1 単位修得要件

区分	修得すべき単位数		
導入科目	大学・社会生活論 1単位 初学者ゼミⅠ 1単位 データサイエンス基礎 1単位* 地域概論 1単位	27単位	30単位以上
GS科目 (5群)	各群から3単位 計15単位		
GS言語科目	各コースから4単位 計8単位		
自由履修科目	すべての共通教育科目から3単位以上		

*医薬保健学域保健学類は、「情報処理基礎 1単位」とする。

別表第2 GS科目の授業科目及び履修方法

1群 自己の立ち位置を知る (KUGS1)				
科目名		類	単位数	履修方法
1A	現代世界への歴史学的アプローチ	I	1	I類から1単位, II類から1単位を含む3単位を修得
1B	グローバル時代の政治経済学		1	
1C	グローバル時代の社会学		1	
1D	ケーススタディによる応用倫理学		1	
1E	地球生物圏と人間	II	1	
1F	物理の世界		1	
	化学の世界	1		
備考	※1F「物理の世界」及び「化学の世界」の2科目の単位を修得した場合, 1単位はGS科目の修得すべき単位数に算入し, もう1単位は自由履修科目に算入する。			
2群 自己を知り, 自己を鍛える (KUGS2)				
科目名		類	単位数	履修方法
2A	哲学(自我論)	I	1	I類から1単位, II類から1単位を含む3単位を修得
2B	パーソナリティ心理学		1	
2C	グローバル時代の文学		1	
2D	健康科学	II	1	
2E	細胞・分子生物学		1	
2F	エクササイズ&スポーツ 実技		1又は0.5	
備考	※2F「エクササイズ&スポーツ 実技」は, 1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入する。1単位を超える修得単位は, 自由履修科目に算入する。			

3群 考え・価値観を表現する (KUGS 3)			
科目名	類	単位数	履修方法
3A プレゼン・ディベート論 (初學者ゼミⅡ)		1	「プレゼン・ディ ベート論(初學者ゼ ミⅡ)」<必修>を 含む3単位を修得
3B クリティカル・シンキング		1	
3C 価値と情動の認知科学		1	
3D 論理学から見る世界 数学的発想法		1	
		1	
3E 芸術と自己表現		1	
3F スポーツ科学	1		
備考	※3D「論理学から見る世界」及び「数学的発想法」の2科目の単位を修得した 場合、1単位はGS科目の修得すべき単位数に算入し、もう1単位は自由履修科目 に算入する。 ※3F「スポーツ科学」は、1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入す る。1単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。		

4群 世界とつながる (KUGS 4)			
科目名	類	単位数	履修方法
4A 金沢・能登と世界の地域文化		1	3単位を修得
4B 日本史・日本文化		1	
4C 異文化間コミュニケーション		1	
4D 異文化体験		1～8	
4E 国際社会とボランティア		1	
4F グローバル社会と地域の課題		1	
備考	※4D「異文化体験」は、1単位までGS科目の修得すべき単位数に算入する。 1単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。		

5群 未来の課題に取り組む (KUGS 5)			
科目名	類	単位数	履修方法
5A 科学技術と科学方法論	I	1	I類から1単位、II 類から1単位を含む 3単位を修得
5B 統計学から未来を見る		1	
5C 情報の科学		1	
5D 環境学とESD	II	1	
5E 生活と社会保障		1	
5F 人権・ジェンダー論		1	

別表第3 GS言語科目の授業科目及び履修方

		科目名	単位数	履修方法
英語	「TOEIC準備」コース	TOEIC準備Ⅰ	1	4単位を修得
		TOEIC準備Ⅱ	1	
		TOEIC準備Ⅲ	1	
		TOEIC準備Ⅳ	1	
		TOEIC準備（演習）	1	
	「EAP」コース	English for Academic Purposes (EAP) Ⅰ	1	4単位を修得
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅱ	1	
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅲ	1	
		English for Academic Purposes (EAP) Ⅳ	1	
		EAP (Retake)	1	
日本語		アカデミック基礎日本語A	1	日本語を母語としない者を対象とし、履修方法は、学類が定めるところによる。
		アカデミック基礎日本語B	1	
		アカデミック・ライティングA	1	
		アカデミック・ライティングB	1	
		講義の聴解A	1	
		講義の聴解B	1	
		口頭発表ⅠA	1	
		口頭発表ⅠB	1	
		口頭発表ⅡA	1	
		口頭発表ⅡB	1	
		上級読解ⅠA	1	
		上級読解ⅠB	1	
		上級読解ⅡA	1	
		上級読解ⅡB	1	
		日本事情A	1	
		日本事情B	1	
		日本語で学ぶ論理A	1	
	日本語で学ぶ論理B	1		

注 日本語を母語としない者（留学生）及び英語を母語とする者等の履修方法は、上表によらず学類が定めるところに基づき、入学年度の履修案内に示す。

24. 金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) の解説

金沢大学<グローバル>スタンダード、すなわちKUGSは5つのスタンダードから構成されており、各スタンダードは相互に独立したものではあるが、過去から未来へ、外在性から内在性へ、また自己から他者へと緩やかに配列されている。

スタンダード1. 自己の立ち位置を知る：

鋭い倫理感と科学的知見をもって、人類の歴史学的時間と地政学的空間の中に立つ自己の位置、自己の使命を主体的に把握する能力

スタンダード1が述べているのは、自分が置かれている状況をできるだけ正確にとらえることによって、自分が何をすべきかを自ら進んでつかみ取る能力のことである。ここで言う状況とは、巨視的な時間のスケールで言えば、今生きている現在から、生物としてのヒトが進化した地球の時間、そして、それに先立つ宇宙の時間にまで拡がり、空間的なスケールで言えば、現在の地点から、地域コミュニティ、地方、都市、国家、国際社会、そして地球全体にまで広がっている。

このような状況の中心には、文化的、政治的、経済的なさまざまな問題が存在している。しかし、これらの問題を事実として正しく知ったとしても、そこからどのような行動を起こすべきかを導き出すには、何らかの倫理的判断が必要である。それは、人類がこれまでに培ってきた倫理的な態度や感性にもとづいている。例えば、個人的な自由や欲求を求めることと、正義や公平を社会に実現することとを両立させるには、人類社会の倫理的規範に従うことが必要である。したがってここでは、さまざまな角度から自己の立ち位置を知るとともに、倫理的な態度や感性を養うことが求められる。

スタンダード1は、学士レベルの理解度において、学生が自分の置かれている状況を正しくとらえ、将来の自分の行動を導き出すようになることを意味する。

スタンダード2. 自己を知り、自己を鍛える：

自己を知り、その限界に挑戦し、知的冒険と心身の鍛錬を通して常に自己の人間力を磨き高めていく能力

スタンダード2が述べているのは、まず自己の限界を知ることによって自己を知る能力、つまり心と身体の両面における自己のアイデンティティを知る能力のことである。しかし、この能力は直ちに、自己の限界を乗り越えるための人間力を常に高めていくことも要請する。自己が何であるかは、自己の内面をただ見つめるだけでは知ることはできない。スタンダード1で言う「状況」を含めて、自分の具体的なあり方を通してしか、自己が何であるかはとらえられない。

自己の具体的な姿は自らの限界をも示す。多様な知的・身体的能力がそれぞれに限界づけられた結果として出現する「形」が、その人の個性（アイデンティティ）であるとも言えよう。したがって、自己を知ることは自分の限界を知ること他にならず、それゆえここから、「自分の限界内に留まり、現状に安住しようとする」者と「自分の限界に挑戦し、自分を高めていこうとする」者の違いが出てくる。

スタンダード2は、各人各様の状態に応じて「常に自己を高めへと引き上げていこう」とする人間力を、学士レベルの到達度において学生が培っていくことを意味する。

スタンダード3. 考え・価値観を表現する：

論理的構成力や言語表現力を駆使して概念やアイデアを明確に表現し、かつ自己の感性や価値観を的確に他者に伝える能力

スタンダード3が述べているのは、言葉や図表によって思考やアイデアなどの自分の考えを明確にする能力と、さらにそのような思考や表現行為の背後にある自分の感性や感情、価値観、ものの見方などを他者に的確に伝える能力のことである。

思考やアイデアは、たんに頭に思い浮かべているだけでは明確ではない。日本語や英語などの特定の文法に従って思考やアイデアを言葉にし、さらにそれを論理的に組み立てることで、はじめて明晰な説明や論証になる。さらに、説明や論証は、それを行う人の感性や価値観という、より広い文脈においてのみ、正確に理解される。そもそも思考やアイデアを表現することは、自己の奥にある感性や価値観を何とかして他者に伝えようとすることに他ならないからである。

スタンダード3は、学士レベルの技能程度において、学生が自分の考えを明確に表現し、その考えの背後にある感情やものの見方を他者に的確に伝えるようになることを意味する。

スタンダード4. 世界とつながる：

他者への深い共感に基づいて異文化と共生し、各人にとっての自国と郷土への自覚と誇りをもって、世界と積極的につながっていく能力

スタンダード4が述べているのは、他者と共生する能力のことである。同じ文化に属するものどうしでさえ、他人は考えや、感じ方、行動パターンの点で自分とは異なり、その意味で理解しがたい存在である。これまで多くの共同体や社会は、他者を慣習や法制度によってできるだけ均一的な存在へと同化

しようとしてきた。しかし、いまや求められるのは同化ではなく、歴史的にも文化的にも自分たちとは大きく異なる「多様な他者たち」との共存・共生である。

他者との実り豊かな共生のためには、自分たちの国の歴史や文化はもちろん、自らを育んできた郷土に対する知識と自覚が必要である。他者との実際の共生は、普遍的なコスモポリタン同士の関係ではありえない。世界の中における自分たちの「特殊性」を自覚することこそ、「他者の異質性」と共に生きるための前提となる。

しかしまた、他者との「共生の作法」を身につけることは、たんなる心構えの問題ではない。国際関係に対する理解や、個人と国家・民族・宗教などとの入り組んだ関係に対する認識も必要となる。法の下での平等、性別や障害や人種などから生ずるあらゆる偏見・差別の撤廃、いかなる個人にも保障されるべき人権、様々な形態での移民の受け入れや難民に対する保護など、互いの存在の根源性を受け入れながら他者とつながるためには、どの国も今後、数多くのハードルを越えていかなければならない。

スタンダード4は、自分たちの文化を自覚し、他者との文化的差異を率直に認めながら、徹底して寛容な態度で積極的に「他者の異質性」と交わっていこうとする意欲を、学士レベルの到達度において、学生がもつようになることを意味する。

スタンダード5. 未来の課題に取り組む：

科学技術の動向、自然環境変動、持続可能性などの多角的視座から、地球と人類、国際社会と日本の未来を総合的に予測し、未来の課題に取り組んでいく能力

スタンダード5が述べているのは、現在から未来にいたる状況認識に基づいて、未来の課題に積極的に取り組んでいく能力のことである。現在の世界では、地球温暖化による自然環境の激変やボーダレスな新型感染症の発生など、地球規模でしか解決しえない課題が深刻さを増している。その一方で、国際社会においては、アジアやアフリカ諸国の相対的な比重の高まりや新興国の台頭など、これまでのヨーロッパやアメリカを中心とした世界秩序が変容しつつある。また日本においても、急激な少子高齢化や経済競争力の低下など、10年先の姿を見通すことさえ困難になっている。

しかし、このように予測困難な時代であるからこそ、科学の叡智を結集して、大災害や貧困層の拡大、軍事的衝突や経済的危機を回避しなければならない。そのためには、客観的な現状分析から未来を予測しようとする諸科学の方法論と成果を身につけなければならない。もちろん、未来予測は容易ではない。しかし、困難がたとえ大きくとも、最新の技術と発想をもって人類が取り組むべき重要な課題なのである。

スタンダード5は、学士レベルの理解度において学生が、地球と人類の未来像をできるだけ総合的に描き、それをもとに未来の課題に進んで取り組むことを意味する。

25. GS科目の説明

(1) 「自己の立ち位置を知る」

① 1A 現代世界への歴史学的アプローチ

現代世界で発生しているさまざまな問題の多くは、そこに至る歴史的な経緯が大きく関係しており、それを正しく把握できなければ、問題も正しく理解できない。したがって、現代世界の理解のためには、世界史の基本的な知識と歴史学的な発想法・分析視角の獲得が必須である。本授業では前提となる知識を再確認しつつ、歴史学的発想法・分析視角を学ぶ。これを通して学生は、自己の置かれた状況を正しく認識し、現代世界を読み解く手段の一つを得ることができるようになる。

② 1B グローバル時代の政治経済学

グローバル化が不可避的に進行する現代社会において、政治や経済の仕組みも大きく変容しつつある。そうしたなかにあって、学生は具体的な事例に則しながら、いかにして国際社会に平和を構築していけばいいのかを自ら深く考えるようになる。

③ 1C グローバル時代の社会学

グローバル化が不可避免的に進行する現代社会において、家族、地域社会、学校、職場など、人びとを取りまく社会の仕組みも大きく変容しつつある。国境を超える経済活動や国際的な人の移動の増加などグローバル化がもたらす影響を、身近な日常生活の変化から国や地域の変動まで、様々な具体的事例と関連させつつ考察することで、学生はグローバル化する社会の中で協働しつつ生きていくことの意味を理解できるようになる。

④ 1D ケーススタディによる応用倫理学

国家間の対立と市民の基本的権利、宗教的対立と信仰の自由、人口爆発と生む権利など、現代社会の具体的場面で倫理と規範を考察する。覚えるべき解答があらかじめ存在しているわけではない。「何が根拠となりうるのか」までも問いながら、学生は、道徳的規範とは何かに関する初歩的な理解を得ることができるようになる。

⑤ 1E 地球生物圏と人間

地球はその内部、表層から気圏に至るまで常に動的であり、私たちを含む生物は、その変動する地球の上に暮らしている。学生は、本授業を通して、地球の一員としてのヒトの立ち位置を理解することができる。学生は自ら、地球・生物の成り立ちや生物と地球環境との関わりについての知識を涵養できるようになる。

⑥ 1F 物理の世界／化学の世界 ※1

【物理の世界】

自然は私たちを取り巻いて厳に存在しており、その自然界の背後には普遍的な物理法則が存在している。学生は、典型的な物理現象の理解を通して、見かけの相違にとらわれることなく法則の普遍性を捉え、物事の本質を見抜く科学的思考ができるようになる。

【化学の世界】

物質の構成要素となる元素を対象とした化学の世界は、その構造、性質及び反応を究明することで目覚ましい進歩を遂げてきた。では、人類の物質に関する理解はどの様に進歩して、現代化学における物質観につながってきたのか。学生は、化学の世界に関するこうした理解を通して、多種多様な世界観が存在する現代において、客観的かつ科学的な視点で物事を捉えることができるようになる。

※1 「物理の世界／化学の世界」も他の科目と同様1単位科目であるが、「物理の世界」のクラスと「化学の世界」のクラスに分かれており、両方のクラスを受講することはできるが、GS科目としては、1単位しか認定されない。

(2) 「自己を知り、自己を鍛える」

① 2A 哲学（自我論）

自己とは何であろうか？自己とは自分を意識する自己意識のことだろうか？どの〈私〉も持っている〈自己〉は、すべてみな同じなのか？〈自己〉がみな同じなら、私と他者の本質の違いはどこにあるのか？

こうした問いを経て、学生は、〈自己〉の形而上学的、存在論的、認識論的な問いの意味を理解できるようになる。

② 2B パーソナリティ心理学

われわれの自己は、心理学的および社会学的な存在である。そこにおいてわれわれは、自己および他者を、それぞれ特定の「性格」を有するものとして認識する。

学生は、「性格」の捉え方として現代の心理学が提唱する〈類型論〉や〈特性論〉に触れることを通して、自己という存在の多様性を認識できるようになる。

③ 2C グローバル時代の文学

グローバル時代においては、様々な文学体験をすることで、自己を知り、自己を鍛えることが可能となる。学生は、現代の世界文学を通して、世界の様々な人々の心と未来の人類のあり方を理解し、自己変革へと向かうことができるようになる。

④ 2D 健康科学

われわれを取り巻く環境、生活習慣は健康にとって危険な要素を含んでいる。健康に生活するためには、これらの危険な要素と対処法を知らねばならない。学生は、健康とその増進のために必要な個人としての取り組みだけでなく、社会全体としての取り組みの重要性についても理解するようになる。

⑤ 2E 細胞・分子生物学

私たち人間は細胞からできている。その細胞内に存在するタンパク質や核酸などの分子レベルの振舞いを理解することによって、学生は、それらの分子による細胞の制御メカニズムや細胞の様々な営みについて、基礎的な理解を得るようになる。

⑥ 2F エクササイズ&スポーツ 実技

心身の鍛錬は自律の基本である。学生は、身体形成の必要性を知り、体力づくりや運動技能修得のための原理・原則を理解し実践することによって、自己を知り自己を鍛えるための能力を高めることができる。

(3) 「考え・価値観を表現する」

① 3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）＜必修＞

本授業では、初学者ゼミⅠの内容を踏まえ、そこでの調査・研究を継続するとともに、成果をいかに効果的に発表し議論するか、という視点を導入して演習を行う。学生は、この作業を通して、発表・討論に必要な技術・能力を修得することが出来るようになる。

② 3B クリティカル・シンキング

日本語は、他の言語と同様に、もちろん十分に論理的である。しかし、その論理性は日本語という文法構造によって具体化されているため、＜日本語を用いて＞論理的な表現を行うためには、英語やスワヒリ語とは別の規則を知らなければならない。これらの規則は、クリティカル・シンキングという考え方の基本と、日本語文法の間が存在する。学生は、これらの3つのレベルでの文章評価・文章構成の訓練を通して、論理的な＜思考・表現＞の能力を高めることができる。

③ 3C 価値と情動の認知科学

行動や表現を引き起こすのは、最終的には理性というより、行為者の価値観や態度や情動である。しかもそれらは、往々にして非合理的な要素を多く含み、しかも行為者本人からは隠されている。自己の行動や表現を適切にコントロールし、他者の行動や表現を適切に理解するためには、価値や情動に関する＜認知・行動＞の仕組みに関する理解が必要となる。学生は、最新の認知科学的な知見から、その理解の端緒を得ることができる。

④ 3D 論理学から見る世界／数学的発想法 ※2

【論理学から見る世界】

学士課程レベルにおいて最も有効にして必要な論理学として、標準的な古典論理のうち、命題論理と第1階の述語論理（量化論理）までを、学生は修得する。それを通して、学生は、妥当な推論とは何か、その妥当性の由来は何か、といった理論的な理解のみならず、妥当な推論を構成し、かつ推論の妥当性をチェックできるようになる。

【数学的発想法】

数学は多くの学問分野において、その法則を適切に表現するための言葉として用いられ、文系、理系を問わず必要なりテラシーとされている。学生は、数学の基本的技法に加えて応用的方法を学ぶことによって、数学の思考方法を修得し、根拠の確かな判断能力や生活の中で数学を活用する能力を身に付けることができるようになる。

※2 「3D 論理学から見る世界／数学的発想法」の科目も他の科目と同様1単位科目であるが、「論理学から見る世界」のクラスと「数学的発想法」のクラスに分かれており、両方のクラスを受講することはできるが、GS科目としては、1単位しか認定されない。

⑤ 3E 芸術と自己表現

人間の最も根幹的で洗練された自己表現は、絵画、音楽、演劇、舞踏などの芸術であろう。それらは

人間の諸能力のシンプルな表出であると同時に、人間存在の繊細で奥深い次元に根ざすものである。芸術においては、鑑賞するにせよ創作するにせよ、自己と表現との愚直な関係が求められるがゆえに、学生は、様々な芸術の実際を体験することによって、自己表現の真摯なあり方を知るようになる。

⑥ 3F スポーツ科学

本授業では、保健体育の意義や、身体の理（ことわり）と自然・生活様式などとの関係についての理解を深める。学生は、これらの活動を通して、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。

(4) 「世界とつながる」

① 4A 金沢・能登と世界の地域文化

グローバル化は国家の枠組を超えてローカルな枠組と結びつきやすく、また現実の国際化は国家総体よりも個々の地域の枠組のなかで進行する。グローバル化に対応するためには、地域とその文化に対する正確な理解は欠かせない。本授業では、私たちの住む金沢・能登の文化を事例にその豊かさと変容を学ぶとともに、金沢・能登と関係する世界各地の地域文化についても調査する。学生は、自らの暮らす地域の文化とその世界との結びつきに対する理解を深め、その内容を情報発信するとともに、それらを相対化する視点を得ることができるようになる。

② 4B 日本史・日本文化

現代社会では、人は必ず国家に帰属することが求められ、海外に出ればその帰属した国家を代表する存在として見られがちである。一方、国家の歴史や文化についての一般的言説には誤謬が含まれているものもあり、時としてそれは誤解・トラブルの原因となる。本授業では、最先端の学問的成果に基いて日本史・日本文化を学ぶ。日本人学生は自らの帰属する国家をより深く理解し、その内容を正しく情報発信できるようになり、外国人学生は自分たちが留学している国についてより正確に理解できるようになる。

③ 4C 異文化間コミュニケーション

グローバル化した社会では、自らの育った文化を知り、その特徴を自覚した上で、自らの特殊性を認め、さらに、自らと異なる文化、人種、民族への理解を深めることが重要である。学生は、偏見・差別をなくし文化的差異を認めることの必要性を認識することによって、他者への深い共感に基づいて異文化を受け入れ、異質な他者と共生する能力を身につけられるようになる。

④ 4D 異文化体験

異文化理解には、慣れ親しんだ環境とは異なる空間での実体験が重要である。本授業において、学生は海外での語学研修、ボランティア、インターンシップなどを通して、異文化環境での短期の生活を体験する。現地での活動・研修に加え、事前・事後の指導や帰国後の発表を通し、外国語による国際コミュニケーション能力を身につけると同時に、異文化への理解を深めることができる。

⑤ 4E 国際社会とボランティア

ボーダーレス化が進む国際社会では、ボランティアのネットワークも国境を越えて広がる。学生は、日本を含む世界の各地でどのようなボランティアのニーズがあるのか、国際社会・地域社会における共生のためにボランティアに何ができるのか等を、実践例に基づきながら理解することができるようになる。

⑥ 4F グローバル社会と地域の課題

学生はいま学生として、あるいは将来地域社会を担っていく者として、グローバルな視野に立ちつつ、地域の様々な課題に取り組んでいかなければならない。そこで求められるのは地域の課題を的確に見抜く力であり、他者と協力しながらそれに取り組む力である。学生は、事前指導・実践・事後指導を通して、地域の課題を捉え、他者と協調していく能力を身につけることができる。

(5) 「未来の課題に取り組む」

① 5A 科学技術と科学方法論

私達人類の未来の多くは科学技術の行く末に託されている。科学技術の根幹をなす科学について、コアとなる枠組みやスキル、すなわち「科学の方法」を学ぶ。科学的な考え方の歴史、私達の日常的な考

え方との共通点や差異について、簡易な実験などを通して理解し、科学的思考力・科学的表現力を涵養するとともに、科学と科学技術の未来について展望を持つ。

② 5B 統計学から未来を見る

世界の人口問題とそれに伴う食料や資源、エネルギーの問題、また国内における少子高齢化とそれに伴う医療福祉・教育・労働・経済・産業に関する問題など、私たちを取り巻く現状を数値化して分析し、それに基づいて未来を予測するために、統計学はすべての学問分野において必要とされている。学生は、初等統計の基礎を様々な実例を通して学ぶことによって、統計学的視点からの問題把握ができるようになる。

③ 5C 情報の科学

世の中には多くの情報が溢れている。現状を理解し、今後の展望を見極めるためには、情報に踊らされることなく、正しい情報を見極めて、それを収集し発信していくことが必要である。学生は、情報とは何か、情報収集・発信の有効性と危険性、情報のモラル、セキュリティなどを学ぶことによって、情報を制御するために不可欠の知識と能力を修得することができるようになる。

④ 5D 環境学とESD

環境問題や持続可能な社会づくりには、自然科学、社会科学を含む学際的なアプローチが求められる。本科目では、わが国における公害問題の発生と克服、環境政策の展開について学ぶとともに、世界的な地球環境問題や持続可能な社会づくりに向けた取り組みの歴史を概観し、さらに主要な環境問題に関する最新の知見を得ることにより、私たちの現在のライフスタイルが持続可能でないことを理解し、21世紀を生きるために必要な価値観、文明観や行動力を身につけることができるようになる。

⑤ 5E 生活と社会保障

日本を含む世界の少なからぬ国々は今、人口減少、人口分布の地域的偏在、及び高齢化という局面を迎えながら、社会保障の一層の拡充という困難な課題に直面している。学生は、世界・日本・地方という複眼的な視点からこの課題を捉え、初歩的なレベルにおいてではあるが、有効な解決策に向けた議論を展開できるようになる。

⑥ 5F 人権・ジェンダー論

未来を平和で豊かな持続可能な社会にしていくうえで、人権の思想とジェンダー学の視点は不可欠とされるが、現実の国際社会・日本社会は未だその理想からは遠い状況にある。本授業では、人権・ジェンダーについての基本的な知識を踏まえつつ、これらの視点から現代社会の問題を分析・考察する。学生は、その理解を通して、未来を構築するうえで必要な視点と問題意識を得ることができるようになる。

II 時間帶表

共通教育科目の時間帯表

令和2(2020)年度1年次第1クォーター

() は、専門教育科目の開講予定時間帯です

曜日	時間	人間社会学域及び総合教育部(文系)							理工学域及び総合教育部(理系)							医 薬・創薬科学			保健	時間
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	総合教育部(文系)	数物科学	物質化学	生命理工	総合教育部(理系)	3学期一括1組	3学期一括2組	3学期一括3組	地球社会	医	薬・創薬科学		
月	1								大学・社会生活論	大学・社会生活論	大学・社会生活論	大学・社会生活論				大学・社会生活論	化学IA	大学・社会生活論	1	
	2	大学・社会生活論	大学・社会生活論	大学・社会生活論	地域概論	地域概論	大学・社会生活論	大学・社会生活論	化学IA*	化学IA	化学IA★	化学IA		物理学IA		微分積分学IA	大学・社会生活論	物理学I#	2	
	3	EAP				データサイエンス基礎	データサイエンス基礎	データサイエンス基礎	線形代数学IA	線形代数学IA	微分積分学IA★	線形代数学IA		化学IA*		微分積分学IA		微分積分学I#	3	
	4												データサイエンス基礎	データサイエンス基礎		EAP			4	
	5																		5	
火	1	TOEIC準備													データサイエンス基礎(後半)	初ゼミI		1		
	2	初習(仏中西)A	初習A	初習(仏中西)A			EAP				初ゼミI	初ゼミI			初ゼミI	大学・社会生活論			2	
	3	初習(独仏)A	初習(仏)A	初習(独仏)A	初習(中西)A		初習(西)A	初習(中西)A	初ゼミI											3
	4				データサイエンス基礎												地域概論			4
	5	初ゼミI		初ゼミI				初ゼミI	データサイエンス基礎	初ゼミI				初ゼミI					5	
水	1										リメディアル(物理または化学)	TOEIC準備							1	
	2	データサイエンス基礎			初ゼミI				TOEIC準備				微分積分学IA	線形代数学IA	微分積分学IA	線形代数学IA	化学IA			2
	3		初ゼミI	データサイエンス基礎	初習(独仏)A		初習(独仏)A			データサイエンス基礎						線形代数学IA		初ゼミI		3
	4		データサイエンス基礎				EAP									物理学IA		初ゼミII		4
	5					初ゼミI	初ゼミI												情報	5
木	1	地域概論	地域概論		TOEIC準備				微分積分学IA	微分積分学IA	線形代数学IA★	微分積分学IA	物理学IA	化学IA*	線形代数学IA	微分積分学IA	線形代数学I#		1	
	2	EAP						地域概論	物理学IA	物理学IA	物理学IA★	物理学IA	線形代数学IA	微分積分学IA	線形代数学IA	微分積分学IA	物理学IA	化学I#	2	
	3	初習A				大学・社会生活論		地域概論		地域概論		地域概論	大学・社会生活論	地域概論			EAP		3	
	4				初習(独仏)西A		初習A	初習(独仏)西A												4
	5								データサイエンス基礎		データサイエンス基礎					データサイエンス基礎(前半)	データサイエンス基礎		5	
金	1										リメディアル(数学)					TOEIC準備			1	
	2				大学・社会生活論			EAP											2	
	3													EAP		(移動)		3		
	4							地学IA*		地学IA*		地域概論	大学・社会生活論	地学IA					4	
	5				初ゼミI									データサイエンス基礎					5	

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。 *：選択科目 ★：選択必修 #：専攻により異なる(保健学類)
 ※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

令和2(2020)年度1年次第2クォーター

() は、専門教育科目の開講予定時間帯です

曜日	時間	人間社会学域及び総合教育部(文系)							理工学域及び総合教育部(理系)							医 薬・創薬科学			保健	時間
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	総合教育部(文系)	数物科学	物質化学	生命理工	総合教育部(理系)	3学期一括1組	3学期一括2組	3学期一括3組	地球社会	医	薬・創薬科学		
月	1								地域概論		地域概論				地域概論	化学IB	地域概論		1	
	2			地域概論			地域概論		化学IB*	化学IB	化学IB★	化学IB		物理学IB		微分積分学IB		物理学I#	2	
	3								線形代数学IB	線形代数学IB	微分積分学IB★	線形代数学IB		化学IB*		微分積分学IB		微分積分学I#	3	
	4																		4	
	5																		5	
火	1	TOEIC準備																1		
	2	初習(仏中西)A	初習A	初習(仏中西)A							初ゼミII	初ゼミII			初ゼミII				2	
	3	初習(独仏)A	初習(仏)A	初習(独仏)A	初習(中西)A		初習(西)A	初習(中西)A	初ゼミII									(移動)	3	
	4																		4	
	5	初ゼミII		初ゼミII				初ゼミII		初ゼミII				初ゼミII					5	
水	1										リメディアル(物理または化学)	TOEIC準備							1	
	2				初ゼミII			TOEIC準備				微分積分学IB	線形代数学IB	微分積分学IB	線形代数学IB	化学IB			2	
	3		初ゼミII	初習(独仏)A		初習(独仏)A											線形代数学IB			3
	4																物理学IB		(移動)	4
	5					初ゼミII												地域概論		5
木	1	TOEIC準備							微分積分学IB	微分積分学IB	線形代数学IB★	微分積分学IB	物理学IB	化学IB*	線形代数学IB	微分積分学IB	線形代数学I#		1	
	2							物理学IB	物理学IB	物理学IB★	物理学IB	線形代数学IB	微分積分学IB	線形代数学IB	微分積分学IB	物理学IB	化学I#		2	
	3	初習A																	3	
	4				初習(独仏)西A		初習A	初習(独仏)西A												4
	5																		5	
金	1										リメディアル(数学)					TOEIC準備			1	
	2							EAP											2	
	3													EAP		(移動)		3		
	4							地学IB*		地学IB*		地域概論	大学・社会生活論	地学IB					4	
	5				初ゼミII														5	

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。 *：選択科目 ★：選択必修 #：専攻により異なる(保健学類)
 ※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間
 ※保健(移動) …角間・鶴間キャンパス間の移動時間

共通教育科目の時間帯表

令和2(2020)年度1年次第3クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域及び総合教育部(文系)							理工学域及び総合教育部(理系)							医薬保健学域			時間	
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	総合教育部(文系)	数物科学	物質化学	生命理工	総合教育部(理系)	3学類一括1組	3学類一括2組	3学類一括3組	地球社会	医	薬・創薬科学		保健
月	1																			
	2								化学II A*	化学II A	化学II A★	化学II A*	化学II A*	物理学II A	化学II A*	化学II A			物理学II #	
	3								線形代数学II A	微分積分学II A★									物理学実験* 化学実験* (看護)	
	4														物理学実験★	(移動)			初ゼミI	
	5																			
火	1	TOEIC準備																		
	2	初習(仏中西)A	初習A	初習(仏中西)A																
	3	初習(独仏)A	初習(仏)A	初習(独仏)A	初習(中西)A		初習(西)A	初習(中西)A												
	4																		(移動)	
	5																		初ゼミII	
水	1																			
	2																			
	3				初習(独仏中)A		初習(独仏中)A					微分積分学II A*	微分積分学II A	線形代数学II A	微分積分学II A	線形代数学II A	微分積分学II A*	統計数学A		
	4								地学II A*			統計数学A*	地学II A*			地学II A*	物理学II A	統計数学#		
	5																			
木	1																			
	2																			
	3																		EAP	
	4				初習(独仏西)A		初習A	初習(独仏西)A	化学実験*			化学実験*				化学実験★	(移動)			
	5																		初ゼミII	
金	1																			
	2																			
	3																			
	4								化学実験*	化学実験		物理学実験*				物理学実験* 化学実験*		物理学実験* (理学・作業)		
	5																			

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。*：選択科目 ★：選択必修 #：専攻により異なる(保健学類)
※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

令和2(2020)年度1年次第4クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域及び総合教育部(文系)							理工学域及び総合教育部(理系)							医薬保健学域			時間
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	総合教育部(文系)	数物科学	物質化学	生命理工	総合教育部(理系)	3学類一括1組	3学類一括2組	3学類一括3組	地球社会	医	薬・創薬科学	
月	1																		
	2								化学II B*	化学II B	化学II B★	化学II B*	化学II B*	物理学II B	化学II B*	化学II B			物理学II #
	3								線形代数学II B	微分積分学II B★									物理学実験* 化学実験* (看護)
	4														物理学実験★				
	5																		
火	1	TOEIC準備																	
	2	初習(仏中西)A	初習A	初習(仏中西)A															
	3	初習(独仏)A	初習(仏)A	初習(独仏)A	初習(中西)A		初習(西)A	初習(中西)A											
	4																		
	5																		
水	1																		
	2																		
	3				初習(独仏中)A		初習(独仏中)A					微分積分学II B*	微分積分学II B	線形代数学II B	微分積分学II B	線形代数学II B	微分積分学II B*	統計数学B	
	4								地学II B*			統計数学B*	地学II B*			地学II B*	物理学II B	統計数学#	
	5																		
木	1																		
	2																		
	3																		EAP
	4				初習(独仏西)A		初習A	初習(独仏西)A	化学実験*			化学実験*				化学実験★			
	5																		
金	1																		
	2																		
	3																		
	4								化学実験*	化学実験		物理学実験*				物理学実験* 化学実験*		物理学実験* (理学・作業)	
	5																		

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。*：選択科目 ★：選択必修 #：専攻により異なる(保健学類)
※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

共通教育科目の時間帯表

令和3(2021)年度2年次第1クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域						理工学域					医薬保健学域			時間			
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医		薬・創薬	保健	
月	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4							物理学実験	物理学実験 (選択必修)		化学実験*	化学実験*	化学実験*					化学実験* (理学・作業)	4
	5																		5
火	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4														化学実験		(検査)		4
	5																(検査)		5
水	1																		1
	2																		2
	3														(移動)**				3
	4									物理学実験	物理学実験*								4
	5																		5
木	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
金	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4												物理学実験						4
	5																		5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

*: 選択科目

※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

令和3(2021)年度2年次第2クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域						理工学域					医薬保健学域			時間			
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医		薬・創薬	保健	
月	1																		1
	2															初ゼミII			2
	3																		3
	4							物理学実験	物理学実験 (選択必修)		化学実験*	化学実験*	化学実験*					化学実験* (理学・作業)	4
	5																		5
火	1																		1
	2												物理学II*						2
	3																		3
	4																	(検査)	4
	5																	(検査)	5
水	1																		1
	2																		2
	3														(移動)**				3
	4									物理学実験	物理学実験*								4
	5																		5
木	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
金	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4												物理学実験						4
	5																		5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

*: 選択科目

※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

共通教育科目の時間帯表

令和3(2021)年度2年次第3・4クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域						理工学域						医薬保健学域			時間	
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医	薬・創薬		保健
月	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
火	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
水	1																	1
	2																	2
	3													(移動)※				3
	4																	4
	5																	5
木	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
金	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

※医(移動) …角間・宝町キャンパス間の移動時間

共通教育科目の時間帯表

令和4(2022)年度3年次第1・2クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時限	人間社会学域						理工学域						医薬保健学域			時限		
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医	薬・創薬		保健	
月	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
火	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
水	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
木	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
金	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

令和4(2022)年度3年次第3・4クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時限	人間社会学域						理工学域						医薬保健学域			時限		
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医	薬・創薬		保健	
月	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
火	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
水	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
木	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5
金	1																		1
	2																		2
	3																		3
	4																		4
	5																		5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

共通教育科目の時間帯表

令和5(2023)年度4年次第1・2クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域						理工学域						医薬保健学域			時間	
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医	薬・創薬		保健
月	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
火	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
水	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
木	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
金	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

令和5(2023)年度4年次第3・4クォーター

(□は、専門教育科目の開講予定時間帯です)

曜日	時間	人間社会学域						理工学域						医薬保健学域			時間	
		人文	法	国際	経済	学校教育	地域創造	数物科学	物質化学	生命理工	機械工学	フロンティア	電子情報通信	地球社会	医	薬・創薬		保健
月	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
火	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
水	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
木	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5
金	1																	1
	2																	2
	3																	3
	4																	4
	5																	5

※専門教育科目の開講予定時間帯であっても、その時間帯に専門教育科目が開講されていない場合は、共通教育科目を履修できます。

Ⅲ 学生生活

- ☆ 「金沢大学学生便覧」にある「学生生活」「施設案内」を必ず読んでください。
ここでは、共通教育科目を履修する上での必要なことに限定しています。

1. 学生生活に関する相談

勉強、進路、就職、健康問題、その他のことで困ったことや悩みごとがあれば、所属学類等のアドバイス教員または学生相談窓口に何でも気軽に相談してください。相談の内容について秘密が保持されるように配慮されています。総合教育講義棟、保健管理センターにも相談室があります。

・総合教育講義棟の学生相談室

学期中の平日、基幹教育学務係向かいにある「なんでも相談室－よるまっし」で、学生生活一般について相談を受け付けています。教員または大学院学生・学類学生が担当しています。（相談担当者名を記した開室日程表を月ごとに相談室前に掲示します。）

・保健管理センターの学生相談室

月～金曜日の午前・午後、本部棟1階の保健管理センターで、学生生活一般について相談を受け付けています。専任のカウンセラー、非常勤カウンセラーが常にあります。電話（076-264-5255）による予約も可能です。

・ハラスメント相談窓口

各学類等に担当教員がいます。所属学類等の履修案内・手引き・ハンドブック等で確認してください。所属している学類等以外の教員に相談することもできますので、「なんでも相談室－よるまっし」前の掲示板等で確認してください。

入学時に配付されている『きいつけまっし』の「1. 心と身体の健康・悩み事」の項目も参照してください。

また、金沢大学公式Webサイト⇒在学生⇒学生相談窓口⇒ハラスメント防止について に詳細が掲載されています。

2. キャンパス交通ルール

本学では、教育研究の場にふさわしい環境を保全するため、キャンパス内における交通規制をおこなっています。学内の交通ルールを守って、安全確保、教育研究環境保全のために、節度ある行動をしてください。

(1) 自動車通学

自動車による通学は、特別な事情がある場合以外は許可されません。特別な事情とは、身体に障がいがある場合、公共交通機関を利用することが地理的に非常に困難な場合等です。特別な事情がある場合は、掲示板で期限等を確認した上で、基幹教育学務係に申請して許可を得てください。

(2) 交差点での進入禁止

金沢大学中央の交差点から総合教育講義棟へ向かう道路は、進入禁止となっていますので、キャンパス内の交通ルールを遵守してください。

(3) 建物周辺への乗り入れ禁止

角間地区はアカデミックゾーン（総合教育講義棟・体育館・各学類の建物周辺を含む周回道路内）への乗り入れ、駐停車は禁止です。降りるためだけの乗り入れも絶対にしないでください。角間地区周回道路も駐停車禁止です。

(4) 自転車通学・バイク通学

自転車またはバイクは、所定の駐輪場に止めてください。なお、駐輪場の使用について、手続きは必要ありません。

また、アカデミックゾーン（総合教育講義棟・体育館・各学類の建物周辺を含む周回道路内）への乗り入れ、駐輪を禁止します。

(5) 違反者に対する処分

許可証を掲示していない自動車の駐車、駐輪場以外での自転車・バイクの駐輪に対しては、警告ポールを取り付けます。警告ポールは所定の手続きを経るまで最低一週間は、取り外すことができません。

また、**悪質な違反**（繰り返しの違反、警告ポールの破損等）は**懲戒処分の対象**となります。

なお、キャンパス交通ルールの詳細やこれに関係するさまざまな注意事項については、入学時に配付されている『きいつけまっし』を必ず読んでください。

3. 総合教育棟の利用

(1) 講義室等の使用

学生が課外活動のために総合教育講義棟の講義室使用を希望する場合は、あらかじめ基幹教育学務係で講義室の空き状況を確認の上、学務部学生支援課で了承を得、「学内施設使用許可願」を基幹教育学務係に提出し許可を得てください。

- 1) 使用は、平日16時30分～19時50分の間のA 3又はA 4講義室とし、教育、研究等に支障のない範囲で許可します。ただし、休業期間中は除きます。
- 2) 「学内施設使用許可願」は、責任者が直接基幹教育学務係に提出してください。
- 3) 使用希望日の、1週間前から前日までに許可を得てください。
- 4) 使用の許可を得た場合でも、授業その他の都合で変更されることがあります。
- 5) 火気の使用は厳禁です。
- 6) 許可された使用目的以外に使用しないでください。
- 7) 他に迷惑をかけないように、静かに使用してください。
- 8) 各室とも机、椅子など備え付けの物は、移動しないでください。
移動した場合は、必ず原状復帰してください。
- 9) 常に清潔に保ち、講義室等の維持保全（美化および使用後の消灯・窓閉め・エアコン暖房オフ）に協力してください。
- 10) 施設等を故意または過失によってき損した場合は、基幹教育学務係に申し出るとともに、速やかに修理し、原状に復してください。

以上の注意事項を守らない場合は、使用許可を取り消すことがあります。

(2) プレゼンテーション室

総合教育講義棟2階（基幹教育学務係隣り）にあるプレゼンテーション室は、グループ学修や教育、学習及び研究に関する説明会等のイベント等に利用できます。

- 1) 利用時間は、平日8時30分～19時50分まで、長期休業期間中は17時00分までです。
- 2) 予約せずに自由に利用できます。
- 3) 予約する場合は、基幹教育学務係窓口にて予約申込書を提出してください。予約受付は、希望日の1週間前から前日の17時00分までです。

(3) 学生自習室

学生自習室は総合教育2号館4階（Ⅳ. 建物配置図参照）にあります。

また、総合教育講義棟A 4講義室は授業に使用していない場合は、学生自習室として利用できます。

(4) 掲示等

掲示その他、これに類するものは、基幹教育学務係に申し出てください。

※ 課外活動のための使用場所は、原則として、課外活動共用施設（サークル棟）・大学会館集会室です。

4. 所属変更・休学・復学・退学

所属変更（転学類・転コース等）、休学、復学および退学は、各学類等の学務係が取り扱っています。転学類・転コース等の情報は、掲示板を必ず確認するよう心がけてください。

5. パソコンとネットワーク

(1) 金沢大学では、ノートパソコンを必携としています。学内には無線LANのアクセスポイントや有線LANの情報コンセントが、主要な講義室、ロビー等に設置されており、ノートパソコンで、インターネットなどのネットワークを便利に、かつ安全に利用できる環境が整備されています。授業のみならず、学生生活や研究活動などさまざまな形で利用することができます。

(2) ノートパソコンは、各自の責任で管理してください。

体育館・グラウンド等を使用する保健体育関連科目の授業に出席する場合などに限り、その授業の間だけ3階のB10示範教室、4階のC10示範教室および5階のD10講義室前に設置された専用ロッカーを使用できます（野外に出る実験等の場合も使用できます）。専用ロッカーを使用する場合には次のルールを守ってください。

- ・専用ロッカーは保健体育関連科目などの授業の間だけしか使用できません。授業終了後は、すみやかに取り出してロッカーを明け渡してください（長時間ロッカーに入れたままの場合には、強制的に撤去することがあります）。
- ・専用ロッカーにはノートパソコン以外のものは入れないでください。貴重品は、基幹教育学務係に預けることができます。

(3) 大学生活でパソコンおよびネットワークを十分に活用するためには、入学当初に、①ノートパソコンのセキュリティ点検を受ける、②ネットワークIDの登録、③アカンサスポータルの利用方法の修得、④インターネットによる履修登録方法の修得の4つのことをしなければなりません。

① セキュリティ点検は、全入学者が入学時に必ず受けなくてはなりません。ここでウイルス対策ソフトの動作状況の確認などの点検を行います。

② 入学後、学内のネットワークを利用するために「ネットワークID」の登録が必要です。総合アカウント管理システムから、所定の操作で登録できます。

このネットワークIDを使って安全にインターネットを利用するためには最低限の「情報倫理とネットワークセキュリティ」の知識を修得する必要があります。そのために、「データサイエンス基礎（情報処理基礎）」の授業の最初の3回で「情報倫理とネットワークセキュリティ」を学修します。

③ アカンサスポータルは、学生個人ごとのさまざまな情報にアクセスするための入口となるインターネット上のシステム（Webページ）です。このシステムを利用するためのIDとパスワードを【金沢大学ID】といい、履修ガイダンスで配付されます。アカンサスポータルの使用方法について、「データサイエンス基礎（情報処理基礎）」の授業中に指導します。そのため入学者は必ずこの第1回目の授業に出席してください。

④ 履修登録は、アカンサスポータルから行います。金沢大学IDを用いてアカンサスポータルにアクセスし、「学務情報サービス」をクリックしてください。リンク先の「履修・成績情報」から「履修登録」に進み登録を行ってください。履修登録の詳しい方法は、『学生便覧』を参照してください（第1クォーターのみ別途指示があります）。

(4) 金沢大学では、学生証をICカード化し、出欠管理に活用しています。授業によっては出席確認に必要になりますので、学生証は忘れずに携帯してください。学生証による出席確認を行う場合は、講義室の前後に設置されている端末に学生証をかざしてください。

(5) パソコンを始めとするコンピュータまたはネットワークの不正な使用は、懲戒処分の対象となります。

6. その他

(1) 角間キャンパスは建物内は原則禁煙です。敷地内では、指定喫煙場所以外禁煙です（灰皿設置場所は除く）。総合教育講義棟の最寄りの喫煙場所は、大学会館3階西側屋上広場です。宝町・鶴間キャンパスは敷地内全域禁煙です。

喫煙する場合は喫煙のルールを厳守し、非喫煙者に迷惑をかけたり、環境を害することがないように十分気をつけましょう。言うまでもなく、未成年者の喫煙は法律で禁止されています。

(2) 騒音防止と敷石保護のため、アカデミックゾーン内のスケートボード等は禁止です。

(3) 学生意見箱が基幹教育学務係に設けられています。共通教育について意見があるけれども教職員に言えない場合に、意見を書いて意見箱に入れてください。

IV 建物配置図

総合教育棟 平面図

(総合教育2号館・体育館へは、3階に上がって渡廊下で)

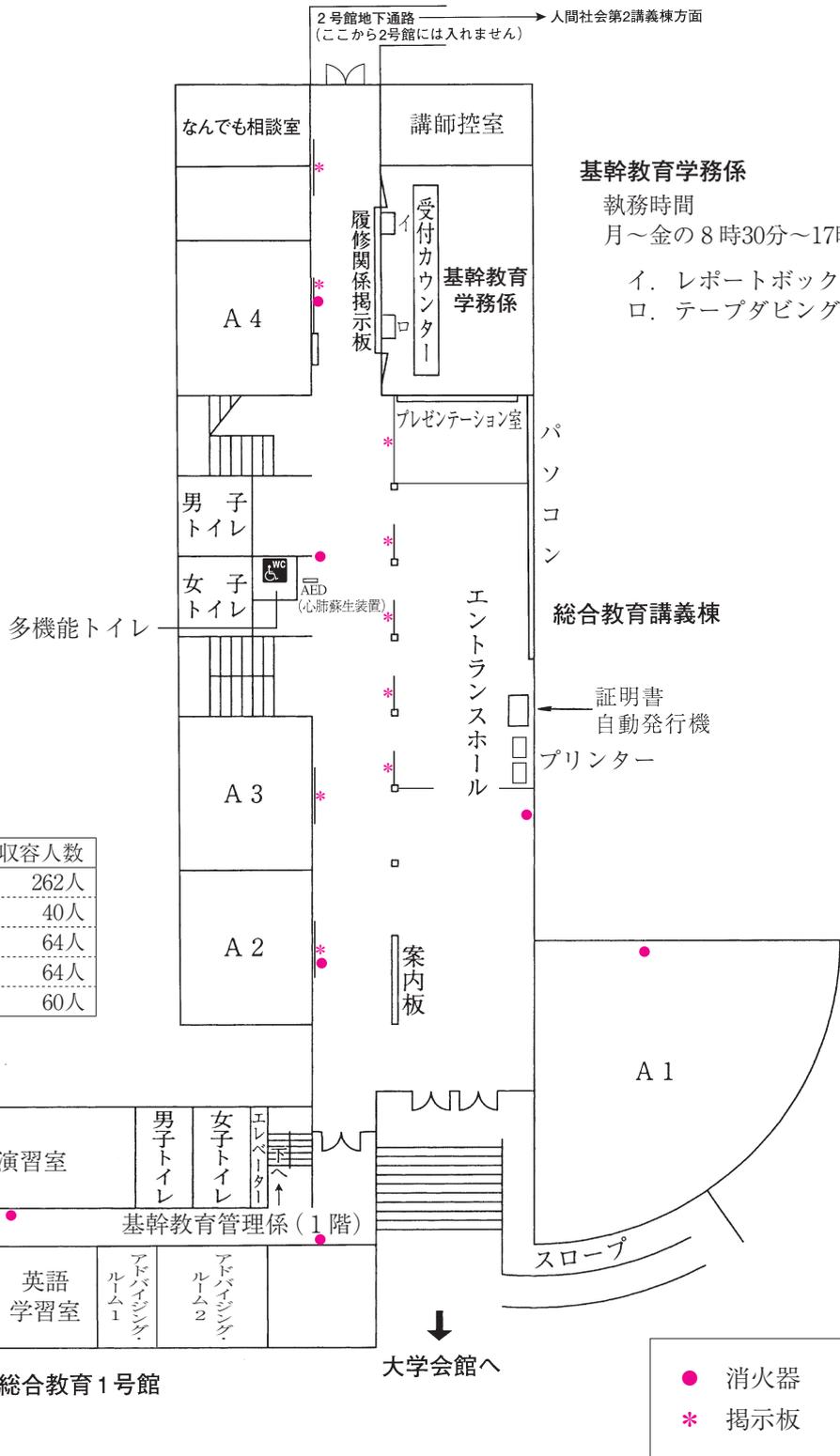
2階

履修関係掲示板
 授業日程
 講義室変更
 休講・補講
 試験
 履修登録等

基幹教育学務係

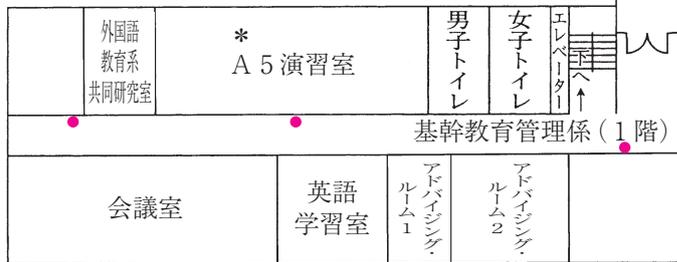
執務時間
 月～金の8時30分～17時

- イ. レポートボックス
- ロ. テープダビング機



室番	室名	収容人数
241	A 1 講義室	262人
246	A 2 講義室	40人
247	A 3 講義室	64人
249	A 4 講義室	64人
210	A 5 演習室*	60人

* アクティブ・ラーニング教室



総合教育1号館

大学会館へ

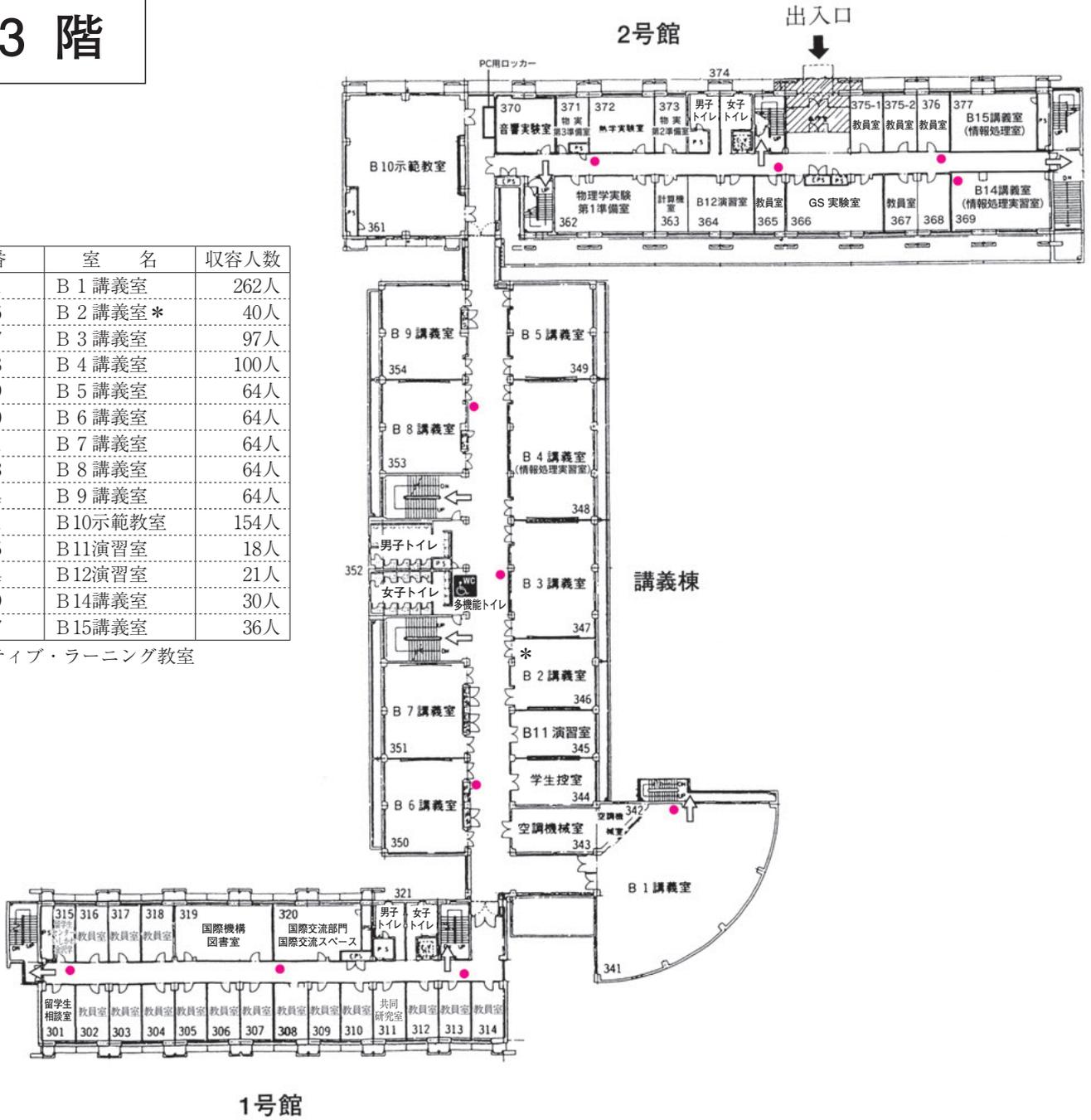
- 消火器
- * 掲示板

※ A 4 講義室は授業に使用しない場合は、学生自習室として利用できます。

3 階

室番	室名	収容人数
341	B 1 講義室	262人
346	B 2 講義室*	40人
347	B 3 講義室	97人
348	B 4 講義室	100人
349	B 5 講義室	64人
350	B 6 講義室	64人
351	B 7 講義室	64人
353	B 8 講義室	64人
354	B 9 講義室	64人
361	B 10 示範教室	154人
345	B 11 演習室	18人
364	B 12 演習室	21人
369	B 14 講義室	30人
377	B 15 講義室	36人

* アクティブ・ラーニング教室



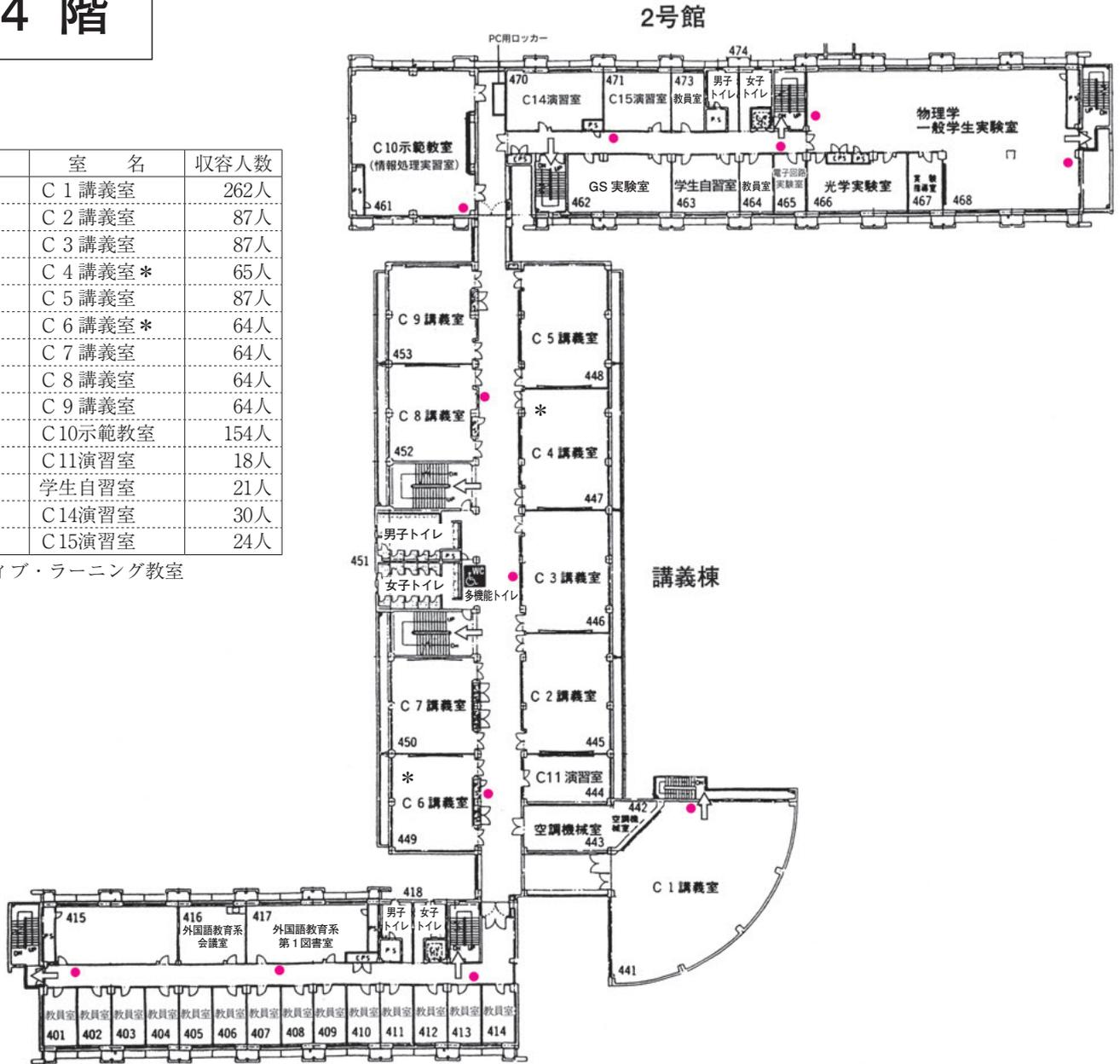
← 避難経路

● 消火器

4 階

室番	室名	収容人数
441	C 1 講義室	262人
445	C 2 講義室	87人
446	C 3 講義室	87人
447	C 4 講義室 *	65人
448	C 5 講義室	87人
449	C 6 講義室 *	64人
450	C 7 講義室	64人
452	C 8 講義室	64人
453	C 9 講義室	64人
461	C10示範教室	154人
444	C11演習室	18人
463	学生自習室	21人
470	C14演習室	30人
471	C15演習室	24人

* アクティブ・ラーニング教室



1号館

← 避難経路
● 消火器

5 階

室番	室名	収容人数
541	D 1 講義室 *	32人
542	D 2 講義室 *	40人
543	D 3 講義室 *	40人
546	D 4 講義室(AV)	108人
545	D 5 講義室 *	95人
547	D16演習室	18人
548	D 6 講義室 *	64人
549	D 7 講義室	64人
551	D 8 講義室	64人
552	D 9 講義室 *	64人
561	D10講義室	154人
562	D11演習室	10人
563	D12演習室	40人
564	D13演習室	30人
569	D14講義室	36人
572	D15講義室	24人

* アクティブ・ラーニング教室



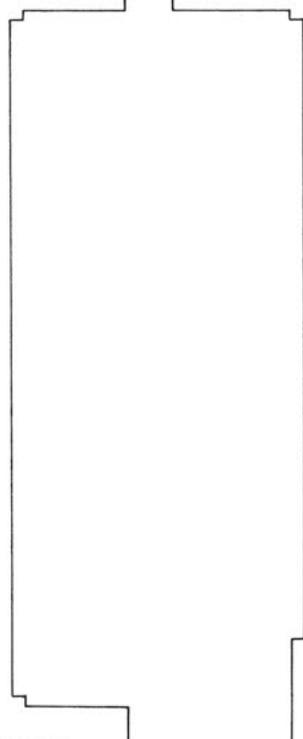
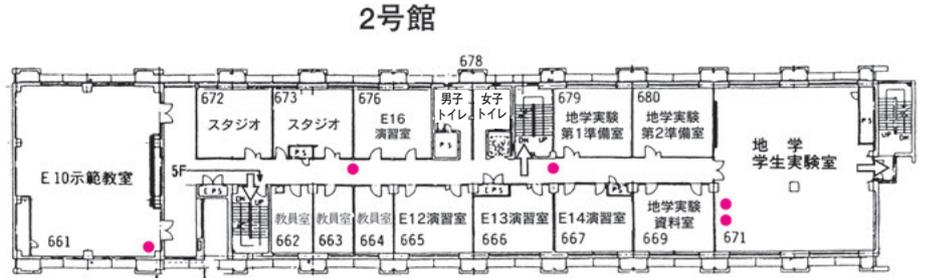
← 避難経路

● 消火器

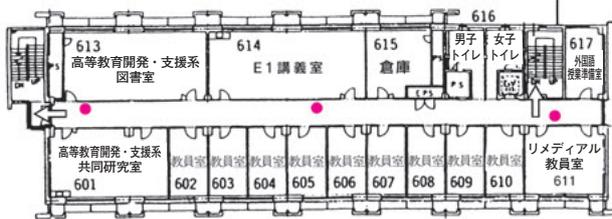
6 階

室番	室名	収容人数
614	E 1 講義室	50人
661	E 10 示範教室	154人
665	E 12 演習室	24人
666	E 13 演習室	24人
667	E 14 演習室	24人
676	E 16 演習室	24人

E10示範教室へは、
講義棟 5 階から 2 号館へ渡る。



講義棟 (5階建)

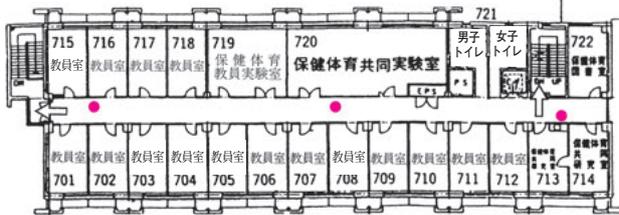
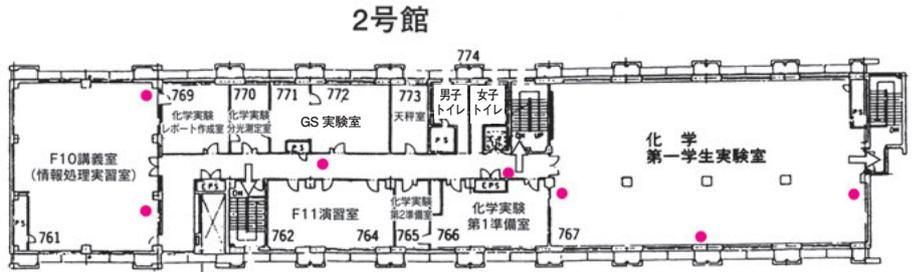


1号館

← 避難経路
● 消火器

7 階

室番	室名	収容人数
761	F10講義室	105人
762	F11演習室	24人



← 避難経路

● 消火器

総合教育1号館, 2号館在室者一覧 (五十音順)

(2020年4月1日現在)

カナ	氏名	部屋番号	所属	カナ	氏名	部屋番号	所属	
ア	井出 明	1号館7階 705号室	GS教育		堤 敦朗	1号館3階 305号室	国際機構	
	井上 咲希	1号館4階 409号室	高等教育		田 然	1号館5階 504号室	外国語	
	翁 瑋	1号館6階 605号室	GS教育		藤 間 崇	1号館6階 602号室	GS教育	
	榎本文彦	1号館3階 309号室	GS教育	ナ	中野 正俊	1号館4階 411号室	高接	
	太田 亨	1号館3階 303号室	国際機構		南 相 瓊	1号館5階 506号室	GS教育	
	大藪 加奈	1号館4階 406号室	外国語		西嶋 愉一	1号館5階 514号室	外国語	
	小川 道大	1号館7階 706号室	GS教育		西山 宣昭	1号館7階 709号室	高等教育	
	小田 佳子	1号館7階 710号室	GS教育	ハ	橋本 将	1号館5階 501号室	外国語	
	小田桐 拓志	1号館6階 603号室	GS教育		濱田 里羽	1号館7階 701号室	高等教育	
	カ	垣内 康孝	1号館4階 405号室		GS教育	ハモンド・マーク	1号館4階 402号室	外国語
數見 由紀子		1号館4階 413号室	外国語		早川 文人	1号館4階 412号室	外国語	
鎌田 啓一		1号館6階 611号室	GS教育		ビットマン・ハイコ	1号館3階 316号室	国際機構	
菅野 磨美		1号館4階 407号室	外国語		平松 潤奈	1号館4階 410号室	外国語	
菊谷 まり子		1号館7階 715号室	GS教育		フィリップス・ジェミー	2号館4階 464号室	GS教育	
木村 岳裕		1号館7階 711号室	GS教育		深川 美帆	1号館3階 312号室	国際機構	
クオン・ヒージョン		1号館5階 503号室	外国語		ブラウン・デール	1号館5階 517号室	外国語	
工藤 義信		1号館5階 515号室	外国語		堀井 祐介	1号館7階 712号室	高等教育	
グリュネベルグ・パトリック		1号館6階 606号室	GS教育	マ	眞住 優助	1号館7階 718号室	GS教育	
黒川 英徳		1号館6階 607号室	GS教育		松井 三枝	2号館3階 375-2号室	GS教育	
河内 幾帆	1号館7階 704号室	GS教育	松浦 義昭		2号館6階 663号室	GS教育		
小島 荘一	1号館3階 313号室	国際機構	松田 真希子		1号館3階 307号室	国際機構		
小林 恵美子	1号館5階 507号室	GS教育	ママ・ドゥア・アイ・ダ		1号館3階 308号室	国際機構		
サ	斉木 麻利子	1号館3階 304号室	国際機構		マリー・ルイス	1号館4階 403号室	外国語	
	櫻井 武	1号館6階 611号室	GS教育		三橋 了爾	1号館7階 703号室	GS教育	
	佐々木 葉月	1号館5階 509号室	GS教育		峯 正志	1号館3階 317号室	国際機構	
	笹原 幸子	1号館3階 314号室	国際機構		村山 孝之	1号館7階 707号室	GS教育	
	佐藤 朋子	1号館5階 513号室	外国語		ヤ	家口 美智子	1号館4階 414号室	外国語
	澤田 茂保	1号館4階 401号室	外国語	ヤナ・クラチャンスカ		1号館5階 502号室	外国語	
	芝口 翼	1号館7階 716号室	GS教育	山本 洋		1号館3階 306号室	国際機構	
	杉森 公一	1号館6階 609号室	高等教育	尹 一喜		1号館5階 505号室	GS教育	
	薛 芸	1号館3階 302号室	国際機構	吉永 契一郎		1号館7階 708号室	高等教育	
	タ	ダガン さがの	1号館7階 717号室	外国語		米田 隆	1号館6階 608号室	GS教育
滝野 隆久		1号館7階 702号室	GS教育	ラ		ローゼンバーク・ジェームス	1号館3階 318号室	国際機構
田中 源吾		2号館6階 662号室	GS教育			ワ 渡辺 達雄	1号館6階 604号室	高等教育
谷口 洋幸		1号館3階 310号室	GS教育	備考		・GS教育：GS教育系（国際基幹教育院）		
ダリシエ・ミシェル		1号館6階 610号室	GS教育			・高等教育：高等教育開発・支援系（国際基幹教育院）		
唐 琳		1号館4階 404号室	外国語		・外国語：外国語教育系（国際基幹教育院）			
趙 菁		1号館5階 508号室	外国語		・国際機構：国際機構			
					・高接：高大接続コア・センター			

・教員室は変更になる可能性があります。

付. 時間割表

時 間 割 表

(年次)

曜	時限	1	2	3	4	5
	科目等					
月	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

(年次)

曜	時限	1	2	3	4	5
	科目等					
月	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

時 間 割 表

(年次)

曜	時限 科目等	1	2	3	4	5
	月	科 目				
時間割番号						
教 員						
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

(年次)

曜	時限 科目等	1	2	3	4	5
	月	科 目				
時間割番号						
教 員						
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

時 間 割 表

(年次)

曜	時限	1	2	3	4	5
	科目等					
月	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

(年次)

曜	時限	1	2	3	4	5
	科目等					
月	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
火	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
水	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
木	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
金	科 目					
	時間割番号					
	教 員					
集中 講義 その他	科 目					
	時間割番号					
	教 員					

この『共通教育科目履修案内』は、みなさんの学修に役立つことを目的に作られています。本年度の内容も、先輩学生の助言を得て、より読みやすいものにしたつもりです。来年度以降の改訂にあたっては、学生諸君の意見を取り入れていきたいと考えています。ここが分からない、こういう説明があればもっと良くなる、というご意見・ご希望がありましたら、下記の学務部基幹教育支援課基幹教育学務係までお寄せください。

令和2（2020）年度共通教育科目履修案内

令和2（2020）年4月

金沢大学国際基幹教育院

〒920-1192 金沢市角間町

T E L 076-264-5758

F A X 076-234-4171

e-mail stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

学務部基幹教育支援課基幹教育学務係

学籍番号	
氏名	